

COASTER

取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。



はじめに

このたびはトヨタ コースターをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書はトヨタ コースターを安全・快適にお使いいただくため、ドライバーの動作にそって各部の取り扱いを説明しています。

また、お車の手入れ、万一のときの応急処置、快適ドライブ情報などについても記載していますので、ご使用前に必ずお読みください。

●安全・快適ドライブのため「まず読みましょう」は重要ですのでしっかりお読みください。

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。これらは安全のために重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項をお守りいただかないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること
 注意	記載事項をお守りいただかないと、傷害、事故につながるおそれがあること

お車のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	お車の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
 知識	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

- グレード等により装備が異なる項目は★マークで表示しています。
- 本書では、新計量法の施行に伴い国際単位系（略称S I単位）を基本に記載し、従来単位を { } 内に記載しております。
- 保証および点検・整備については「メンテナンスノート」に記載していますのであわせてお読みください。
- トヨタ販売店の所在地および連絡先は、サービス網／お客様相談テレホン網として「メンテナンスノート」に記載しています。
- ナビゲーションシステムを装着されたかたは別冊の取扱書もあわせてご覧ください。
- トヨタ販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

1bお車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。

1bご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。

CONTENTS

目 次

■イラスト目次

まず読みましょう

ドライバーとしてまず知っておいていただきたい項目について説明しています。

1

安全装備

シートベルトなどの安全装備の取り扱いや機能説明をしています。

2

操作装置

各部の開閉やエンジンのかけ方など基本操作について説明しています。

3

快適装備

エアコンやオーディオ、室内装備について説明しています。

4

車との上手な付き合い方

寒冷時の取り扱いや雨の日の運転などについて説明しています。

5

手入れ、メンテナンスデータ

洗車のしかたやエンジンオイルなどの情報を記載しています。

6

万一のとき

エンストやオーバーヒートしたときなどの処置方法について説明しています。

7

■さくいん

- 文字さくいん
- 警告灯、警告音さくいん
- 症状別さくいん

目 次

■イラスト目次

9

45

車両外観	10
インストルメントパネル	12
室内（運転席／助手席）	14
室内全体	16
エンジンルーム	22

1 まず読みましょう 25

安全・快適ドライブのために	26
お出かけ前のチェック	26
お子さまを乗せるときの	
気くばり	31
走行するときは	32
オートマチック車の取り扱い	
チェックポイント	34
走行前のチェックポイント	
	36
走行中、異常に気づいたら	
	37
駐停車するときは	38
こんな点にも注意を	39
ターボ車の取り扱い	
チェックポイント	43
TOYOTA-D-CAT車の	
取り扱いチェックポイント	
	44

2 安全装備

45

シート	46
正しい運転姿勢	46
フロントシート	47
リヤシート	48
補助シート	49
保護者用シート	50
運転席ガード	50
セパレーターパイプ	51
シートベルト	52
正しい着用	52
E L R（緊急時固定機構）付き	
3点式シートベルト	54
シートベルト非着用警告灯	55
E L R（緊急時固定機構）付き	
2点式シートベルト	56
長さ調整式	
2点式シートベルト	58
A B S	60

3 操作装置 63

各部の開閉	64	視界の確保	100
キー	64	ライトスイッチ	100
ドアインデックス	64	ヘッドランプレベリング	
フロントドア	66	調整ダイヤル	101
グライド式ドア	67	方向指示レバー	102
折戸式ドア	73	フォグラランプスイッチ	103
トランク	77	フォグラランプ断線検知	
観音扉ドア	79	スイッチ	103
非常ドア	81	ワイパー＆ウォッシャー	
ウインドウガラス	82	スイッチ	104
フューエルリッド (燃料補給口)	83	非常点滅灯スイッチ	105
エンジン点検口	86	リヤウインドウデフォッガー	
各部の調整	87	(曇り取り)スイッチ	106
ハンドル	87	運転装置	108
インナーミラー	87	エンジン(イグニッション)	
アウターミラー	88	スイッチ	108
メーター、表示灯、警告灯の見方	90	エンジンのかけ方	109
メーター	90	排出ガス浄化装置スイッチ	112
表示灯、警告灯	92	排気ブレーキスイッチ	114
		パーキングブレーキ	114
		ホーン	115
		マニュアル	
		トランスミッション	116
		オートマチック	
		トランスミッション	117
		オートマチック車の運転のしかた	
		121
		4輪エアサスペンション	124

4 快適装備 125

空調	126
エアコンインデックス	126
吹き出し口（フロント）	127
吹き出し口（リヤ）	129
オートエアコン	132
マニュアルエアコン	136
エアフィルター	140
ルーフベンチレーター	141
換気扇	141
オーディオ	142
オーディオインデックス	142
オーディオの上手な使い方	144
アンテナ	146
AUX端子／USB端子	146
CDプレーヤー一体	
AM／FMラジオ	148
標準マイク	169
マイクアンプ	170
リヤモニター	171

室内装備	176
サンバイザー／お客様表示板	176
室内灯	176
スポットランプ	177
時計	177
シガレットライター	178
灰皿	178
カップホルダー	179
カードケース	180
シートアンダートレイ	180
床洗い用水抜き穴	181
ロープフック	181
ラゲージルーム	
セパレーター	182
セパレーター／カーテン	183
冷蔵庫	184
カーテン	187
フロアマット	188

5**車との上手な
付き合い方 189****6****手入れ、メンテナンス
データ 199**

寒冷時の取り扱い	190	手入れ	200
冬の前の準備、点検	190	日頃の手入れ	200
運転する前に	191	外装の手入れ	200
走行するときは	192	内装の手入れ	201
駐車するときは	192	エアコンの手入れ	202
ワイパー	193	簡単な点検、部品交換	204
タイヤチェーン	193	メンテナンスデータ	227
ディーゼル車の燃料	194		
LPG車の燃料	194		
こんなときは	195		
雨の日の運転	195		
夏期の取り扱い・ エアコンガスの処理	195		

7 万一のときは 237

路上で故障したときは	238	文字さくいん	270
路上で故障したときは	238	警告灯、警告音さくいん	280
エンストで始動できなくなったときは		警告灯さくいん	280
ときは	238	警告音さくいん	281
非常に車内から脱出するときは	症状別さくいん	282	
·····	239	症状別さくいん	282
幼児車では	239		
発炎筒、消火器、工具、スペアタイヤの取り扱い	240		
発炎筒	240		
消火器	241		
工具、ジャッキの取り扱い	242		
スペアタイヤ	250		
タイヤを交換するときは	254		
タイヤ交換をするまえに	254		
タイヤ交換	255		
オーバーヒートしたときは	260		
バッテリーがあがつたときは	262		
けん引について	265		
事故が起きたときは	267		
車両を緊急停止するには	268		

■さくいん 269

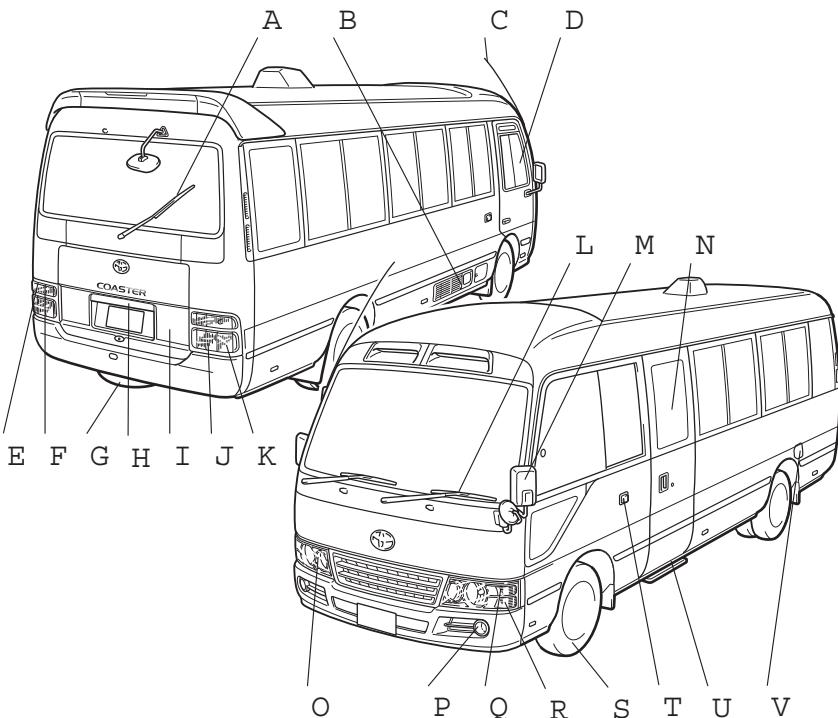
MEMO

MEMO

■イラスト目次

車両外観	10
インストルメントパネル	12
室内（運転席／助手席）	14
室内全体	16
エンジンルーム	22

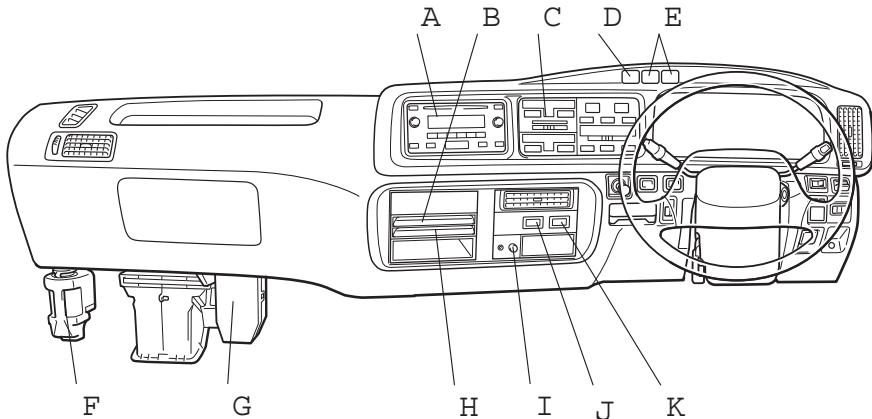
車両外観



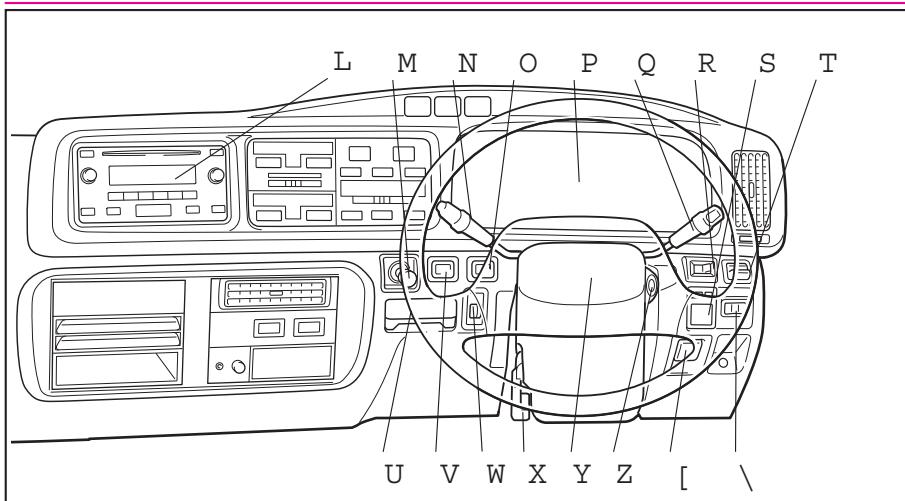
Aリヤワイパー	104	ページ
BLPGタンク（LPG車）	91	ページ
フューエルリッド＜燃料補給口＞（LPG車）	84	ページ
燃料取り出しバルブ／燃料充てんバルブ（LPG車）	85	ページ
燃料計（LPG車）	85	ページ
Cラジオ用アンテナ	146	ページ
Dウインドウガラス	82	ページ
Eリヤ方向指示灯兼非常点滅灯	102、105、225、228	ページ
F後退灯	225、228	ページ
Gスペアタイヤ	250	ページ
H番号灯	100、226、228	ページ
Iトランク（バックドア）	77、79、81	ページ
J尾灯	100、225、228	ページ
K制動灯／尾灯	100、225、228	ページ
Lフロントワイパー	104	ページ
Mアウターミラー	88	ページ
Nセンタードア	67、73	ページ
Oヘッドランプ	100、222、228	ページ
Pフォグラント	103、224、228	ページ
Q車幅灯	100、222、228	ページ
Rフロント方向指示灯兼非常点滅灯	102、105、222、228	ページ
Sタイヤ	27、208、250、254	ページ
Tサイド方向指示灯兼非常点滅灯	102、105、224、228	ページ
U電動格納式補助ステップ	71	ページ
Vフューエルリッド＜燃料補給口＞（ディーゼル車）	83	ページ

※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

インストルメントパネル



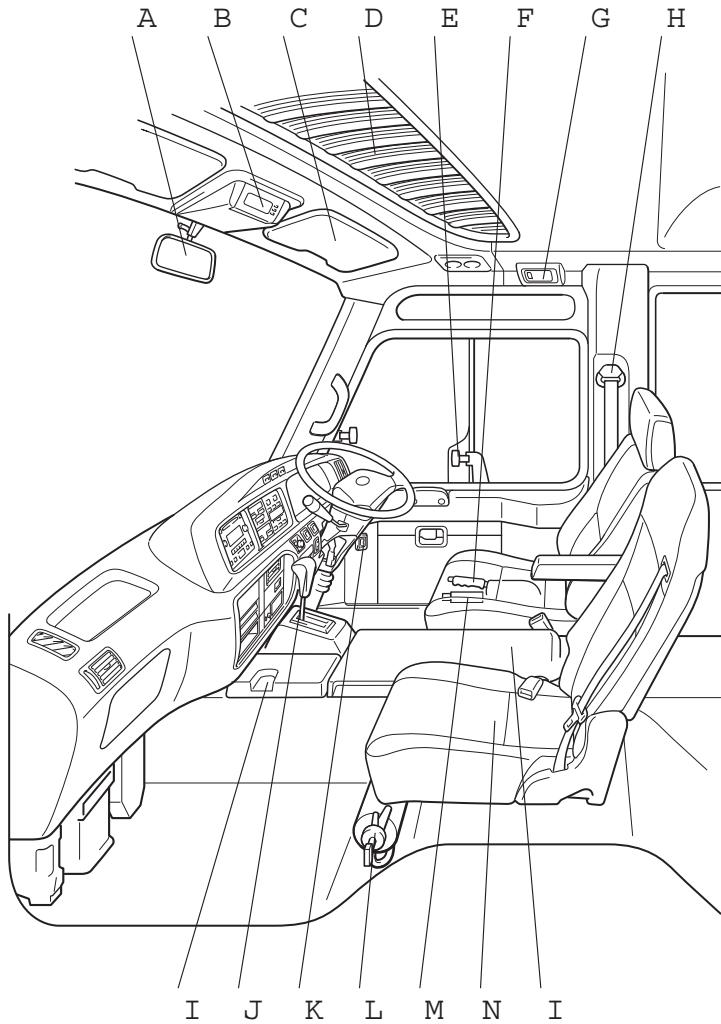
運転席周辺



Aオーディオ	142	ページ
Bカードケース	180	ページ
C空調	126	ページ
D非常点滅灯スイッチ	105	ページ
E室内灯スイッチ	176	ページ
Fウォッシャータンク（フロント）	206	ページ
Gインパネヒューズボックス	214	ページ
Hカップホルダー（運転席）	179	ページ
Iマイクアンプ	170	ページ
Jフォグラント断線検知スイッチ	103	ページ
K急速固定スイッチ（オートマチックトランスマッision）	120	ページ
Lオーディオ	142	ページ
Mシガレットライター	178	ページ
Nワイパー＆ウォッシャースイッチ	104	ページ
排気ブレーキスイッチ	114	ページ
O排出ガス浄化装置スイッチ（ディーゼル車）	112	ページ
Pメーター、表示灯、警告灯	90、92	ページ
Qライトスイッチ	100	ページ
方向指示レバー	102	ページ
フォグラントスイッチ	103	ページ
R電動格納式補助ステップスイッチ	71	ページ
S電動リモコンミラースイッチ	88	ページ
Tオートセンタードアスイッチ	69、76	ページ
U灰皿	178	ページ
Vリヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ	106	ページ
Wヘッドランプレベリング調整ダイヤル	101	ページ
Xチルト＆テレスコピックステアリングレバー	87	ページ
Yホーン	115	ページ
Zエンジン（イグニッション）スイッチ	108	ページ
フューエルリッドオープナー	83	ページ
\換気扇スイッチ	141	ページ

※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

室内（運転席／助手席）

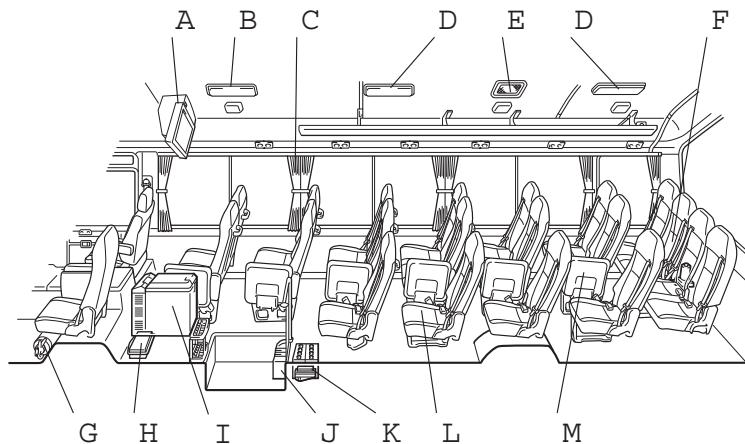


Aインナーミラー	87	ページ
B時計	177	ページ
Cサンバイザー	176	ページ
Dエアフィルター（クーラー用）	140、202	ページ
Eウインドウガラス	82	ページ
Fペーキングブレーキレバー	114	ページ
Gスポットランプ	177	ページ
H点式シートベルト	54	ページ
Iエンジン点検口	86	ページ
Jシフトレバー	116、117	ページ
K電気式ドアロックスイッチ	66	ページ
L消火器	241	ページ
M発炎筒	240	ページ
Nフロントシート	47	ページ

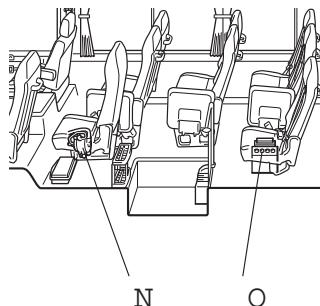
※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

室内全体

バス（幼児車を除く）



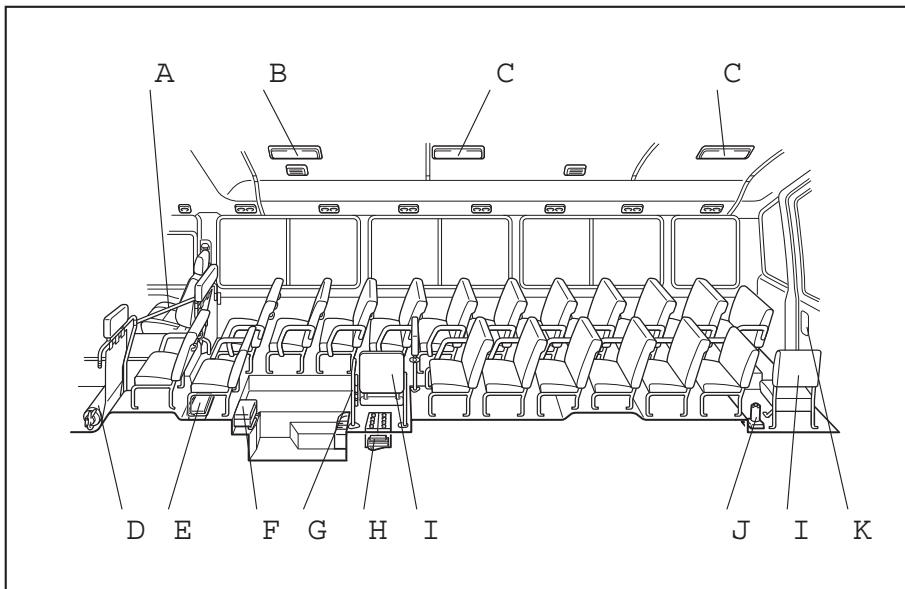
LPG車



Aリヤモニター	171	ページ
B室内灯（フロント）	176	ページ
Cカーテン	187	ページ
D室内灯（リヤ）	176	ページ
E換気扇	141	ページ
F工具・ジャッキ	242	ページ
G消火器	241	ページ
HフロアヒューズボックスA	213	ページ
I冷蔵庫	184	ページ
Jオートセンタードア切り替えレバー	69	ページ
Kバッテリー	262	ページ
フロアヒューズボックスB	214	ページ
Lリヤシート	48	ページ
M補助シート	49	ページ
Nレギュレーター（LPG車）	111、207	ページ
Oバッテリー（LPG車）	262	ページ
フロアヒューズボックスB（LPG車）	214	ページ

※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

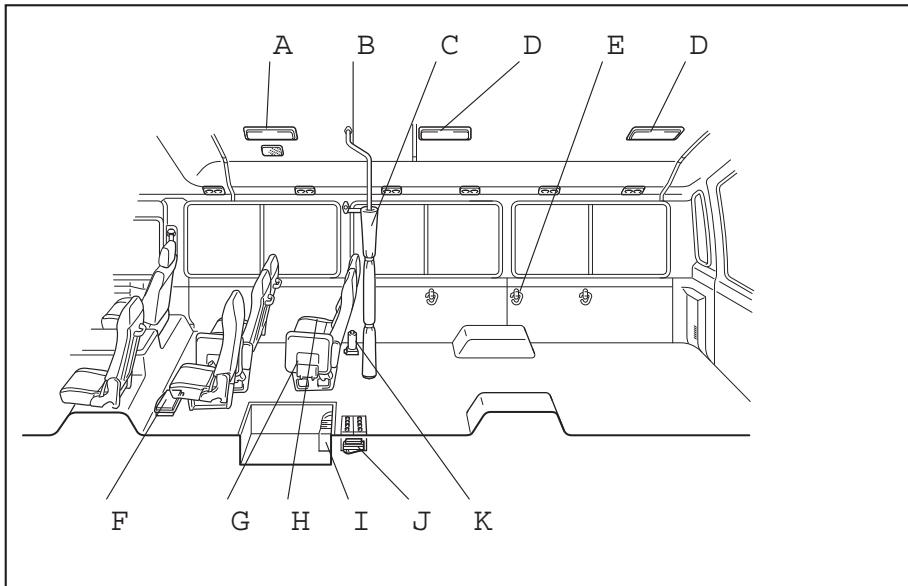
バス（幼稚車）



A運転席ガード	50	ページ
B室内灯（フロント）	176	ページ
C室内灯（リヤ）	176	ページ
D消火器	241	ページ
EフロアヒューズボックスA	213	ページ
Fオートセンタードアキャンセルスイッチ	76	ページ
G赤旗（レッドフラッグ）	239	ページ
Hバッテリー	262	ページ
フロアヒューズボックスB	214	ページ
I保護者用シート	50	ページ
J工具・ジャッキ	242	ページ
K非常ドアレバー	81	ページ

※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

パン



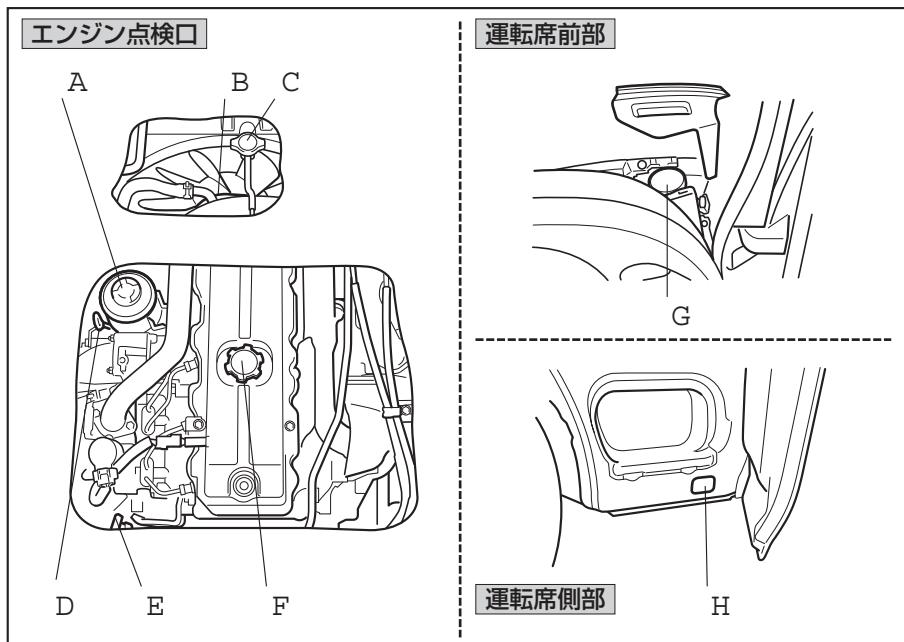
A室内灯（フロント）	176	ページ
Bセパレーターバー	183	ページ
Cセパレーターカーテン	183	ページ
D室内灯（リヤ）	176	ページ
Eロープフック	181	ページ
FフロアヒューズボックスA	213	ページ
G補助シート	49	ページ
Hリヤシート	48	ページ
Iオートセンタードア切り替えレバー	69	ページ
Jバッテリー	262	ページ
フロアヒューズボックスB	214	ページ
K工具・ジャッキ	242	ページ

※装備のちがい、注文装備等も含んでいます。

エンジンルーム

N04C-V Jエンジン搭載車（4.0L・ディーゼルターボ車）

N04C-V Kエンジン搭載車（4.0L・ディーゼルターボ車）



A パワーステアリングフルードタンク

B Vベルト 「Vベルトたわみ量」 **227** ページ

C ラジエーターキャップ 「オーバーヒートしたときは」 **260** ページ

D エンジンオイルレベルゲージ ※「エンジンオイル量」 **231** ページ

E オートマチックトランスマッ션フルードレベルゲージ 「オートマチックトランスマッ션フルード量」 **230** ページ

F エンジンオイル注入口 ※「エンジンオイル量」 **231** ページ

G ブレーキフルードリザーバータンク兼 クラッチフルードリザーバータンク...※

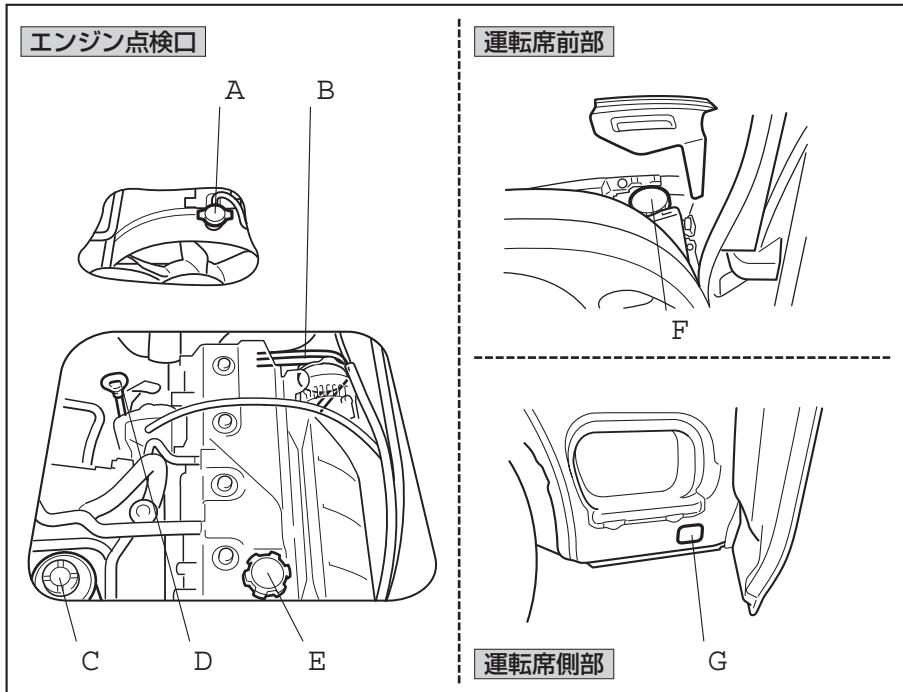
H 冷却水リザーバータンク（ラジエーター補助タンク）

..... ※「オーバーヒートしたときは」 **260** ページ

※印は日常点検整備に関連する部品です。

エンジンオイルの点検要領は**204**ページを参照してください。

1BZ-FPEエンジン搭載車（4.1L・LPG車）



- | | | |
|---------------------------------------|-------------------|---------|
| A ラジエーターキャップ | 「オーバーヒートしたときは」 | 260 ページ |
| B Vベルト | 「Vベルトたわみ量」 | 227 ページ |
| C パワーステアリングフルードタンク | | |
| D エンジンオイルレベルゲージ | ※ 「エンジンオイル量」 | 231 ページ |
| E エンジンオイル注入口 | ※ 「エンジンオイル量」 | 231 ページ |
| F ブレーキフルードリザーバータンク 兼 クラッチフルードリザーバータンク | …※ | |
| G 冷却水リザーバータンク（ラジエーター補助タンク） | …※ 「オーバーヒートしたときは」 | 260 ページ |

※印は日常点検整備に関連する部品です。

点検要領は「メンテナンスノート」を参照してください。

MEMO



1

まず読みましょう

安全・快適ドライブのために	26
お出かけ前のチェック	26
お子さまを乗せるときの気くばり	31
走行するときは	32
オートマチック車の取り扱いチェックポイント	34
走行前のチェックポイント	36
走行中、異常に気づいたら	37
駐停車するときは	38
こんな点にも注意を	39
ターボ車の取り扱いチェックポイント	43
TOYOTA-D-CAT車の取り扱いチェックポイント	44

1

まず読みましょう

安全・快適ドライブのために

●お出かけ前のチェック



シートベルトを正しく着用してください。

運転席にすわってエンジンを始動してください。

点検整備を必ず実施してください。

- 日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務づけられています。
点検整備については「メンテナンスノート」をお読みください。

走行中は必ず全員がシートにすわり、シートベルトを正しく着用してください。

- 走行中のシート以外の場所への乗車・車内の移動・シートベルトの不適切な着用は、急ブレーキをかけたときや衝突したときに生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたも必ずシートベルトを正しく着用してください。
(ただし、医師に注意事項をご確認ください。)



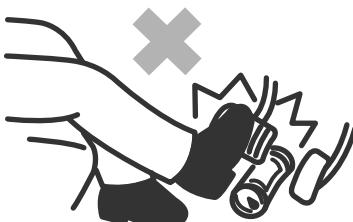
燃料がはいった容器やスプレー缶などは積まないでください。

- 万一のとき引火するおそれがあり危険です。



運転席足元に物を置かないでください。

- 空缶などの物を置くとブレーキペダルの下に挟まりブレーキ操作ができなくなったり、アクセルペダルがもどらなくなるなどのおそれがあり危険です。



日常点検として必ずタイヤの点検を行って、異常があるタイヤは装着しないでください。

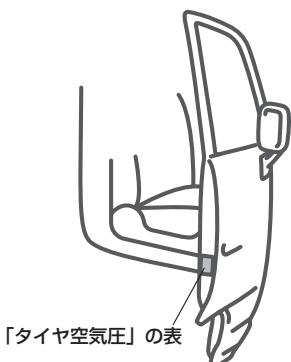
●タイヤは、

- 1bタイヤ空気圧の点検
- 1bタイヤのき裂・損傷の有無の確認
- 1bタイヤの溝の深さの点検
- 1bタイヤの異常な摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗している・摩耗程度がほかのタイヤと著しく異なるなど）
を点検します。

タイヤの点検方法は208ページを参照してください。

タイヤ空気圧は、必ずタイヤが冷えている状態で指定空気圧に調整してください。

●タイヤの点検は法的に義務づけられています。なお、指定空気圧は、運転席ドアを開けたドア側に貼られている「タイヤ空気圧」の表で正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。



●異常があるタイヤを装着していると、走行時にハンドルが取られたり、異常な振動を感じことがあります。

また、バースト（破裂）など修理できないような損傷をタイヤにあたえたり、タイヤが横すべりするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



●異常があるタイヤを装着していると、車の性能（燃費・車両の方向安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど故障の原因となることがあります。

例えば、下記のシステムは、正確な車両速度が検出できなくなる場合があり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

- 1bA B S
- 1b4輪エアサスペンション
- 1bバックモニター
- 1bG P Sボイスナビゲーション

走行前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。

●ドアが確実に閉まっていないと走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

指定以外の燃料を補給しないでください。

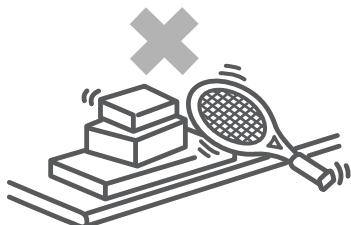
- ディーゼル車は下記の表にしたがって、燃料を補給してください。指定以外の燃料を補給すると、エンジンや排出ガス浄化装置などに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。また、白煙が発生し続けることがあります。

エンジン	指定燃料
N04C-VJ	軽油 〔超低硫黄軽油 (S 10ppm以下)〕
N04C-VK	

- LPG車にはLPGオートガスを補給してください。LPGオートガス以外を補給すると、エンジンなどに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。LPGオートガスの充てんについては84ページを参照してください。

荷物棚に重い荷物やはみ出るような荷物を置いたり、荷物を積み重ねたりしないでください。

- 発進時やコーナリング時、ブレーキをかけたときなどに荷物が飛び出し、けがをするおそれがあります。



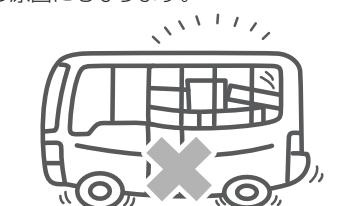
助手席やリヤシート・補助シートに荷物を積み重ねたりしないでください。

- ブレーキをかけたときなどに荷物が移動し、荷物を損傷したり思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



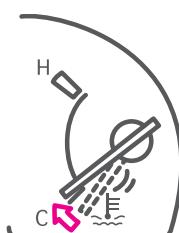
過積載をしないでください。(パン)

- 過積載は違反になるだけでなく、事故や故障の原因にもなります。



水温計の指針が動き出すまでは、極端にアクセルペダルをあおらないでください。

- 暖機不足の状態では、触媒装置が焼損するおそれがあります。
- 暖機不足の状態では、エンストし再始動が困難になるおそれがあります。(LPG車)
- 暖機は水温計の指針が動き出す程度で十分です。

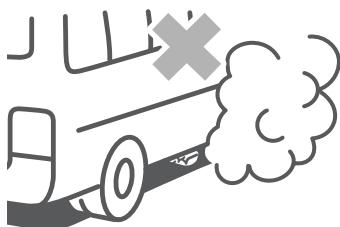


排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、排気ガスを吸い込むと重大な健康障害におよぶおそれがあります。

- 換気が悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。とくに車庫内など囲まれた場所では、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 排気管はときどき点検してください。排気管の腐食などによる穴やき裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気づいた場合は、必ずトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま使用すると排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



●バックドア（トランク）が閉まっていることを確認してください。開けたまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●車内に排気ガスが侵入してきたと感じたら、すべての窓を全開にしたり、空調の内外気切り替えを外気導入にしてファンを強にし、新鮮な外気を車内にいれてください。また、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。そのまま放置すると、排気ガスにより、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

日常点検として必ずバッテリーの液量を点検してください。

●バッテリーの液面が各液槽とも、バッテリー側面に表示された LOWER LEVEL (下限) 以下のまま使用・充電すると、バッテリーの寿命が短くなったり、発熱や爆発するおそれがあり危険です。

点検方法は「メンテナンスノート」を参照し、液量が少ないとときは補給してください。

次の場合は車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

- いつもと違う音や臭いや振動がするとき
- ハンドル操作に異常を感じたとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- 地面に油の漏れたあとが残っているとき

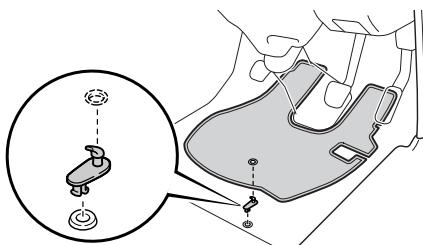
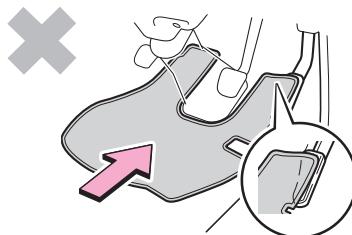
フロアマットはお車（年式）専用のものを使用してください。

- 運転席にフロアマットを敷くときは、以下のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出来たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
- 1bトヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しないでください。

- 1b運転席専用のフロアマットを使用してください。
- 1b付属のフック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定してください。
- 1b他のフロアマット類と重ねて使用しないでください。
- 1bフロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しないでください。

- 運転する前に、以下のことを確認してください。

- 1bフロアマットが固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、とくに洗車後は必ず確認を行ってください。
- 1bエンジン停止およびシフトレバーが e（オートマチック車）または c（マニュアル車）の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。



●お子さまを乗せるときの気くばり



お子さまは必ずリヤシートにすわらせてください。

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転のさまたげになるだけでなく、お子さまが運転装置にふれて思いがけない事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも、必ずシートベルトを着用させ、シートに深く腰かけて、背もたれに背中がついた正しい姿勢ですわらせてください。
- 車内を走りまわったり、シートの上に立ったりすると急ブレーキや万一の場合、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させてください。

- ひざの上でお子さまをだいていても、衝突したとき十分に支えることができずお子さまが生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- この車のシートベルトは、シートベルトを着用するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたにしたがってください。(52ページ)
- リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

ドア、ウインドゥなどはお子さまに操作させないでください。

- 閉めるとき手や頭などを挟んだりして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

窓などから手や顔を出さないでください。

- 車外の物などに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

車から離れるときは、お子さまを車内に残さないでください。

- 炎天下の車内は大変高温となるため、熱射病や脱水症状などの重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- いたずらなどにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行するときは

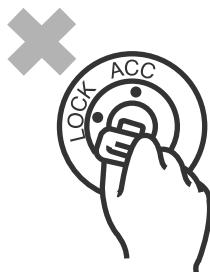
車間距離は十分とってください。

急発進、急ブレーキは避けてください。



■ 走行中はエンジンを切らないでください。

- エンジンがかからっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- マニュアル車はエンジンスイッチを“L O C K”の位置にするとキーが抜けることがあります。キーが抜けるとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなります。



■ ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。

- オイル潤滑不良を起こし、パワーステアリングポンプを損傷するおそれがあります。

■ 段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

- 段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃により、タイヤ・ホイールが損傷する場合があります。

■ 下り坂ではエンジンブレーキを併用してください。

- ブレーキペダルを踏み続けると、過熱によりブレーキの効きが悪くなるおそれがあり危険です。

- ディーゼル車では必要に応じて排気ブレーキを使用してください。(114ページ参照)

■ ぬれた路面や積雪路、凍結路などのすべりやすい路面ではとくに慎重に走行してください。

- スピードをひかえめに運転し、急ブレーキや急激なエンジンブレーキは避けてください。

- 寒冷時の取り扱いの項目もご覧ください。(190ページ参照)

とくに雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいためご注意ください。

■ 歩道の縁石などにタイヤが当たらないように注意してください

- タイヤ・ホイールが損傷する場合があります。

■ 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください

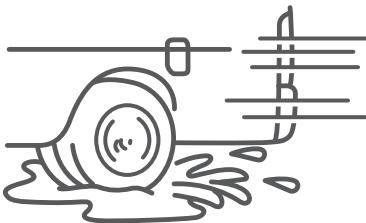
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。

■ ブレーキペダルに足をのせたり、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。

- ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

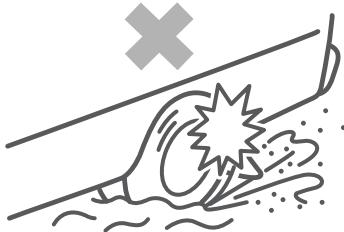
洗車後や水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。

- ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、また、ぬれていない片方だけが効いてハンドルをとられるおそれがあります。
効きが悪い場合は、周囲の安全に十分注意して効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏んでください。



スタック（立ち往生）したときは次のことについてください。

- スタックから脱出するときは、必ず周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、物を損傷させたり、人に重大な傷害をおぼすおそれがあり危険です。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。



- スタック脱出には、次の方法が有効です。
- 1bタイヤ前後の土や雪を取り除く。
- 1bタイヤの下に木や石などをあてがう。

●スタックからの脱出などのために、やむを得ず前進・後退を繰り返すときは、トランスマッシュションなどの損傷のおそれがあるため、次のことに注意してください。

- 1bオートマチック車は、シフトレバーをYまたは、gの位置に確実にいれてから、アクセルを軽く踏んでください。また、シフトレバー操作中は、絶対にアクセルを踏まないでください。
- 1b過度の空ふかしやタイヤの空転をさせないでください。
- 1b数回行っても脱出できないときは、本操作を中止してください。

冠水した道路は走行しないでください。

●冠水した道路を走行するとエンストするだけでなく、電気用品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など重大な車両故障の原因となるおそれがあります。

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸ってしまったときは必ずトヨタ販売店で下記の項目などを点検してください。

- 1bブレーキの効き具合。
- 1bエンジン、トランスマッシュション、ディファレンシャルなどのオイル量および質の変化。（白濁している場合、水が混入していますのでオイルの交換が必要です。）
- 1bプロペラシャフト、各ベアリング、各ジョイント部などの潤滑不良。
- 1b排出ガス浄化装置の点検。

車を少し移動させるときも、必ずエンジンを始動してください。

●エンジンがかからないと、ブレーキ倍力装置やパワーステアリングが動かず、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●エンジンをかけず、坂道を利用して車を動かすと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●オートマチック車の取り扱いチェックポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。121ページの「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

■ オートマチック車には以下のよう な特性があります。

●クリープ現象

エンジンがかかっているとき、シフトレバーが ec 以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくて済むことなく動き出す現象をクリープ現象といいます。

●キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。

これをキックダウンといいます。

■ ブレーキペダルはアクセルペダル と同じ右足で操作してください。

●左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。



■ エンジンをかけるまえに、ペダル の位置を確認してください。

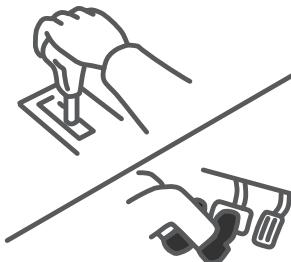
●ペダルの踏み間違いを防ぐためアクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認してください。

■ エンジンをかけるときは、ブレー キペダルをしっかりと踏み、エンジ ンをかけてください。

●安全のためシフトレバーは車輪が固定される e の位置にいれ、ブレーキペダルをしっかりと踏みエンジンをかけてください。

■ 発進するときは、ブレーキペダル をしっかりと踏んだままシフトレバ ーを操作してください。

●とくにエンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。



●レバー操作は絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中にはシフトレバーを ec の位置にいれないでください。

- eにいれるとトランスミッションの内部が機械的にロックされ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- dにいれると、エンジンブレーキがまったく効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。また dにしたまま長時間走行すると、トランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障の原因となるおそれがあります。

前進で走行中はシフトレバーを g の位置にいれないでください。

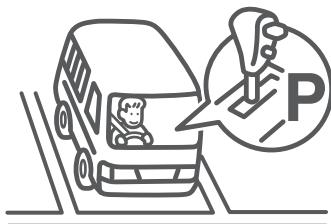
- 車輪がロックして思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションに無理な力が加わり、故障の原因となるおそれがあります。

停車中の空ふかしはしないでください。

- シフトレバーが ec 以外の位置にあると車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはシフトレバーを e の位置にいれてください。

- e以外にある場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき急発進するおそれがあります。



その他にも以下の点に注意してください。

- 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキ操作が確実にできるよう注意してください。
- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしましょう。
- 少し後退したあとなどは、シフトレバーが g の位置にあることを忘れてしまうことがあります。後退したあとはすぐ d にもどすよう習慣づけましょう。
- 切り返しなどでシフトレバーを シフ タ イ フ ク から g から d の位置と何度もレバー操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。またシフトレバーの位置も忘れずに確認してください。
- 坂道などでは、シフトレバーを d または 2/L にいれたまま惰性で後退したり、 g にいれたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。エンストして、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両の安全確保のためスピード制限装置が設けられており、 d の位置での高速走行中にスピード制限されることがあります。

●走行前のチェックポイント

この車は構造上、通常の乗用車に比べ車両の直前、ななめ前方および後方が確認しにくいので、発進時は、車両のまわりの状況をより十分に注意してください。

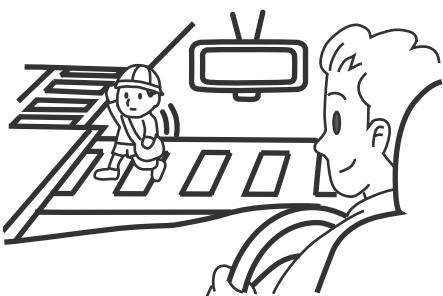


発進前に車のまわりの安全を十分確認してください。

- 駐車後発進するときは、車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。



- 信号待ちなどで停車したときは、いつもまわりの状況に目を配り、安全を十分確認してから発進してください。



- 車両床下などにネコやネズミなどの小動物がいないことを確認してください。エンジン始動時、車両に小動物が巻きこまれたりして、機能不具合の原因となるおそれがあります。

- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車からおりて後方を確認してください。



●走行中、異常に気づいたら



警告灯が点灯・点滅したら、安全な場所に停車し、ただちに処置してください。

- 点灯・点滅したまま走行すると思わぬ事故を引き起こしたり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。(92ページ参照)

エンストしたときは、落ち着いて操作してください。

- エンストしたときは、ブレーキの倍力装置やパワーステアリングの油圧装置が作動しなくなり、ブレーキの効きが悪くなったりハンドルが重くなったりします。

この場合、制動力などがなくなったわけではありませんので、通常より力をいれて操作してください。

走行中にパンクやバースト(破裂)しても、あわてず対応してください。

- ハンドルをしっかりと持ち徐々にブレーキをかけてスピードを落とし停車してください。急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなるおそれがあります。パンクしたタイヤは、停車後ただちにスペアタイヤに交換してください。

- 次のようなときはパンクやバーストを考えられます。

1bハンドルがとられるとき

1b異常な振動があるとき

1b車両が異常に傾いたとき

車体床下に強い衝撃を受けたら、すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。

- ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷などが見つかった場合は、そのまま使用せずトヨタ販売店などにご連絡ください。

ブレーキパッドウェインジケーターから警告音が発生したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- ブレーキパッドウェインジケーターは、走行中にブレーキペダルを踏んだとき、警告音（“キーキー”という金属音）を発生させ、ブレーキパッドが使用限度に近づいたことを運転者に知らせます。

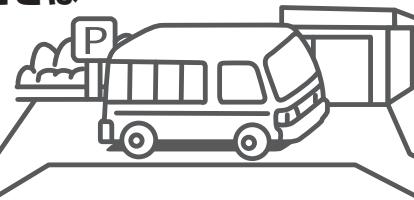
警告音が発生したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは、次のことをお守りください。

- 走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは、十分に減速するようにしてください。エンジンを停止すると、ブレーキの効きが悪くなるため、車のコントロールがしにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは、キーは絶対に抜かないでください。キーを抜くとハンドルがロックされるため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●駐停車するときは



仮眠するときは、必ずエンジンを止めてください。

- 無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。
- 排気管が損傷していたり、風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



車を移動するときは、必ずエンジンを始動してください。

- 坂道を利用しての移動は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが非常に重くなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

車から離れるときは、パーキングブレーキをかけ必ずエンジンを止め施錠してください。

- 無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。また、施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

雪の積もった場所や降雪時に駐車するときは、エンジンをかけたままにしないでください。

- エンジンをかけた状態で車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

寒冷時、パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。(P.192参照)

- 輪止めをしないと、車が動き思わず事故につながるおそれがあり危険です。

可燃物付近に車を止めたりしないでください。

- 車両後方や排気管付近に燃えやすいものがあると火災になるおそれがあり危険です。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を30cm以上離して止めてください。すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあり危険です。
- 枯れ草や紙くずなど燃えやすいものの上を走行したり、車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。



●こんな点にも注意を

不正改造は絶対にしないでください。

●次の部品を装着すると、車の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となったり、不正改造になることがあります。

1bトヨタが国土交通省に届け出をしていない部品

1b車の性能や機能に適さない部品

●ハンドルの取りはずいやほかの車両への取りつけは絶対にしないでください。

●電装品、無線機などの取りつけ、取りはずしはトヨタ販売店にご相談ください。

電子機器部品に悪影響をおよぼしたり故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

R F送信機の取りつけについては、42ページも参照してください。

●フロントガラス、および運転席・助手席の窓ガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼りつけないでください。視界を妨げるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取りつけナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

●ディスクホイール・ホイール取りつけナットはトヨタ純正品以外を使用しないでください。車の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみ、ホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となったり、不正改造になることがあります。

●タイヤの取りつけには、ご使用のディスクホイール専用のホイール取りつけナットを使用してください。

●タイヤは4輪とも指定サイズで、同一メーカー・同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。タイヤを混在使用すると、左右タイヤで常時異常な回転差が発生し、駆動系部品に無理な力がかかり、オイルの温度が上昇するなどしてオイルもれや焼き付きなどにより、最悪の場合、車両火災につながるおそれがあり危険です。また、き裂・損傷があったり、摩耗程度がほかのタイヤと著しく異なるなど、異常のあるタイヤを混ぜて装着したまま走行しないでください。車の性能（燃費・車両の方向安定性・制動距離など）が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど故障の原因となったり、不正改造になることがあります。（冬用タイヤも同様です。）

例えば、下記のシステムは、正確な車両速度が検出できなくなる場合があり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

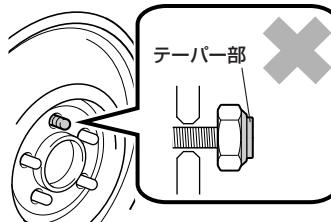
1bA B S

1b4輪エアサスペンション

1bパックモニター

1bG P Sボイスナビゲーション

●必ずナットのテーパー部を内側にして取りつけてください。テーパー部を外側にして取りつけると、ホイールが破損しそれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



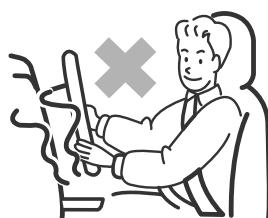
ウインドウガラスにアクセサリーを取りつけたり、インストルメントパネルやダッシュボードの上に物を置いたまま走行しないでください。

- 運転者の視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いて安全運転のさまたげになるおそれがあります。



灰皿を使用したあとは、マッチ、タバコの火を確実に消し、必ず閉めておいてください。

- 開けたまま放置すると火災になるおそれがあり危険です。



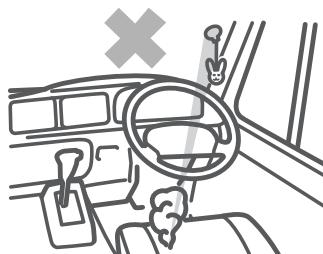
ラジエーターや補助タンクが熱いときは、キャップをはずさないでください。

- 蒸気や熱湯が吹き出すおそれがあり危険です。



ウインドウガラスなどには吸盤をつけないでください。

- ウインドウガラスにアクセサリーの吸盤を取りつけたり、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置くと、吸盤や容器がレンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。



アルミボディには、磁石で固定するアクセサリーを取りつけることはできません。

- 磁石はアルミにつかないため、磁石式の初心者運転標識や高齢者運転標識などは取りつけることができません。

ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転者は走行中に使用しないでください。

- 思わぬ事故につながるおそれがあります。



クラッチペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に長い時間、半クラッチ操作を行わないでください。

- クラッチが早く摩耗したり、過熱し思わぬ事故につながるおそれがあります。

車内のスイッチなどに飲み物などをこぼさないよう注意してください。

- インストルメントパネル、ドアなどにあるスイッチなどに飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。万一、スイッチに飲み物がかかった場合は、すみやかにトヨタ販売店にご相談ください。

エンジンルームを点検したあとは、エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。

- 点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因となったり、また、エンジンルーム内は高温になるため火災につながるおそれがあり危険です。

メガネ、ライターやスプレー缶を車内に放置したままにしないでください。

- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こすおそれがあります。
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発するなどして、火災につながるおそれがあり危険です。
- ライターやスプレー缶を収納装備に放置したり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして、火災につながるおそれがあり危険です。

エンジンがかかっているとき、またはエンジン停止直後、マフラーに触れないように注意してください。

- エンジンがかかっているときやエンジン停止直後のマフラーは高温になっています。荷物の積みおろし時などに手や足が触ると、やけどをするおそれがあります。

走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどには触れないでください。

- 走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっています。タイヤ交換などで手や足が触れると、やけどをするおそれがあります。

シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。

- ドアやウインドウを開けたまま放置すると、直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの動きをして火災につながるおそれがあり危険です。

ディーゼル車は、給油するときは給油口にノズルを確実に挿入してください。

- ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料がこぼれる場合があります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示にしたがってください。

内装（特にインストルメントパネル）の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。

- インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害もしくは死亡におよぶおそれがあります。

お車へRF送信機を取りつけると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFIコンピューター
 - ABS（アンチロックブレーキシステム）
 - SRSエアバッグ
- 悪影響を防ぐための措置や取りつけ方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF送信機の取りつけに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取りつけ条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

ターボ車の取り扱いチェックポイント

ターボ装置は、エンジンに大量の空気を過給してエンジンからより大きな馬力を引き出すもので、非常に精密に作られています。

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

■ 高速走行・登坂走行直後はエンジンを止めないでください。

- 必ずアイドル運転を行い、ターボ装置を冷却してからエンジンを停止してください。
アイドル運転を行わないとターボ装置の故障の原因になります。

〈エンジン停止前のアイドル運転時間〉

運転状況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分

■ エンジンが冷えているときは空ぶかしや急加速は絶対に行わないでください。

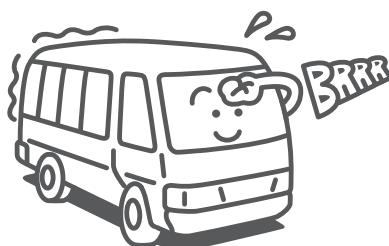


■ マフラーなどには指定以外の部品を使わないでください。

■ 定期的なオイル交換を必ず行ってください。

- エンジンオイルは必ず15,000kmごと、オイルフィルターも同時に交換してください。

ターボ装置は、毎分10数万回転におよぶ高回転、700°C以上の高温下で使われ、その潤滑と冷却はエンジンオイルで行われています。したがって定められた期間でエンジンオイル、オイルフィルターを交換しないと、劣化したエンジンオイルにより、ターボ軸受部の固着、異音の発生など故障の原因となります。



TOYOTA-D-CAT*車の取り扱いチェックポイント

TOYOTA-D-CAT車はフィルターに捕集したススが一定量堆積するごと（一般走行で約200km[※]）に自動的に排出ガス浄化装置に捕集したススを燃焼（再生）処理するクリーニングモードとなります。排出ガス浄化装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。
※走行条件により異なります。

指定以外の燃料を補給しないでください。

- 指定以外の燃料を補給すると、エンジンや排出ガス浄化装置などに悪影響をおよぼし、故障するおそれがあります。また、白煙が発生し続けることがあります。

エンジン	指定燃料
N04C-VJ	軽油
N04C-VK	超低硫黄軽油 〔S10ppm以下〕

指定銘柄以外のエンジンオイルを使用しないでください。

- 指定銘柄以外のエンジンオイルを使用すると、排出ガス浄化装置の機能を長時間維持することができなくなるので、純正指定のエンジンオイルの使用を推奨します。

テールパイプの改造はしないでください。

- テールパイプの向きや長さを変更すると、排出ガス浄化装置に悪影響をおよぼすおそれがありますので、テールパイプの改造は行わないでください。

TOYOTA-D-CAT車は自動的に排出ガス浄化装置に捕集したススを燃焼（再生）処理します。

- 排出ガスの燃焼（再生）処理のため、車両が信号待ちなどで停車したときにアイドリング回転数があがり排気ブレーキが作動することがあります。
- 車をアイドリング状態で長時間放置すると、白煙排出防止のため、アイドリング回転数があがり、排気ブレーキが作動することがあります。
- 運転状態によっては排出ガス浄化装置内に捕集したススの燃焼（再生）処理が完了しない場合があります。このときは排出ガス浄化装置スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置表示灯が点滅します。排出ガス浄化装置スイッチを押してススの燃焼（再生）処理を行ってください。
(112ページ参照)

TOYOTA-D-CAT車には次のような特徴があります。

- 排出ガス浄化装置により、排気ガスを浄化して放出するため、従来のディーゼル車とは排気ガスの臭いが異なります。
- 始動時にテールパイプから白い煙りが出ることがありますが、これは水蒸気ですので異常ではありません。
- ススの燃焼（再生）処理中にマフラー周辺から白い煙りが出ることがありますが、これはマフラー周辺に溜まった水分が水蒸気として排出されているもので異常ではありません。

* D-CAT は Diesel – Clean Advanced Technology の略

2

安全装備

シート	46
正しい運転姿勢	46
フロントシート	47
リヤシート	48
補助シート	49
保護者用シート	50
運転席ガード	50
セパレーターパイプ	51
シートベルト	52
正しい着用	52
E L R（緊急時固定機構）付き3点式シートベルト	54
シートベルト非着用警告灯	55
E L R（緊急時固定機構）付き2点式シートベルト	56
長さ調整式2点式シートベルト	58
ABS	60

2

シート

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように次の事項に注意してシートを調整します。

ヘッドレスト中央が耳の後方になること



シートベルトが正しく着用できること
(52ページの「正しい着用」を参照してください。)



警告

- 助手席や後席に荷物を積み重ねたりしないでください。急ブレーキをかけたときや車が旋回しているときなどに荷物が飛び出して、乗員にあたったり、荷物を損傷したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 走行中は運転席シートの調整をしないでください。シートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故の原因となって生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 走行中、シート以外の場所への乗車や車内の移動はしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体が慣性力で飛ばされ、頭などを強く打ち、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートの下（シートアンダートレイ内を除く）に物を置かないでください。物が挟まつてシートが固定されず、思わぬ事故の原因となって生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、ロック機構の故障の原因になります。
- 背もたれと背中の間にクッション（座布団）などをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されず生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



注意

- シートを調整するときは同乗者や荷物に当てないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手を挟みけがをするおそれがあります。
- 室内を清掃するときや、シートの下に落とした物を拾うときなどは、シートの下に手を入れると、シートレール・シートフレーム（シートの土台部分）などに当たり、けがをするおそれがありますので、十分に注意して行ってください。

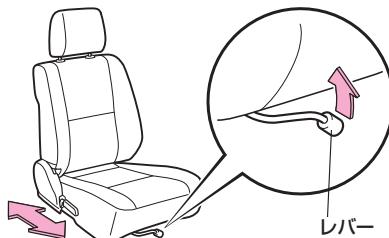
フロントシート

シートの調整

■前後位置調整

運転席

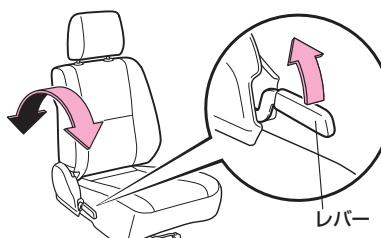
レバーを引いたままシートを前後に動かして調整します。調整後、シートを軽くゆさぶり確認に固定されていることを確認します。



■リクライニング調整

●運転席

レバーを引いたまま背もたれを前後に動かして調整します。調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

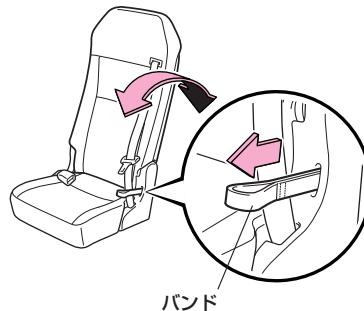


⚠ 注意

背もたれにもたれかかったままリクライニング調整をしないでください。背もたれに力が加わっていると、レバー操作が重かったり、突然背もたれが倒れるおそれがあります。

●助手席 ★

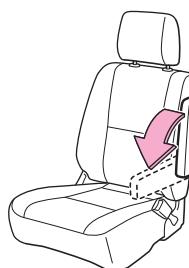
バンドを引いたまま背もたれを前後に動かして調整します。調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



■アームレスト★

使用するときは、アームレストを一番下まで倒します。

運転席



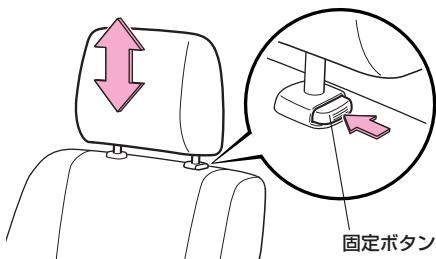
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ヘッドレストの調整

運転席

■上下位置調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは固定ボタンを押したまま引き抜きます。



⚠ 警告

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

⚠ 注意

ヘッドレストを取り付けるときは、“カチッ”と音がして固定されたことを確認してください。固定されていないと、衝突したときなどにけがをするおそれがあります。

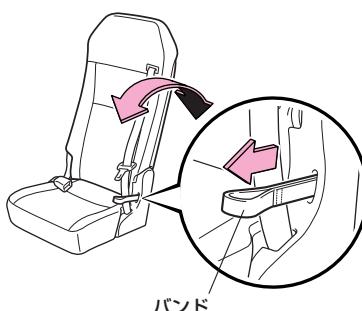
リヤシート

幼児車を除く

シートの調整

■リクライニング調整★

バンドを引いたまま背もたれを前後に動かして調整します。調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

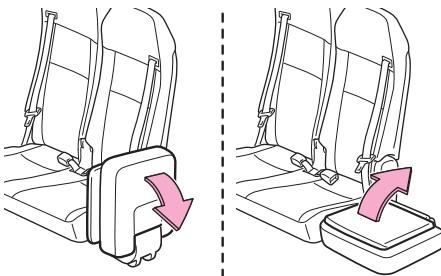


補助シート★

助手席・リヤシート横にあります。

■使用するときは

補助シートを倒し、背もたれを起こします。



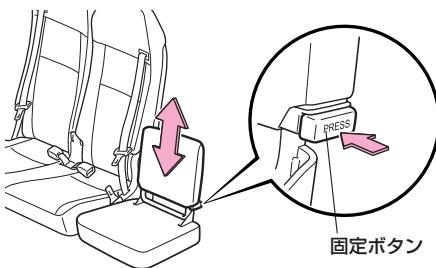
⚠ 注意

シートを倒すときは、同乗者や荷物に当たらないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物がこわれたりするおそれがあります。

■ハイバック補助シート★

高さを2段階に調整することができます。

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。



- 補助シートをもとにもどすときは、背もたれを一番下の位置にしてから行ってください。

保護者用シート

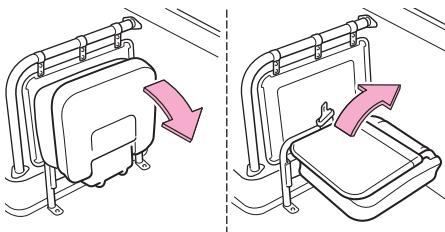
バス（幼児車）

センタードア後部と最後部に保護者用シートがあります。

■使用するときは

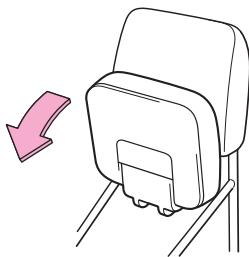
●センタードア後部

シートを倒し、背もたれを起こします。



●最後部

シートクッションを倒します。



非常ドア（81ページ参照）を使用するときは、シートクッションを持ち上げてください。

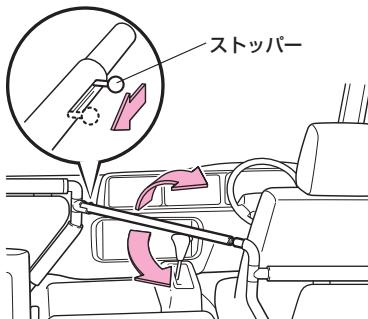
運転席ガード

バス（幼児車）

幼児が運転者の操作をさまたげることのないように、運転席とリヤシートの間に取りつけられています。

ガード先端のストッパーを引いたまま操作します。

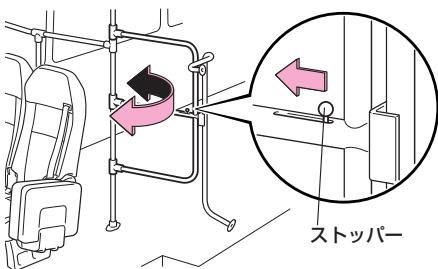
●走行中は必ず使用してください。



セパレーターパイプ

パン

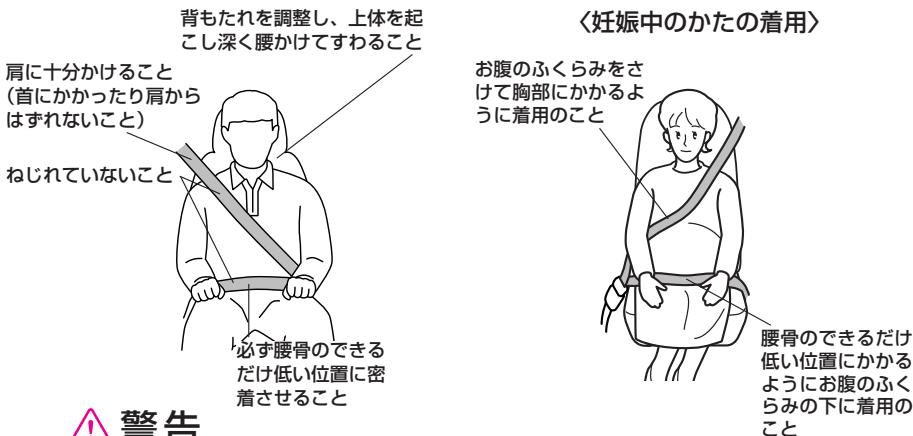
ストッパーを引いたまま操作します。
●走行中は必ず使用してください。



シートベルト

正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



警告

- 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートベルトを着用するときは必ず次のことをお守りください。お守りいただかないシートベルトにより重大な傷害を受けたり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ①シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢については「正しい運転姿勢」(46ページ)を参照してください。
 - ②3点式シートベルトの肩ベルトは、首にかかったり脇の下を通したりして着用しないでください。必ず肩に十分かかるように着用してください。
 - ③シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトが腰骨からずれると衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
 - ④シートベルトはねじれがないように着用してください。ねじれていると衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができません。
 - ⑤シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - ⑥シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。
 - ⑦シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ⑧ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。

⚠ 警告

- シートベルトのバックルには異物がはいらないようにしてください。異物がはいるとブレートがバックルに完全にはまらない場合があり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。
 - 1おひざの上でお子さまをだいていても、急ブレーキや衝突したときなどに十分に支えることができずお子さまが生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - 2この車のシートベルトは、シートベルトを着用するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたにしたがってください。(52ページ)
- ほつれ、すりきれができたり、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突したときなどに正常に動かず、シートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートベルトの改造や取りつけ・取りはずしなどをしてください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
シートベルトの取りつけ・取りはずし、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを正しく着用してください。
(ただし、医師に注意事項をご確認ください。)
 - 1妊娠中のシートベルトの着用については、基本的に通常着用するときと同様ですが、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に着用するようにしてください。
また、肩ベルトは確実に肩を通しお腹のふくらみをさけて胸部にかかるように着用してください。
 - 2ベルトを正しく着用していないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどにベルトがお腹のふくらみに食い込むなどして、母体だけでなく胎児までが生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 疾患のあるかたも必ずシートベルトを正しく着用してください。
(ただし、医師に注意事項をご確認ください。)
- すべてのシートに、シートベルトで子供専用シートを取りつけることはできません。

ELR（緊急時固定機構）付き3点式シートベルト

補助シート、保護者用シートを除く

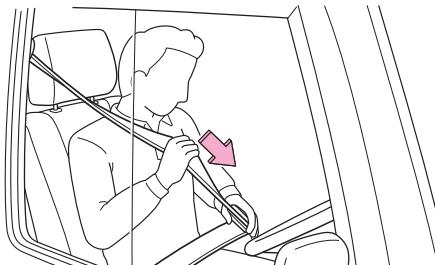
ELR機構

シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前に倒れそうなときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

■脱着のしかた

プレートを持って引き出し、ねじれないことを確かめます。

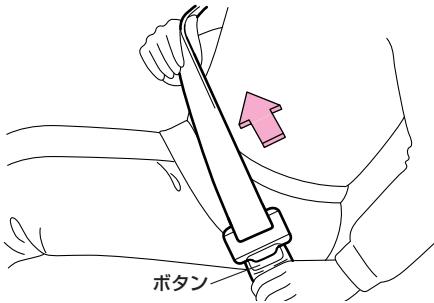
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてから、ベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。



プレートを“カチッ”と音がするまでバックルに差し込みます。

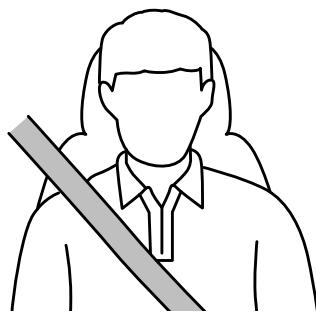


腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、肩ベルトを引き、腰部に密着させます。



肩ベルトは、必ず肩に十分かかるようにします。

このとき、ベルトが首に当たったり、肩からはずれてしまわないようにします。



はずすときはバックルのボタンを押します。

シートベルト 非着用警告灯

運転席シートベルト 非着用警告灯



エンジンスイッチが“ON”のとき運転席シートベルトを着用していないと点滅します。ただちにシートベルトを着用してください。

■運転席シートベルト非着用 警告ブザー

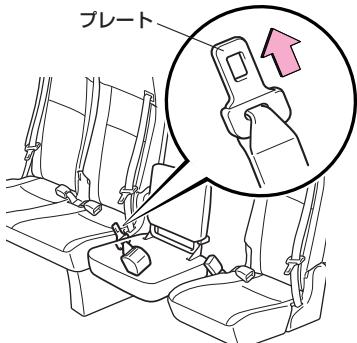
警告灯が点滅している状態で、車速が約20 km/h以上になると、断続音が約120秒間鳴ります。(ブザーが鳴りはじめてから、約30秒後にブザーの音が変わります。

- シートベルトを装着すると消音します。

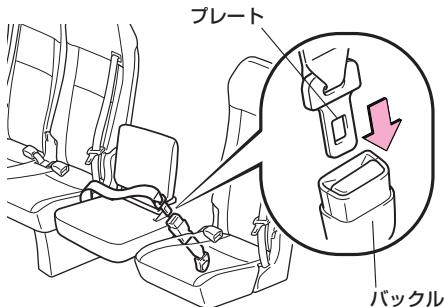
ELR（緊急時固定機構）付き2点式シートベルト

補助シート（助手席補助シートを除く）、
センタードア後部保護者用シート

プレートを持って引き出し、ねじれていないうことを確かめます。
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、ベルトを押し込んでから、再度ゆっくりと引き出します。



プレートを“カチッ”と音がするまでバックルに差し込みます。



はずすときはプレートを持ちながらバックルのボタンを押します。

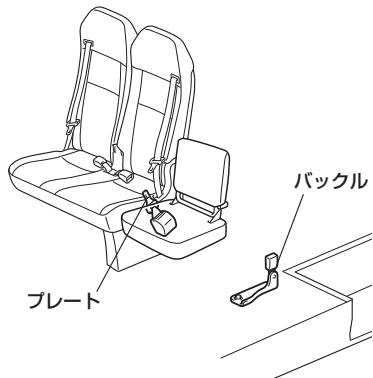
!**注意**

シートベルトをはずすときはプレートを持ちながらボタンを押してください。プレートを持たないとベルトが巻取られる際に、同乗者などに当たりけがをするおそれがあります。

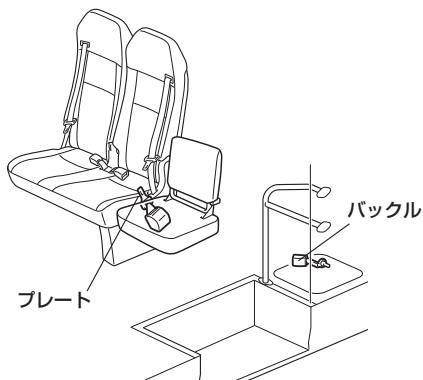
補助シートで 使用するバックルについて

補助シートの列や、車両型式によって、
使用するバックルの位置が異なります。

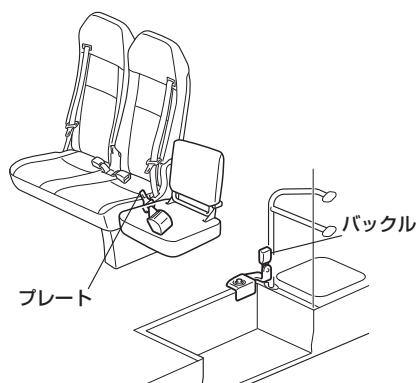
■前から2列目



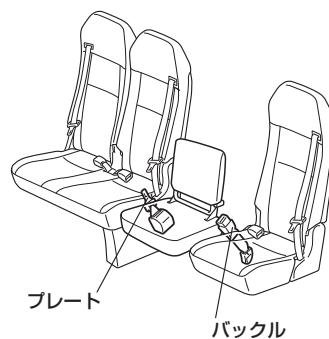
■前から3列目（バン）



■前から3列目（バンを除く）



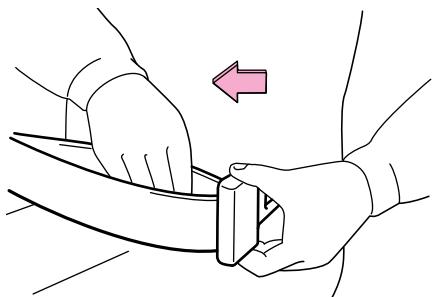
■前から4列目以降



長さ調整式2点式シートベルト

助手席補助シート

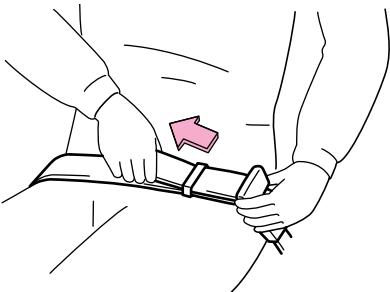
プレートを図のようにしてベルトを引き、必要な長さより少し長めにします。



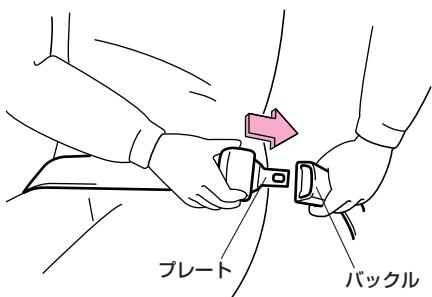
ベルトにねじれがないようにし、プレートを“カチッ”と音がするまでバックルに差し込みます。

ベルトにねじれがないことを確認してください。

ベルトを引いて必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。



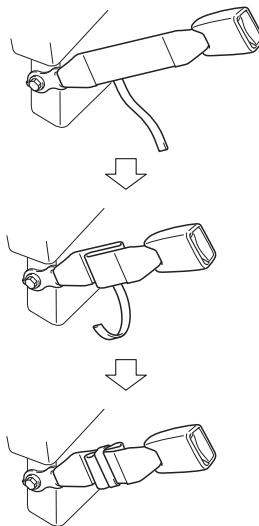
はずすときはバックルのボタンを押します。



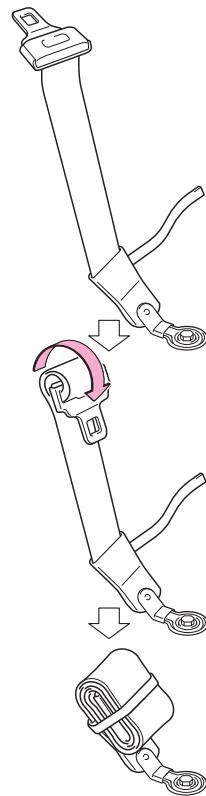
シートベルト・バックルの 格納のしかた

折りたたんで、バンドでまとめておきます。

■バックル側



■シートベルト側



ABS*

警告

- ABSを過信しないでください。
ABSが作動した状態でもスリップの抑制やハンドルの効き方には限界があります。
ABSを過信せず速度をおさえ、車間距離を十分にとって安全運転に心がけてください。
 ①b ABSはタイヤのグリップ限界を超えていたり、ハイドロブレーニング現象※が起こった場合は効果を発揮できません。
 ※ 雨天の高速走行などで、タイヤと路面の間に水膜が発生し、接地力を失ってしまう現象
- ABSは制動距離を短くするための装置ではありません。
次の場合などは、ABSについていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。速度をひかえめにして車間距離を十分にとってください。
 ①b 砂利道、新雪路を走行しているとき
 ①b タイヤチェーンを装着しているとき
 ①b 道路の継ぎ目などの段差を乗りこえるとき
 ①b 凹凸道や石だらみなどの悪路を走行しているとき

ABS

急ブレーキをかけたときや、すべりやすい路面でブレーキをかけたときに起こるタイヤのロック（回転が止まること）を防ぐことによりスリップを抑制します。また、ブレーキ油圧増圧機能により、高い制動力が必要と判断された場合、またはブレーキブースターの負圧が低下して十分なブレーキ力が得られなくなつた場合に、より大きな制動力を発生させることにより、ドライバーの操作を補助します。

■運転について

- 急ブレーキ時は、ABSが効果を発揮するようにブレーキペダルをできるだけ強く踏み続けることが必要です。
- 急ブレーキ時にポンピングブレーキ※をしないでください。
ポンピングブレーキをすると制動距離が長くなります。
 ※ ブレーキペダルを数回に分けて小刻みに踏むブレーキのかけ方

■作動について

- ABSが作動すると、次のような現象が発生することがあります、異常ではありません。
- ABSの作動音とともにブレーキペダルが小刻みに動いたり、車体やハンドルに振動を感じたり、車両停止後もモーター音が聞こえることがあります。
 - ABSの作動が終了すると、ブレーキペダルが少し奥にはいったりすることがあります。

* ABSは Antilock Brake System (アンチロック・ブレーキ・システム) の略

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

 知識

- A B Sは、車速が約10km/hを超えると作動できるようになります。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。
- 雨の日に、マンホールのふた、橋の継ぎ目、工事中の鉄板などの上でブレーキを踏むとすべりやすいため、A B Sが作動しやすくなります。
- エンジン始動時や、始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音や“カチッ”という音が聞こえることがあります。これは、システムの作動をチェックしているときの音で、異常ではありません。
- A B Sが作動すると排気ブレーキ（114ページ参照）は、作動しません。

A B S警告灯



- エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、A B Sシステムに異常があると点灯します。
- 警告灯が点灯しているときは、A B Sは作動しませんが、通常のブレーキとしての性能は確保されています。
- 警告灯が点灯しているときは、A B Sが作動しないため急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時には、タイヤがロックすることがあります。



アドバイス

警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチを“ON”の位置にしても点灯しないとき
 - エンジンスイッチを“ON”の位置で点灯したまま消灯しないとき、または走行中点灯したままのとき
- なお、走行中に点灯しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

MEMO



3

操作装置

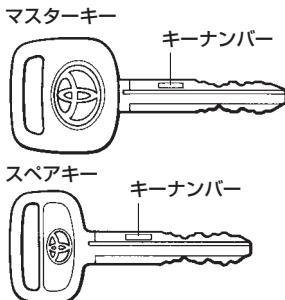
各部の開閉	64	視界の確保	100
キー	64	ライトスイッチ	100
ドアインデックス	64	ヘッドランプレベリング	
フロントドア	66	調整ダイヤル	101
グライド式ドア	67	方向指示レバー	102
折戸式ドア	73	フォグラランプスイッチ	103
トランク	77	フォグラランプ断線検知スイッチ	103
観音扉ドア	79	ワイパー＆ウォッシャースイッチ	104
非常ドア	81	非常点滅灯スイッチ	105
ウインドウガラス	82	リヤウインドウデフォッガー (曇り取り) スイッチ	106
フューエルリッド (燃料補給口)	83	運転装置	108
エンジン点検口	86	エンジン (イグニッション) スイッチ	108
各部の調整	87	エンジンのかけ方	109
ハンドル	87	排出ガス浄化装置スイッチ	112
インナーミラー	87	排気ブレーキスイッチ	114
アウターミラー	88	パーキングブレーキ	114
メーター、表示灯、警告灯の見方	90	ホーン	115
メーター	90	マニュアル	
表示灯、警告灯	92	トランスミッション	116
		オートマチック	
		トランスミッション	117
		オートマチック車の運転のしかた	121
		4輪エアサスペンション	124

3

各部の開閉

キー

- キーはドアの施錠・解錠のほか、エンジンの始動・停止に使用します。
- キーは2枚あります。



万一、キーを紛失したときのために、キーナンバーを手帳などにひかえておいてください。キーナンバーからトヨタ販売店で純正のキーを作ることができます。



アドバイス

キーを作るときはトヨタ販売店にご相談ください。トヨタ純正品以外のキーを使用すると、キーがスムーズにまわらなくなることがあります。

ドAINDECKS

⚠️ 警告

- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまにドアの操作をさせないでください。
 - ↑閉めるとき、手・頭・首などを挟んだりして、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - ↑走行中にドアを開け、お子さまが車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



知識

- 乗車中の施錠、解錠についてはそれぞれ次のような効果がありますので、ご選択ください。
 - ↑**乗車中、施錠している場合**
 - ・同乗者が誤ってドアを開けることを防ぎます。
 - ・車外からの不意の侵入者を防ぎます。
 - ・シートベルトの着用とあわせて、事故時に車外に投げ出される可能性が少なくなります。
 - ↑**乗車中、解錠している場合**
 - ・万一の場合に車外からの救援活動が受けやすくなります。
- 車から離れるときは、必ずエンジンを止め施錠することが法的に義務づけられています。また、施錠していても車内に貴重品などを置かないようにしましょう。

車両によって装着されているドアが異なります。
以下の項目を参照して、該当するページをお読みください。

車両	ドア	機能・機構	記載ページ
バス (幼児車を除く)	センタードア	1b運転席ドア	66
		1bグライド式ドア · 手動式ドア	67
		· オートドア★	67
		· 電動格納式補助ステップ★	68
	バックドア	1b折戸式ドア · 手動式ドア	71
		· オートドア★	73
バス (幼児車)	センタードア	1bトランク	73
		1b観音扉ドア★	73
			75
	バックドア	1b運転席ドア	77
		1b折戸式ドア · 手動式ドア	79
		· オートドア★	79
バン	センタードア	1b非常ドア	81
		1b運転席ドア 1b助手席ドア★	81
	センタードア	1bグライド式ドア · 手動式ドア	67
		· オートドア★	67
		1b折戸式ドア★ · 手動式ドア	68
			73
	バックドア	1b観音扉ドア	73

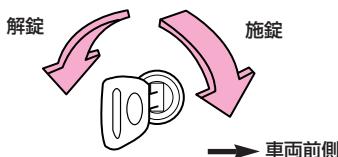
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

フロントドア

施錠と解錠

■キーを使っての施錠と解錠

キーを前側にまわすと施錠、うしろ側にまわすと解錠されます。



●運転席ドアに差し込んだキーを上記のように操作すると、下記のドア（非常ドアを除く）が装着されている場合は、運転席ドアと装着されているドアを同時に施錠・解錠することができます。

- 1b助手席ドア
- 1bグライドドア ※
- 1b観音扉ドア

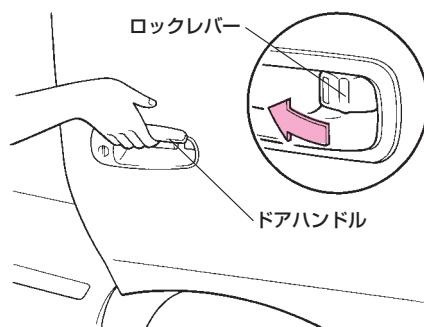
※緊急解除レバー（70ページ参照）装着車を除く

■ロックレバーでの施錠と解錠

ロックレバーを前方に押し込むと施錠し、後方に引き出すと解錠されます。

■キーを使わずに施錠するには

ロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。



キー抜き忘れ防止ウォーニング

エンジンスイッチが“LOCK”または“ACC”的位置のとき運転席ドアを開けると、キーの抜き忘れを警告するチャイムが鳴ります。



知識

キーの閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

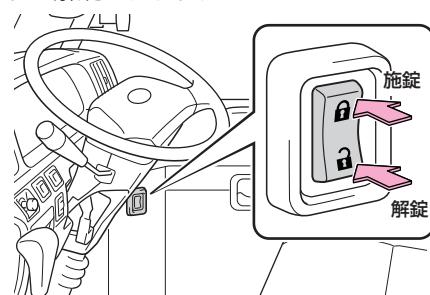
ドアカーテシランプ

フロントドアを開けると、開けた側のドアのカーテシランプが点灯します。ドアを閉めると消灯します。

電気式ドアロック

■ドアロックスイッチを使っての施錠と解錠

スイッチの上側を押すと施錠、下側を押すと解錠されます。



運転席ドアのスイッチを操作すると、下記のドア（非常ドアを除く）が装着されている場合は、運転席ドアと装着されているドアを同時に施錠・解錠することができます。

- 1b助手席ドア
- 1bグライドドア ※
- 1b観音扉ドア

※緊急解除レバー（70ページ参照）装着車を除く

グライド式ドア

手動式ドア

■キーを使っての施錠と解錠

キーを前側にまわすと施錠、うしろ側にまわすと解錠されます。

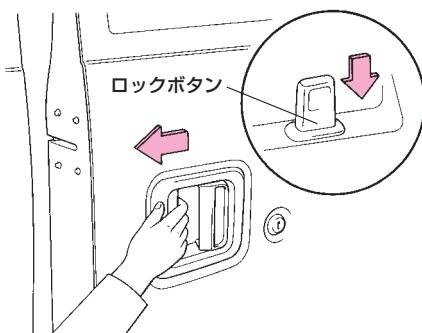


■ロックボタンでの施錠と解錠

ロックボタンを押すと施錠し、引くと解錠されます。

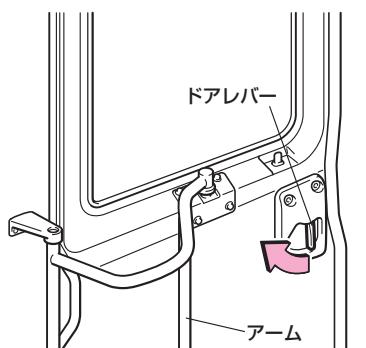
■キーを使わずに施錠するには

ロックボタンを施錠側にして、ドアを閉めます。



■車内からのドアの開閉

- 開けるときは、ドアレバーを右にまわして車両後方へ押します。
- 閉めるときは、アームを持って車両前方へ引きます。

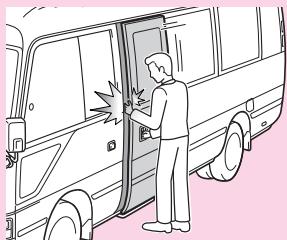


! 警告

- 走行前にセンタードアを軽くゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。
センタードアが確実に閉まっていないと、走行中にセンタードアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

- センタードアを開閉するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 1b傾斜地、ドアと壁などの間が狭い場所、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアレバーやアームを確実に保持してドアを開閉してください。
- 1b傾斜地では平坦な場所よりもセンタードアの開閉がしにくくなる場合があります。また、急にセンタードアが開いたり閉じたりするおそれがあります。指などを挟まないよう十分注意してください。
- 1bセンタードアが全開で静止していることを確認してください。とくに傾斜地では急にセンタードアが閉じるおそれがあり危険です。
- 1bセンタードアの後方の安全を十分確認してください。
- 1bほかの人の手などを挟まないように注意してください。

センタードアステップランプ

ライトスイッチがONの位置のとき、センタードアを開けると、センタードアステップランプが点灯します。
ドアを閉めると消灯します。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

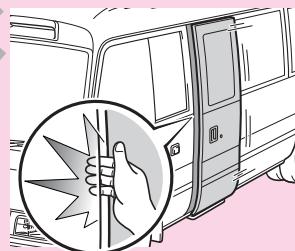
オートドア★

■施錠と解錠、手動でのドアの開閉

67ページの「手動式ドア」をご覧ください。

⚠ 警告

- センタードアを開閉するときはほかの人の手などを挟まないように十分注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 自動開閉時は、車外および車内のドア付近に人がいないか、器物がないかなど安全を確認し、センタードアで指などを挟まないように十分注意してください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。また、お子さまには操作をさせないでください。重大な傷害につながるおそれがあり危険です。
- 万一、走行中にセンタードア開放警告灯（99ページ参照）が点灯して、ブザーが鳴った場合、センタードアが確実に閉まっていません。
停車して、センタードアを確実に閉めてください。



アドバイス

ドアの開閉は、バッテリーあがりを防ぐためエンジン回転中に行ってください。



知識

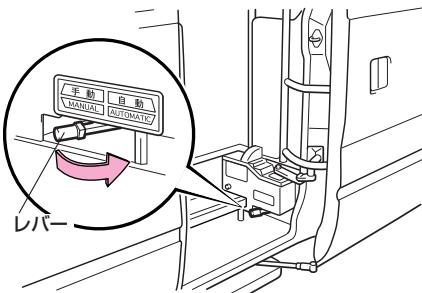
- 走行中にスイッチを押しても、ドアの開閉はできません。
- 傾斜した場所では、開閉ができないことがあります。この場合、手動で開閉してください。

■ドアの開閉

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき開閉できます。

- Bタイプのシフトレバー（118ページ参照）搭載車ではシフトレバーをeにいれてないと開閉できません。

センタードアの横にある切り替えレバーを「自動」の位置にします。



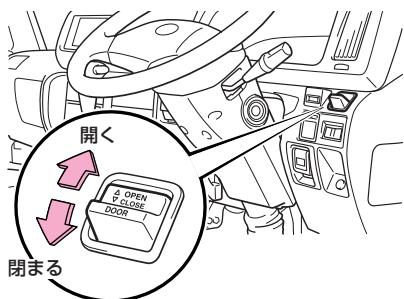
- 「手動」の位置にすると、手動で開閉することができます。
- 「手動」の位置にすると、メーター内の「オートドア自動/手動切替表示灯」が点灯します。（95ページ参照）

ロックボタンを押して施錠します。

- 切り替えレバーを「手動」の位置にしても、手動で開閉することができなくなります。

スイッチを操作します。

- 上に押している間は開き、下に押している間は閉まります。



- スイッチから手を離すと、その位置で停止します。

- ドアが開閉し始めるとき、ブザーで警報します。



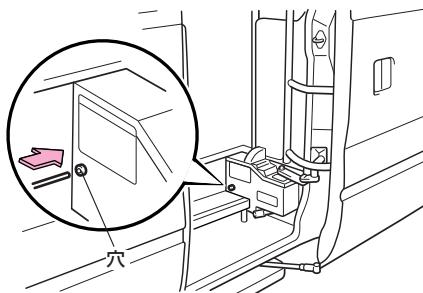
知識

- グライド式オートドアが開閉している最中にスイッチを離してドアが途中で停止した場合、スイッチを再操作してもドアを全閉できないことがあります。その場合は、グライド式オートドアを一度全開させた後で、閉操作をしてください。

- Bタイプのシフトレバー（118ページ参照）搭載車では、グライド式オートドアが開いているときに、シフトレバーをe以外にしようとするブザーが鳴ります。

■開閉できないときは（車内からの操作）

バッテリーの \ominus 端子をはずします。
サーキットブレーカーの穴に細い棒を“カチッ”という音がする位置まで軽く差し込みます。



アドバイス

マッチ棒などの折れやすい物は使用しないでください。

バッテリーを接続し、エンジンスイッチを“ON”の位置にします。



アドバイス

以上の操作を行っても、ドアが開閉しないときや、サーキットブレーカーの回路が再び切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

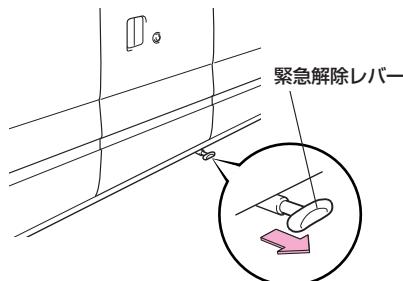
■開閉できないときは（車外からの操作）★



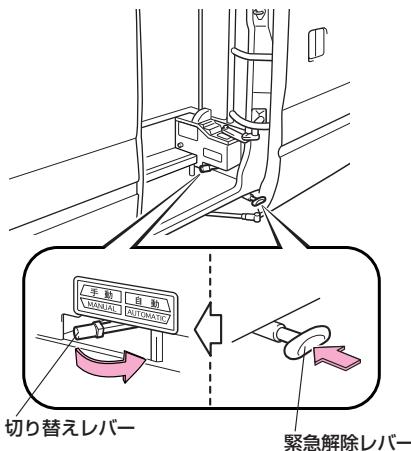
知識

この操作を行う前に、車内の切り替えレバー操作によりオートドアを「手動」に切り替えられる場合は、緊急解除レバーを使用せずに、その操作で「手動」に切り替え、開閉を行ってください。

緊急解除レバーを引くと、オートドアが手動に切り替わり、車外からドアを開けることができます。



- 緊急解除レバーで手動に切り替えた場合、自動に戻すには、緊急解除レバーを元の位置に押し戻してから、車内の切り替えレバーを「自動」の位置に戻します。



知識

駐車時などで、グライド式ドアが施錠されている状態のときは、緊急解除レバーを引いても車外からドアを開けることはできません。

アクセルインターロック

オートドア★

センタードアが開いているときは、アクセルペダルが固定されます。



アドバイス

ドアが開いているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ドアの開閉をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

電動格納式補助ステップ★

警告

- ステップの操作をする前に、運転者はステップが安全に操作できるように車外および車内のステップ付近の状態を必ず確認してください。
- ステップ作動中は、指や手を挟まないよう十分注意してください。また、お子さまには操作をさせないでください。



アドバイス

ステップの操作は、バッテリーあがりを防ぐためエンジン回転中に行ってください。

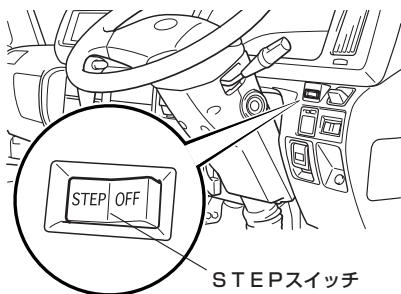
知識

走行中にスイッチを押しても、ステップの操作はできません。

■ステップを作動させるときは

次の条件をすべて満たしているときに、オートセンタードアスイッチを開(OPEN側)または閉(CLOSE側)操作すると、ドアの開閉に連動してステップが作動します。(作動中はブザーが鳴り続けます。)

- エンジンスイッチが“ON”の位置のとき
- 車両が停止しているとき
- STEPスイッチの「STEP」側が押されているとき



1bステップの格納作動は、スイッチの状態にかかわらず、ドアスイッチを閉作動側に押すと連動で格納されます。

■ステップを作動させないときは

STEPスイッチの「OFF」側を押します。

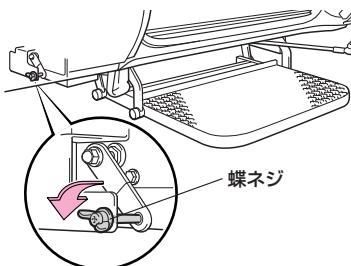
知識

- ステップが出ているときにセンタードアを手動またはオートセンタードアスイッチ操作により全閉すると、ステップが自動的に格納されます。
- ステップの作動中に、人や異物の挟み込みなどにより異常を感じると、その位置でステップが停止します。

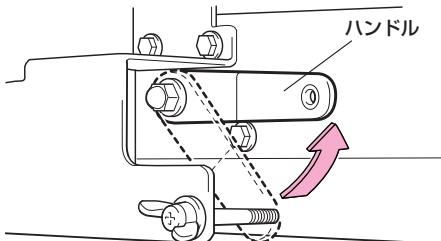
■格納できないときは

万一、ステップが出た状態のままスイッチで格納することができないときは、手動で格納することができます。

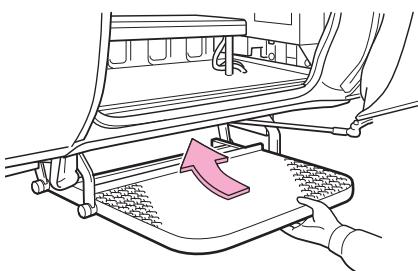
ステップ下側の格納装置の蝶ネジをゆるめて、ハンドル固定を解除します。



ハンドルをまわして水平にします。



格納位置までステップを手で押し上げ、そのまま保持します。



ハンドルをもとの位置にもどしてステップを固定します。

蝶ネジを締めてハンドルを固定します。

■アクセルインターロック

ステップが出ているときは、アクセルペダルが固定されます。



アドバイス

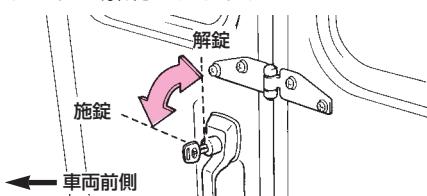
ステップが出ているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ステップの操作をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

折戸式ドア

手動式ドア

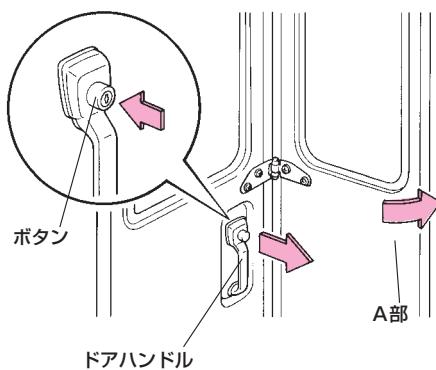
■キーを使っての施錠と解錠

キーを前側にまわすと施錠、うしろ側にまわすと解錠されます。



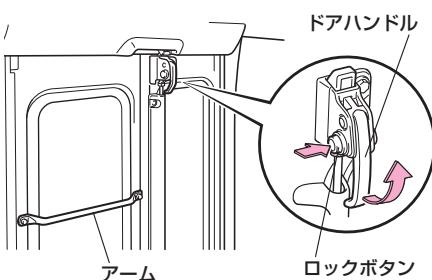
■車外からのドアの開閉

- 開けるときは、ドアハンドルを少し手前に引きながら、ボタンを押してドアを押します。
- 閉めるときは、ドアの先端（A部）を横に押しながらドアハンドルを手前に引きます。



■車内からのドアの開閉

- 開けるときは、ロックボタンを押しながらドアハンドルを引いたままドアを引きます。
- 閉めるときは、アームを持ってドアを押します。

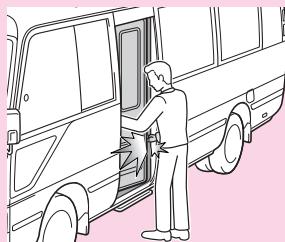


⚠ 警告

- 走行前にセンタードアを軽くゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。
センタードアが確実に閉まっていないと、走行中にセンタードアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

- センタードアを開閉するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないとい骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



1b傾斜地、強風など周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、注意してドアを開閉してください。

1b傾斜地では平坦な場所よりもセンタードアの開閉がしにくくなる場合があります。また、急にセンタードアが開いたり閉じたりするおそれがあります。指などを挟まないよう十分注意してください。

1bセンタードアが全開で静止していることを確認してください。とくに傾斜地では急にセンタードアが閉じるおそれがあり危険です。

1bセンタードアの周辺の安全を十分確認してください。

1bほかの人の手などを挟まないように注意してください。

センタードアステップランプ

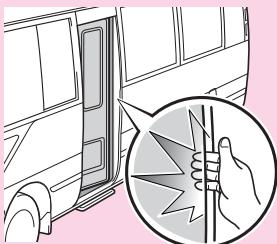
ライトスイッチがONの位置のとき、センタードアを開けると、センタードアステップランプが点灯します。ドアを閉めると消灯します。

オートドア★

- 施錠と解錠、手動でのドアの開閉
73ページの「手動式ドア」をご覧ください。

⚠ 警告

- センタードアを開閉するときはほかの人の手などを挟まないように十分注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- 自動開閉時は、車外および車内のドア付近に人がいないか、器物がないかなど安全を確認し、センタードアで指などを挟まないよう十分注意してください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。また、お子さまには操作をさせないでください。重大な傷害につながるおそれがあり危険です。
- 万一、走行中にセンタードア開放警告灯（99ページ参照）が点灯して、ブザーが鳴った場合、センタードアが確実に閉まっていません。
停車して、センタードアを確実に閉めてください。

👉 アドバイス

ドアの開閉は、バッテリーあがりを防ぐためエンジン回転中に行ってください。

🎓 知識

- 走行中にスイッチを押しても、ドアの開閉はできません。
- 傾斜した場所では、開閉ができないことがあります。この場合、手動で開閉してください。

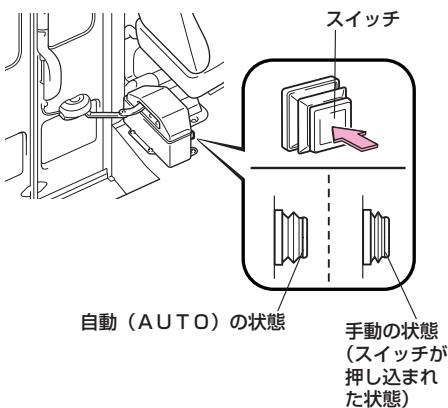
■ドアの開閉

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき開閉できます。

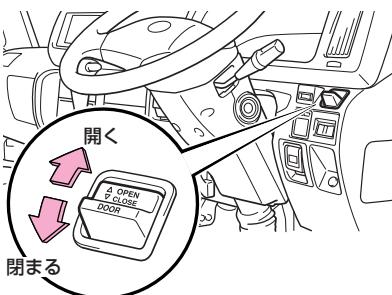
- Bタイプのシフトレバー（118ページ参照）搭載車ではシフトレバーをeにいれてないと開閉できません。

オートドアユニットの裏にあるキャンセルスイッチを押して自動（AUTO）の状態にします。

- 手動の状態にすると、手動で開閉することができます。
- 手動の状態にすると、メーター内の「オートドア自動/手動切替表示灯」が点灯します。（95ページ参照）



- スイッチを操作します。
- 上（OPEN側）に押している間は開き、下（CLOSE側）に押している間は閉まります。



- スイッチから手を離すと、その位置で停止します。
- ドアが開閉し始めるとき、ブザーで警告します。

知識

- 停車中は、キャンセルスイッチの状態に関係なく、ドアハンドルの操作でドアを開閉できます。ただし、ドアが全開のときにキャンセルスイッチが自動（AUTO）の状態になっていると、ドアハンドルでドアを閉めようとしても、ブレーキ制御がかかるため、ドアは閉めにくくなります。ドアを閉めるときは、キャンセルスイッチを手動の状態にしてから閉めてください。
- 駐車時などで、折戸式ドアが施錠されている状態のときは、車外からドアを開けることはできません。

アクセルインターロック

バス（幼稚車）・オートドア★

センタードアが開いているときは、アクセルペダルが固定されます。



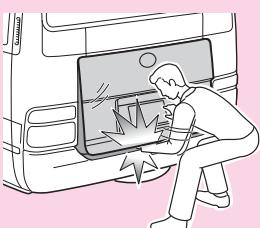
アドバイス

ドアが開いているときに、アクセルペダルを踏まないでください。また、アクセルペダルを踏んでいるときに、ドアの開閉をしないでください。アクセルインターロック装置の故障の原因およびリンク系の故障の原因になります。

トランク



警告



- トランクに人を絶対にのせないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- トランクを開閉するときは、周囲の安全を確かめ、トランクで指などを挟まないよう十分に注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。閉めるときに手、頭、首などを挟んだりして、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- トランクの中でお子さまを遊ばせたりしないでください。トランクは中から開けることができません。閉じ込められると、熱射病などにより、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

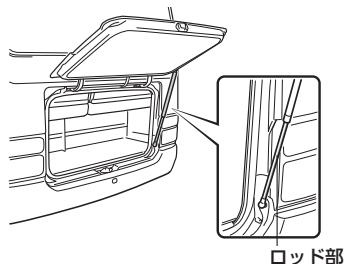
警告

- トランクを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行すると、トランクが車外のものなどに当たり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。走行する前に、必ずトランクが閉まっていることを確認してください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。トランクが風にあおられて勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあり危険です。
- トランクを開ける前に、トランク表面の重量物（雪など）を取り除いてください。開いたあとに、重みでトランクが突然閉じるおそれがあります。
- トランクが全開状態で静止していることを確認してから使用してください。半開状態で使用すると、トランクが突然閉じてけがをするおそれがあります。とくに傾斜地では開いたあとにトランクが閉じる場合があり危険です。
- 傾斜地では平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくくなる場合があります。また、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。指などを挟まないよう十分注意してください。
- 走行前にトランクを軽くゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。トランクが確実に閉まっていないと、走行中にトランクが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



アドバイス

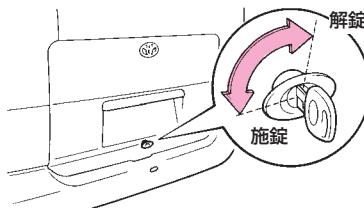
- 盗難を防ぐため、トランク内に貴重品を置かないようにしましょう。
- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物がステーのロッド部（伸縮部）に付着しないようにしてください。また、繊維などの付着を防止するため、ロッド部を軍手などで触れないでください。異物が付着すると、ステーが円滑に動かなくなったり、開けたとき保持力が損なわれるおそれがあります。



- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしないでください。ステーが曲がり、トランクが開閉できなくなるおそれがあります。

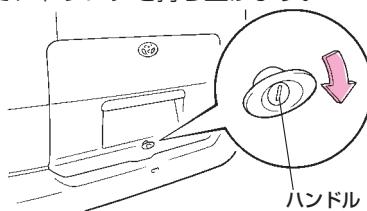
■キーを使っての施錠と解錠

キーを左側にまわすと施錠、右側にまわすと解錠されます。



■ドアの開閉

- 開けるときは、ハンドルを右にまわして、トランクを持ち上げます。



- 閉めるときは、トランクを押して閉めます。

■トランク灯★

トランクを開けると、トランク灯が点灯します。



アドバイス

エンジンを停止しているときは、トランクを長時間開けたままにしないでください。バッテリー上がりを起こすおそれがあります。

観音扉ドア

■キーを使っての施錠と解錠

キーを左側にまわすと施錠、右側にまわすと解錠されます。

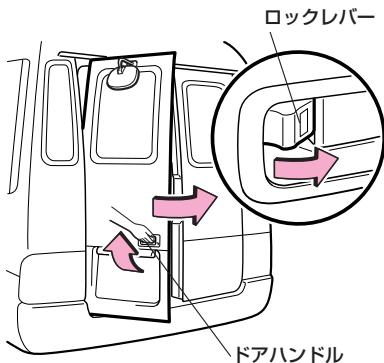


■ロックレバーでの施錠と解錠

ロックレバーを前方に押し込むと施錠し、後方に引き出すと解錠されます。

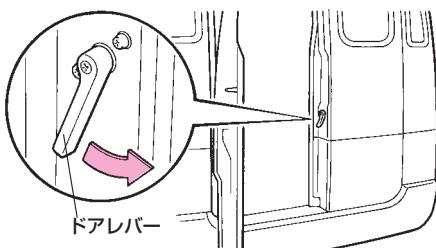
■キーを使わずに施錠するには

右側ドアを閉めてから、左側ドアのロックレバーを施錠側にして、ドアハンドルを引き上げたままドアを閉めます。



■右側ドアの開閉

- 開けるときは、ドアレバーを引きます。
- 閉めるときは、そのまま閉めます。



⚠ 警告

- バックドアを閉めるときは、周囲の安全を確かめ、バックドアで指などを挟まないように十分注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



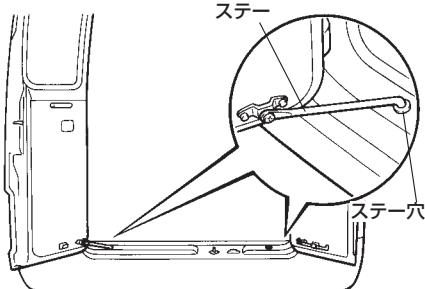
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。閉めるときに手、頭、首などを挟んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 警告

- 走行前にバックドアを軽くゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。バックドアが確実に閉まっていないと、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- バックドアを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行すると、バックドアが車外のものなどに当たり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。走行する前に、必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。
- 傾斜地では、平坦な場所よりもドアの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。指などを挟まないよう十分注意してください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。バックドアが風にあおられて勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあり危険です。
- バックドアが全開で静止していることを確認してください。とくに傾斜地では急にバックドアが閉じるおそれがあります。
- バックドアを開けて駐停車するときは、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。バックドアを開いていると非常点滅灯などが見えなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

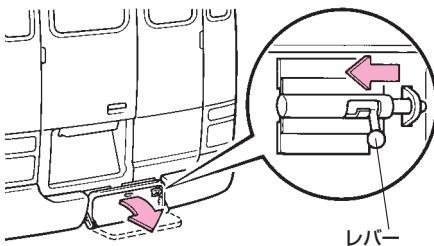
■バックドアオープンストッパー

左右のステーをバンパー上部のステー穴に差し込んでバックドアを固定します。



■折りたたみ式バックステップ★

使用するときはレバーを左に動かし、ステップを手前に倒します。



- 折りたたむときは、ステップを持ち上げ、レバーを右に動かします。
- 走行中はステップを折りたたんでおいてください。

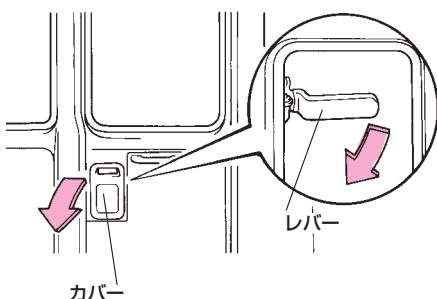
非常ドア

■車内からのドアの開閉

カバーを手前に引いてはずします。

- エンジンスイッチが“ON”の位置のとき運転席のブザーが鳴ります。

レバーを下に動かすとドアが開きます。

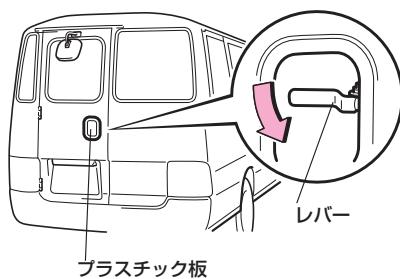


■車外からのドアの開閉

透明プラスチック板を破ります。

- エンジンスイッチが“ON”の位置のとき運転席のブザーが鳴ります。

レバーを下に動かすとドアが開きます。



警告

- バックドアを閉めるときは、周囲の安全を確かめ、バックドアで指などを挟まないように十分注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。閉めるときに手、頭、首などを挟んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 走行前にバックドアを軽くゆさぶり、確実にロックされていることを確認してください。

バックドアが確実に閉まっていないと、走行中にバックドアが突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

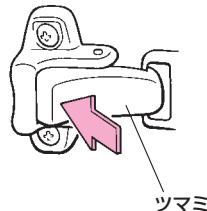
- バックドアを開けたまま走行しないでください。開けたまま走行すると、バックドアが車外のものなどに当たり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。走行する前に、必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。

⚠ 警告

- 傾斜地では、平坦な場所よりもドアの開閉がしにくかったり、急に開閉してしまう場合があります。指などを挟まないよう十分注意してください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。バックドアが風にあおられて勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあり危険です。
- バックドアが全開で静止していることを確認してください。とくに傾斜地では急にバックドアが閉じるおそれがあり危険です。
- お子さまをバックドアから乗りおりさせるときは、必ず保護者の人が付き添ってください。乗りおりする位置が高いため、足を踏みはずし、けがをするおそれがあります。
- バックドアを開けて駐停車するときは、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。バックドアを開いていると非常点滅灯などが見えなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ウインドゥガラス

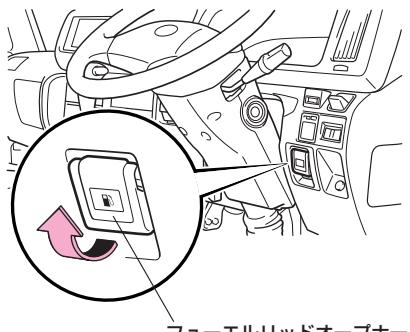
ツマミを押したまま、スライドさせます。



フューエルリッド (燃料補給口)

⚠ 警告

- 燃料補給時には、次のことを必ずお守りください。
①エンジンは必ず止めてください。
②車のドア、窓は閉めてください。
③タバコなど火気を近づけないでください。



フューエルリッドオープナー

ディーゼル車

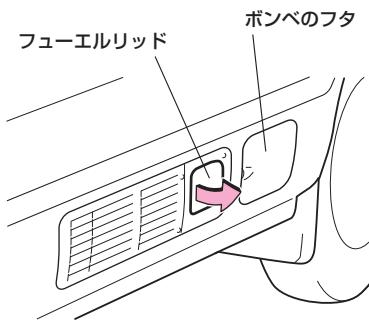
- フューエルリッド（燃料補給口）は助手席側後方にあります。
- フューエルリッドオープナーを引くと開きます。
- 燃料タンク容量は約95Lです。

⚠ 警告

- フューエルリッド、フューエルキャップを開けるなど給油操作を行う前に、車体などの金属部分に触れて体の静電気除去を行ってください。体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があり、やけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

- フューエルキャップを開ける場合は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。
気温が高いときなどに、燃料タンク内の圧力が高くなっていると、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップを少しゆるめたときに“シュー”という音がする場合は、それ以上開けないでください。その音が止まってからゆっくり開けてください。
- 給油中、再び車内のシートに戻ったり、帯電している人や物に触れないでください。(再帯電することがあります。)
- 給油口には静電気除去を行ったか以外の人を近づけないでください。
- 給油するときは給油口にノズルを確実に挿入してください。ノズルを浮かして継ぎ足し給油を行うと、オートストップが作動せず、燃料がこぼれる場合があります。
- 給油終了後、フューエルキャップを閉める場合、“カチッ”と音がするまで右にまわし、確実に閉まっていることを確認してください。
- 車に合ったトヨタ純正のフューエルキャップ以外は使用しないでください。
- その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示にしたがってください。
- 給油時に、気化した燃料を吸わないようにしてください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもありますので、ご注意ください。

LPG車

- フューエルリッド（燃料補給口）は運転席側側面にあります。
- フューエルリッドオープナーを引くと開きます。
- 燃料タンク容量は約122Lです。
- LPオートガスを補給してください。

■燃料補給について**警告**

LPオートガス補給は、LPGスタンドの係員におまかせください。また、LPオートガス補給時は、LPGスタンド指定の場所以外で火気を取り扱わないでください。引火するおそれがあり危険です。

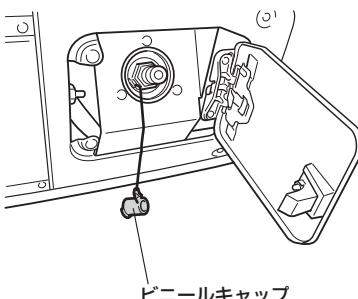
**知識**

- LPオートガスは「高圧ガス保安法」の適用を受けますので、車両の所有者とポンベの所有者が異なる場合は、ポンベに容器の所有者表示が義務づけられています。
- LPオートガスは「高圧ガス保安法」の適用を受けますので、ポンベおよびバルブには定期的な検査が義務づけられています。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

エンジンスイッチを“LOCK”の位置にします。

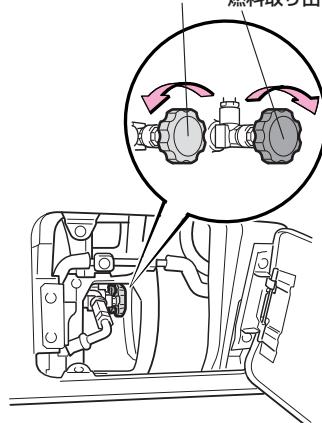
フューエルリッドオープナーを引いてフューエルリッドを開けます。

補給口のビニールキャップをはずします。



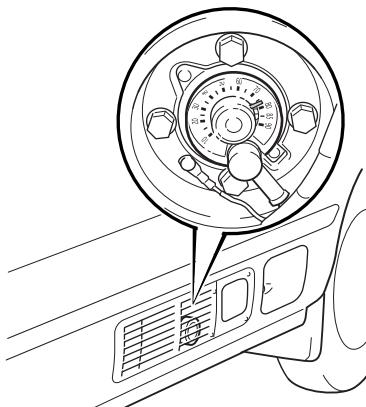
運転席側側面にあるボンベのフタを開けて、燃料取り出しバルブ(赤色)を右にいっぱい今までまわして閉め、燃料充てんバルブ(灰色)を左にいっぱい今までまわして開けます。

燃料充てんバルブ(灰色) 燃料取り出しバルブ(赤色)



■燃料計

外周の数字がボンベ内の燃料容量を%表示で表わします。



L Pオートガス充てんガンを確実にセットし、注入します。



知識

保安基準により、タンク容量の85%が最大充てん量となります。

燃料充てんバルブ(灰色)を右にいっぱい今までまわして閉め、燃料取り出しバルブ(赤色)を左にいっぱい今までまわして開けてボンベのフタを閉めます。

AEL Pオートガス充てんガンをはずし、補給口にビニールキャップを取りつけます。

フューエルリッドを閉めます。

エンジン点検口

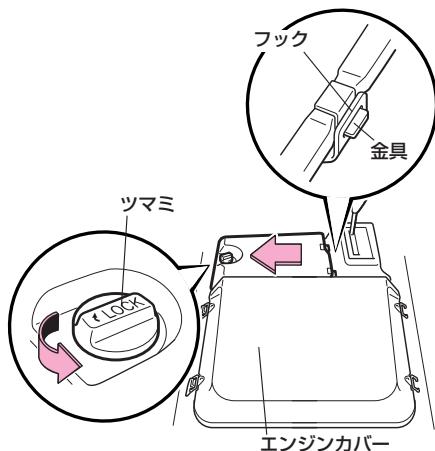
前部

■開けるときは

フロアマット付き車は、フロアマットをめくります。

ツマミを左にまわしてロックをはずし、エンジンカバーを左に動かして、金具をフックからはずします。

■閉めるときは



金具をフックにかけ、ツマミを右にまわして確実に固定します。

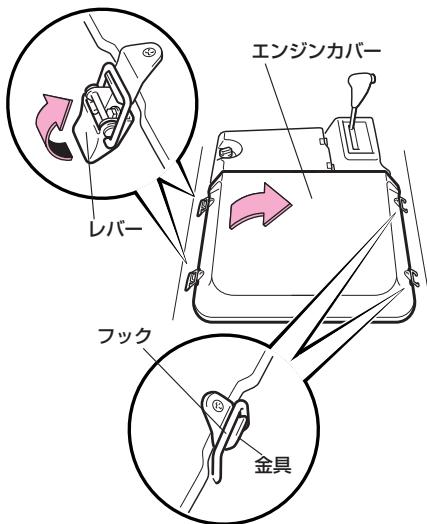
- 確実に固定されたことを確認してください。

後部

■開けるときは

フロアマット付き車は、フロアマットをめくります。

レバー（2ヵ所）を引いて、エンジンカバーを持ち上げ、金具をフックからはずします。



■閉めるときは

金具をフックにかけ、エンジンカバーをおろし、レバー（2ヵ所）を押します。

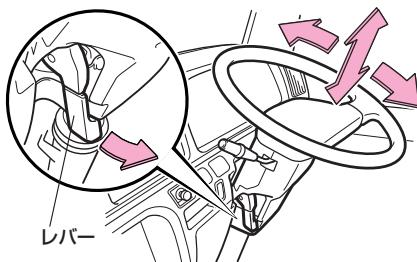
- 確実に固定されたことを確認してください。

各部の調整

ハンドル

チルト&テレスコピックステアリング

レバーを引き上げ、ハンドルを上下前後に動かし適切な位置にして、レバーを押し下げれば固定されます。



⚠️ 警告

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わず事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置を調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然かわり思わず事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

インナーミラー★

⚠️ 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わず事故につながるおそれがあります。

鏡面角度調整のしかた

■電動リモコンインナーミラーを除く手で調整します。調整したあとは、後方確認が十分できるか確認してください。

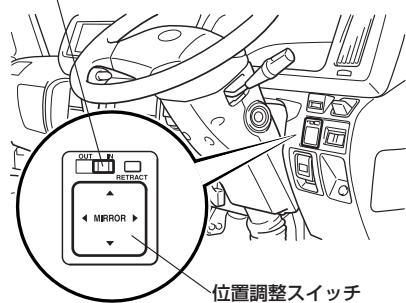
■電動リモコンインナーミラー

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的位置のとき使用できます。

メインスイッチを右側（IN）に動かします。

位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。

メインスイッチ



アウターミラー

⚠ 警告

走行中はミラーの調整をしないでください。運転を誤り思ひぬ事故につながるおそれがあります。

鏡面角度調整のしかた

■運転席側および助手席側ミラー (電動格納式を除く)

アウターミラー全体を手で調整します。調整したあとは、運転席にすわり、アウターミラーで後方確認が十分できるか確認してください。

■助手席側ミラー(電動格納式)

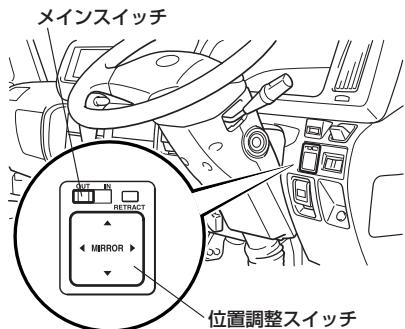
エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的位置のとき使用できます。

メインスイッチを左側(電動リモコンインナーミラー付き車はOUT、電動リモコンインナーミラー付き車以外はOFF)に動かします。

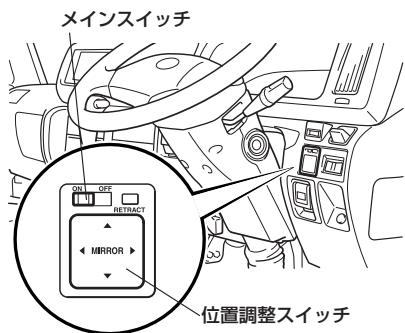
位置調整スイッチでミラーの角度を調整します。

●電動リモコンインナーミラー付き車以外は、調整したあと、メインスイッチを右側(OFF)にもどします。

電動リモコンインナーミラー付き車



電動リモコンインナーミラー付き車を除く



ミラーヒーター

寒冷地仕様車

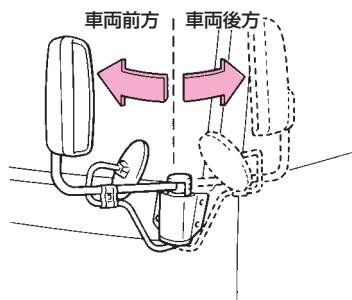
エンジンスイッチが“ON”的位置のときにリヤウンドウデフォッガースイッチ(106ページ参照)を押すと、リヤウンドウガラスの曇りを取りると同時に、アウターミラーの鏡面も暖めて、霜、露、雨滴などを取り除きます。

スイッチを押すと、約15分間作動します。もう一度押すと、作動を停止します。
●作動中は作動表示灯が点灯します。

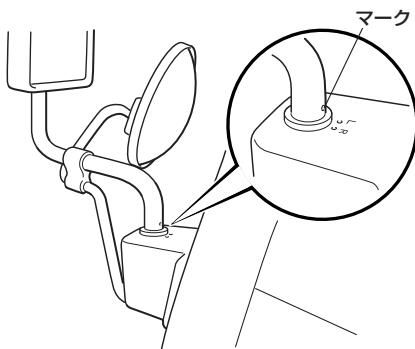
アウターミラーの格納・復帰

■助手席側ミラー（手動格納式）

ミラーを手で車両前方、または後方に倒して格納します。



- ミラーをもどすときは、運転席側はR・助手席側はLの位置にマークを合わせてください。



⚠ 警告

ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。

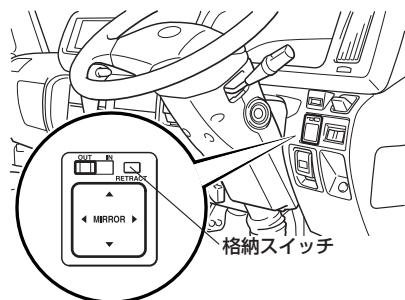
■助手席側ミラー（電動格納式）

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的位置のとき使用できます。ミラーを車両前方に倒して格納することができます。

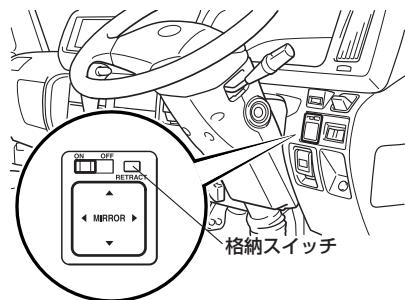
格納スイッチを押すごとに格納と復帰を繰り返します。

- 手でミラーを車両後方に倒して格納したときも、スイッチを押すと、車両前方に倒して格納されます。
- 手動で操作することもできます。

電動リモコンインナーミラー付き車



電動リモコンインナーミラー付き車を除く



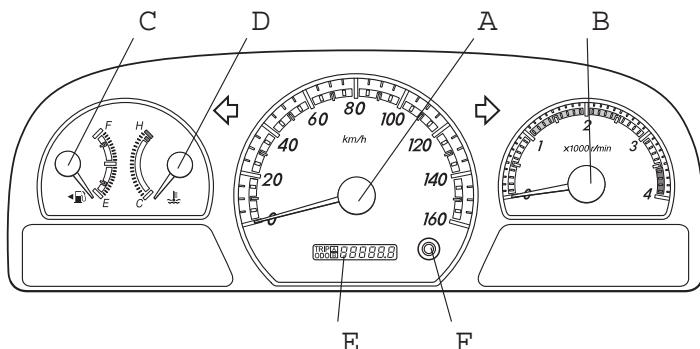
⚠ 注意

ミラーが動いているときは手を触れたりしないでください。手を挟んでけがをしたり、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

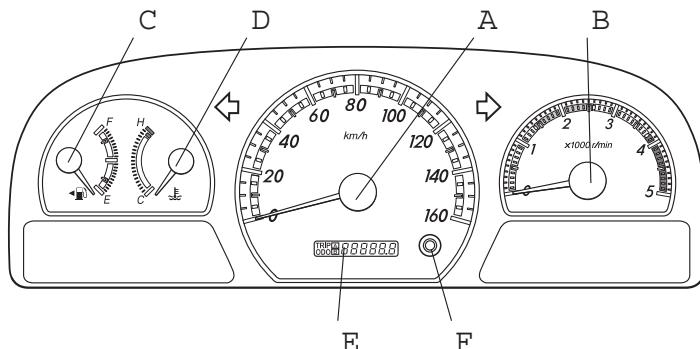
メーター、表示灯、警告灯の見方

メーター

ディーゼル車



LPG車



Aスピードメーター

車両の走行速度を示します。

Bタコメーター

毎分のエンジン回転数を示します。



アドバイス

指針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数を越えている範囲）にはいらないように運転してください。指針がレッドゾーンにはいる運転を続けるとエンジンなどに悪影響をおぼし、損傷するおそれがあります。

○燃料計

燃料残量を示します。
燃料補給後、指示が安定するまで少し時間がかかります。

	燃料タンク容量（L）
ディーゼル車	95
LPG車	122

知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振ることがあります。
- エンジンスイッチが“ON”的位置のまま燃料を補給すると、正しい燃料残量が表示できません。燃料補給時には、安全のためにもエンジンは必ず止めてください。

○水温計

エンジンスイッチが“ON”的とき、エンジン冷却水の温度を示します。

アドバイス

指針がHのレッドゾーンにはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、260ページの「オーバーヒートしたときは」にしたがって処置をしてください。

Eオドメーター／トリップメーター

エンジンスイッチが“ON”的とき、表示されます。

■オドメーター

走行した総距離をkmの単位で示します。

■トリップメーター

2種類の区間距離（トリップA、トリップB）をkmの単位で示します。



アドバイス

バッテリーとの接続が断たれたときは、トリップメーターは0になります。

F表示切り替え＆トリップメーターリセットボタン／メーター照度調整ボタン

■表示切り替え機能

エンジンスイッチが“ON”的とき、ボタンを押すごとに次のように表示が切り替わります。

オドメーター ←

↓
トリップメーターA

↓
トリップメーターB

↓
メーター照度調整表示*

*ライトスイッチがONのときに表示

■トリップメーターリセット機能

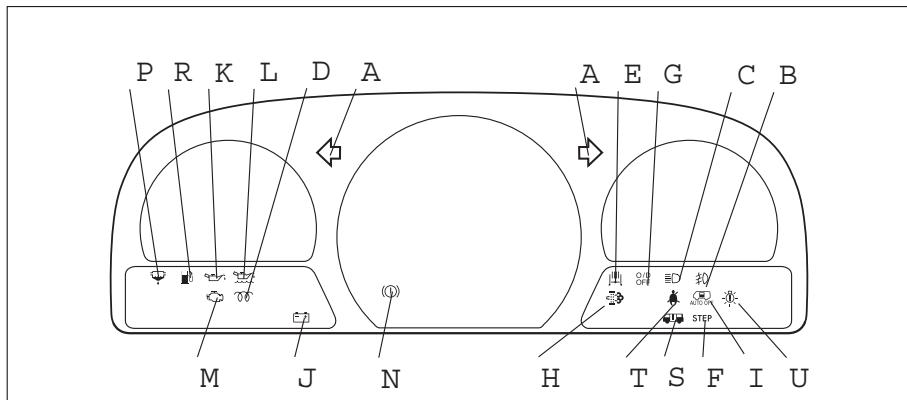
トリップA、またはトリップBのリセットしたい方を表示させたまま、ボタンを押し続けると0にもどります。

■メーター照度調整機能

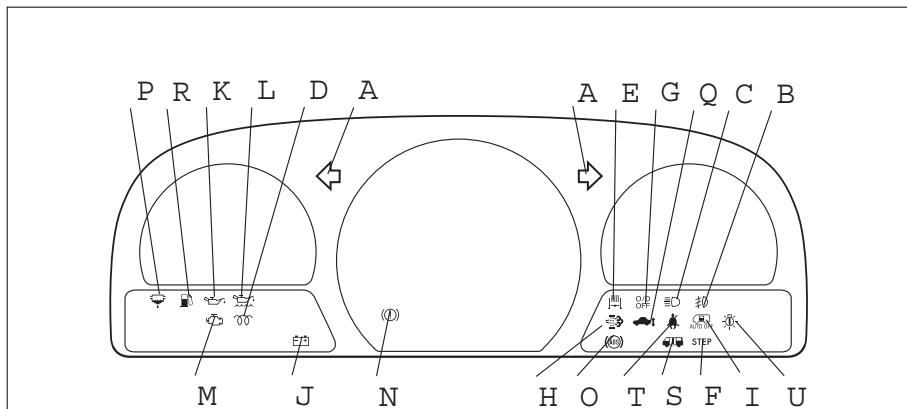
メーター照度調整の表示中にボタンを押し続けると照度を4段階に調整できます。

表示灯、警告灯

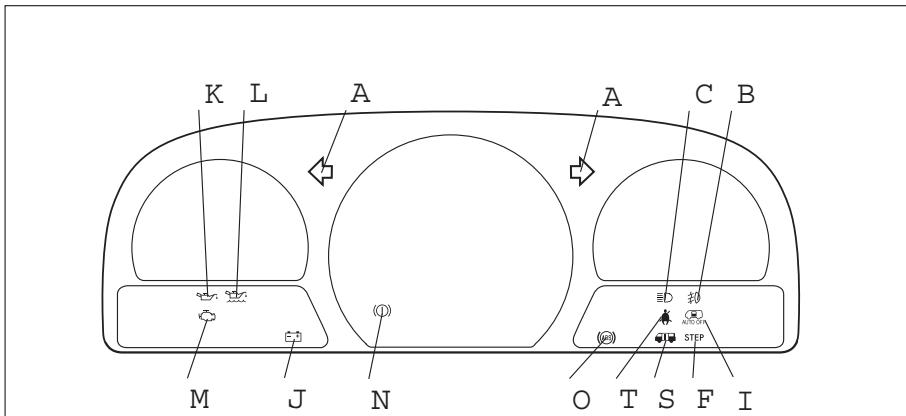
ディーゼル(4輪エアサスペンション装着車を除く)



ディーゼル(4輪エアサスペンション装着車)



LPG車



■表示灯

- A 方向指示表示灯
- B フォグランプ表示灯
- C ヘッドライト上向き表示灯
- D 予熱表示灯
- E 排気ブレーキ作動表示灯
- F 電動格納式補助ステップ表示灯
- G オーバードライブ表示灯
- H 排出ガス浄化装置表示灯
- I オートドア自動/手動切替表示灯
- J フォグランプ断線確認灯

■警告灯

- J 充電警告灯
- K 油圧警告灯
- L 油量警告灯
- M エンジン警告灯
- N ブレーキ警告灯／バキューム警告灯
- O ABS警告灯
- P 燃料・水分離器水位警告灯
- Q アサス作動警告灯
- R 燃料残量警告灯
- S センタードア開放警告灯
- T 運転席シートベルト警告灯

図はすべてのグレード・エンジン等における表示灯・警告灯を掲載しています。
実際のお車に設定される表示灯・警告灯はグレード・エンジン等により異なります。

A方向指示表示灯

方向指示灯、非常点滅灯を作動させると点滅します。

**アドバイス**

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

Bフォグランプ表示灯**フォグランプ装着車**

フォグランプスイッチをONの位置にすると点灯します。(103ページ参照)

Cヘッドランプ**上向き表示灯**

ヘッドランプを上向きにすると点灯します。

D予熱表示灯**ディーゼル車の寒冷地仕様車**

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、予熱プラグの加熱が完了すると消灯します。

E排気ブレーキ作動表示灯**ディーゼル車**

排気ブレーキを作動させると点灯します。(114ページ参照)

**F電動格納式
補助ステップ表示灯****電動格納式補助ステップ付き車**

電動格納式補助ステップが出ているときに点灯します。(71ページ参照)

**Gオーバードライブ
OFF表示灯****オートマチック車**

オーバードライブをOFFにすると点灯します。(120ページ参照)

**アドバイス**

オートマチック車で走行中（オーバードライブスイッチがONのとき）オーバードライブOFF表示灯が点滅したときは、オートマチックトランスミッションの異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。

H排出ガス浄化装置**表示灯****ディーゼル車**

エンジンスイッチが“ON”のとき、排出ガス浄化装置スイッチを押すと点灯します。もう一度、排出ガス浄化装置スイッチを押す、またはエンジンを始動したときにススが一定量堆積していなければ消灯します。

エンジンを始動したとき、ススが一定量堆積していると点滅します。

●点滅が約10秒で消灯すればクリーニングモードであることを示し、自動的にススの燃焼（再生）処理を行います。ただし、排出ガス浄化装置スイッチを押して燃焼（再生）処理を行うこともできます。

●点滅が約10秒以上継続しているときは、排出ガス浄化装置スイッチを押してススの燃焼（再生）処理が必要であることを示しています。詳しくは112ページを参照してください。

Iオートドア自動/手動**切替表示灯**

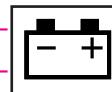
AUTO OFF

オートドア装着車

センタードアの横にある切り替えレバー（69ページ参照）、キャンセルスイッチ（76ページ参照）を「手動」にすると点灯します。切り替えレバー、キャンセルスイッチを「自動」にすると消灯します。

**アドバイス**

表示灯が点灯したときは、他の乗員が誤って切り替えレバー、キャンセルスイッチを「手動」に操作していないか確認してください。

J充電警告灯

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

エンジン回転中、充電系統に異常があると点灯します。

**アドバイス**

エンジン回転中に点灯したときは、Vベルトの切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。

K油圧警告灯

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

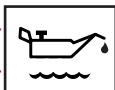
エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力に異常があると点灯します。

オイル量の点検はオイルレベルゲージにより行ってください。

●ディーゼル車の点検方法は204ページ、LPG車の点検方法については「メンテナンスノート」を参照してください。

**アドバイス**

エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めて、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

L油量警告灯

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

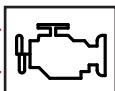
エンジン回転中、エンジンのオイル量が少なくなると点灯します。

**アドバイス**

警告灯が点灯したときは、すみやかにエンジンオイル量を点検し、オイルを補給してください。点灯したまま走行をつづけると、エンジンを損傷するおそれがあります。(ディーゼル車の点検・補給方法は204ページ、LPG車の点検・補給方法については「メンテナンスノート」を参照してください。)

**知識**

坂道など車両が大きく傾いた場合やカーブなどではエンジン内のオイルが移動するため警告灯が点灯することがあります。

Mエンジン警告灯

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

エンジン回転中、エンジン電子制御システム、またはオートマチックトランスミッション電子制御システム（オートマチック車）に異常があると点灯します。

**アドバイス**

エンジン回転中に点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**Nブレーキ警告灯／
バキューム警告灯・ブザー****■ブレーキ警告灯****A B S装着車を除く**

エンジンスイッチが“ON”の位置で次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキシステムに異常があるとき

A B S装着車

エンジンスイッチが“ON”の位置で次のような場合に点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキシステムに異常があるとき
- また、以下の状態のときは、エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- パーキングブレーキが解除されているとき
- ブレーキ液が不足していないとき
- その後、ブレーキ油圧増圧機能に異常があると点灯します。

⚠ 警告

警告灯が次のようになったときは、ただちに安全な場所に停車してトヨタ販売店へご連絡ください。

- エンジン回転中にパーキングブレーキを解除しても、ブレーキ液を補給しても点灯したままのとき

この場合、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が長くなるおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏み続けてください。

■バキューム警告灯・ブザー

エンジン回転中、バキュームタンク内の負圧が低下すると点灯し、警告ブザーが鳴ります。

ブザーは車両を停車して、パーキングブレーキレバーを引くと止まります。



警告灯が点灯し、ブザーが鳴ったときは、絶対に走行しないでください。ブレーキが十分効かないため危険です。



●エンジン回転中に点灯し、ブザーが鳴ったときはただちに安全な場所に停車させ、エンジンをアイドル回転させて警告灯が消灯するまで、負圧を上昇させてください。

この場合、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が長くなるおそれがあります。効きが悪いときはブレーキペダルを強く踏み続けてください。

●アイドル回転させても消灯しないときは、ただちにトヨタ販売店にご連絡ください。



知識

●エンジン始動時、約20秒間警告灯が点灯することがありますが、その後消灯すれば異常ではありません。

●繰り返しブレーキペダルを踏むと警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがありますが、数秒後に消えれば異常ではありません。

■パーキングブレーキ未解除

警告ブザー

パーキングブレーキを解除しないまま車速が約5km/h以上になると警告ブザーが鳴ります。ブザーは、パーキングブレーキレバーを解除すると止まります。



ブザーが鳴ったときはすみやかに停車してパーキングブレーキを解除してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が早く磨耗したりブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



○ABS警告灯

A B S装着車

●エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、数秒後に消灯します。その後、ABSシステムに異常があると点灯します。

●警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキとしての性能は確保されています。

●警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時には、タイヤがロックすることがあります。
(60ページ参照)



アドバイス

警告灯が次のようになったときは、システムの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

●エンジンスイッチを“ON”の位置にしても点灯しないとき。

●エンジンスイッチが“ON”の位置で点灯したまま消灯しないとき、または走行中点灯したままのとき。

なお、走行中に点灯しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

E 燃料・水分離器水位
警告灯



ディーゼル車

エンジンスイッチを“ON”の位置にすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

エンジン回転中、燃料・水分離器内に規定レベル以上の水がたまると点灯します。



アドバイス

点灯したまま走行を続けないでください。噴射ポンプが焼きつきエンジンを損傷するおそれがあります。点灯したときは、すみやかに排水してください。(206ページ参照)

Q エアサス作動警告灯



4輪エアサスペンション装着車

エンジンスイッチを“ON”的位置にすると点滅し、数秒後に消灯します。エンジン回転中、4輪エアサスペンションシステムに異常があると点滅します。

注意

駐停車するときは、ルーフと建物などとのすき間には十分注意してください。人の乗りおりや荷物の積みおろしなどで車高が変化し、ルーフを建物などにぶつけるおそれがあります。



アドバイス

エンジン回転中に点滅したときは、装置の異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

R 燃料残量警告灯



ディーゼル車

エンジンスイッチが“ON”的位置のとき残量が約14L以下になると点灯します。

点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。

知識

坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため警告灯が早めに点灯することがあります。

Sセンタードア開放警告灯

センタードアが確実に閉まっていないと点灯します。

⚠ 警告

警告灯が点灯したまま走行しないでください。センタードアが確実に閉まってないため、走行中にセンタードアが開き思わず事故につながるおそれがあります。

T運転席シートベルト**非着用警告灯**

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき運転席シートベルトを着用していないと点滅します。

ただちにシートベルトを着用してください。エンジンスイッチが“ON”的とき運転席シートベルトを着用していないと点滅します。ただちにシートベルトを着用してください。

■運転席シートベルト非着用 警告ブザー

警告灯が点滅している状態で、車速が約20 km/h以上になると、断続音が約120秒間鳴ります。(ブザーが鳴りはじめてから、約30秒後にブザーの音が変わります。)

●シートベルトを装着すると消音します。

Uフォグランプ**断線確認灯★**

フォグランプ断線検知スイッチのL(左側)またはR(右側)を押したときに、フォグランプの電球が断線していない場合に薄く点灯します。(103ページ参照)

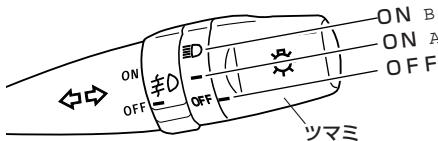
⚠ 注意

断線検知スイッチを操作しても確認灯が点灯しない場合は、フォグランプの電球が断線しているおそれがあります。
すみやかにフォグランプの電球を新品と交換してください。(224ページ参照)

視界の確保

ライトスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく点灯・消灯できます。



ツマミをまわすとON A・ON Bの位置で、下表○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	A	B
ヘッドライト	—	○
車幅灯、尾灯	○	○
番号灯	○	○
メーター照明	○	○
リヤホイール灯*	○	○

*リヤホイール灯付き車

ヘッドライトを上向きに切り替えるには

- ライトスイッチがON Bの位置のときレバーを前方に押します。
- ライトスイッチがOFFの位置でもレバーを手前に引いている間、ヘッドライトの上向きが点灯します。
- ヘッドライトが上向きのときは、メーター内のヘッドライト上向き表示灯が点灯します。



知識

完全に充電されたバッテリーでも、エンジンを停止した状態で長時間ライト類を点灯すると、バッテリーあがりの原因となります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■ランプオートカットシステム★

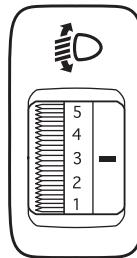
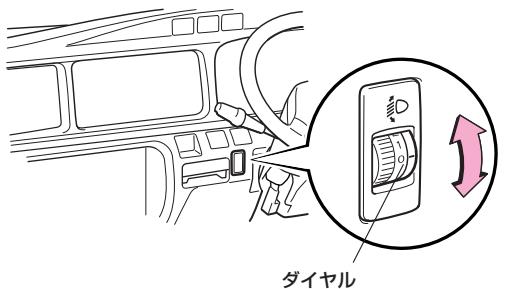
- ライトスイッチがONの位置のままエンジンを止め、運転席側ドアを開けると自動的に消灯します。
- 次のいずれかの操作をすると再び点灯します。

1a エンジンスイッチを“ON”の位置にする。

1b ライトスイッチをOFFの位置にし、もう一度ONの位置にする。
(この場合ドアを開けてもライトは消灯しません。)

ヘッドランプレベリング調整ダイヤル

4輪エアサスペンション装着車を除く



ヘッドライト（ロービーム）が点灯しているときに使用できます。

ダイヤルをまわすと、ヘッドライトの光軸（光の照らす方向）を下向きに調整できます。

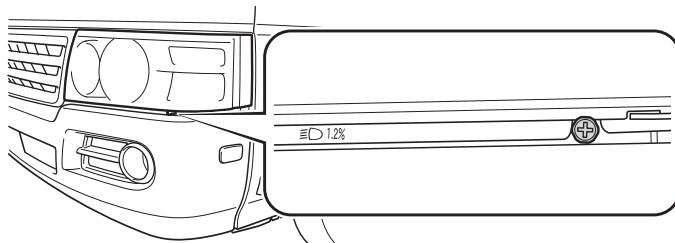
- 通常は0（ゼロ）の位置（光軸が一番上向き）で使用します。
 - 荷物や人をのせることにより車両前面が上に向いて、ヘッドライトの照らす範囲がいつもとちがう（いつもより上向きになっている）ときに、ダイヤルをまわしてヘッドライトの光を下向きにします。
- 荷物や人をおろしたあとには、必ずダイヤルを0（ゼロ）の位置にもどしておいてください。

<ダイヤル位置の目安>

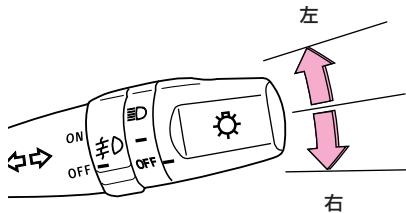
乗員や荷台の積載状況			ダイヤル位置	
運転席のみ乗車時			0	
運転席のみ乗車時 かつ最大積載時	バス	ロングボディ車	下記以外	
			1	
		幼児車かつハイルーフかつMT車		
		幼児車かつ標準ルーフかつAT車	2	
標準ボディ車				
バン			3	


知識

- 車検などで光軸調整をするときは、ダイヤルを0（ゼロ）の位置（一番上向きの位置）にしてから行ってください。
- 光軸調整時にダイヤル位置が0（ゼロ）のときの光軸基準を示す数値が、ヘッドライト下に刻印してあります。



方向指示レバー



エンジンスイッチが“ON”的位置のとき使用できます。

レバーを上または下へ操作すると、左または右側の方向指示灯が点滅します。

- メーター内の方向指示表示灯も点滅します。

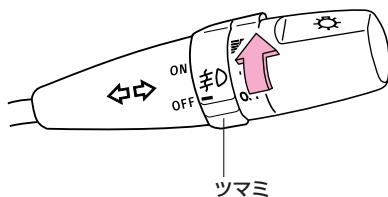
レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。


アドバイス

点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。方向指示灯が点滅するか確認してください。

フォグランプスイッチ★

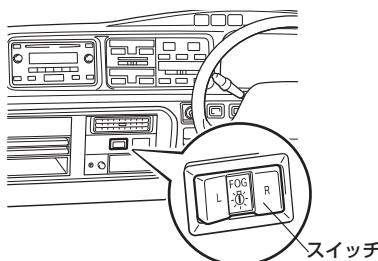
ライトスイッチがON A・ON Bの位置のとき使用できます。
ツマミをONの位置にまわすと点灯し、OFFの位置にまわすと消灯します。



フォグランプ断線検知スイッチ★

フォグランプスイッチをONにしてもフォグランプが点灯しない場合、検知スイッチ（L [左側] またはR [右側]）を押します。

- フォグランプの電球が断線している場合は、検知スイッチを押してもフォグランプ断線確認灯は不灯のままです。（99ページ参照）
- フォグランプの電球が断線していない場合は、検知スイッチを押している間フォグランプ断線確認灯が薄く点灯します。



知識

- 片側の電球が断線した場合でも、左右ともにフォグランプが消灯してしまいます。電球を新品と交換する前に、フォグランプ断線検知スイッチを押して、左右どちらのフォグランプの電球が断線しているかを確認してください。
- フォグランプの電球が断線していても、フォグランプスイッチをONの位置にまわすとメーター内のフォグランプ表示灯は点灯します。（94ページ参照）

△ 注意

断線検知スイッチを操作しても確認灯が点灯しない場合は、フォグランプの電球が断線しているおそれがあります。（99ページ参照）すみやかにフォグランプの電球を新品と交換してください。（224ページ参照）

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ワイパー＆ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき使用できます。

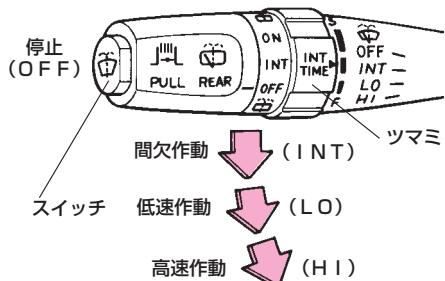
フロント

■ワイパーの使い方

間欠時間調整式ワイパー

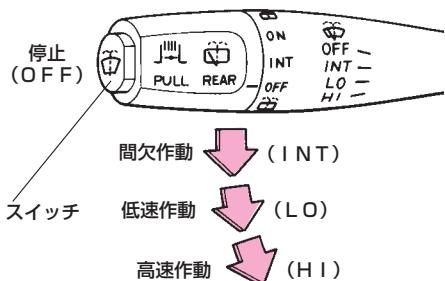
レバーを操作すると、下のように作動します。

- 間欠作動のときツマミをまわすと、間欠時間を約2~11秒の間で調整できます。



間欠ワイパー

レバーを操作すると、下のように作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

レバー先端のスイッチを押します。

- 間欠時間調整式ワイパーは、ワイパーが2~3回作動します。

!**警告**

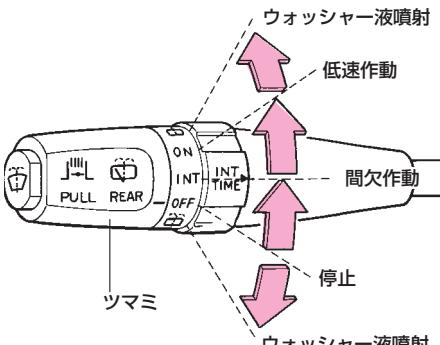
寒冷時はガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。

ウォッシャー液がフロントガラスに凍りつき視界不良をおこすおそれがあります。

リヤ★

■ワイパーの使い方

ツマミを図のようにまわすと作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

- 低速作動中にウォッシャー液を噴射させることはONの位置から上の□側にまわします。

- ツマミをOFFの位置から下の□側にまわすとウォッシャー液が噴射されます。



アドバイス

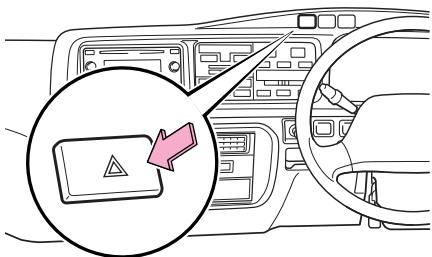
- ガラスが凍結しているときや長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張りついていないことを確認してください。ガラスに張りついたまま作動させるとワイパーゴムを損傷するおそれがあります。
- 必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。ガラスが乾いているときにワイパーを作動させるとガラスを傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき、ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
- 積雪などにより、ワイパーが途中で止まったときは、車を安全な場所に止めてワイパースイッチをOFF、エンジンスイッチを“ACC”または“LOCK”的位置にし、ワイパーが作動できるように積雪などの障害物を取り除いてください。

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむを得ず、路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。

- スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。
- メーター内の方向指示表示灯も点滅します。

もう一度押すと消灯します。



知識

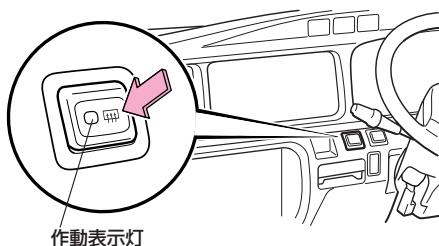
ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。モーターの負担が大きい状況が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。10分ほどすると、ブレーカーが復帰して、通常どおり使用できるようになります。

リヤウインドウデフォッガー (曇り取り) スイッチ★

リヤガラスを熱線で暖めて曇りを取ります。

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき使用できます。

- スイッチを押すと約15分間作動します。もう一度押すと、停止します。
①作動中は作動表示灯が点灯します。



知識

- 連続して長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。
- 寒冷地仕様車の場合、スイッチを押すと、ミラーヒーター（88ページ参照）も同時に作動します。

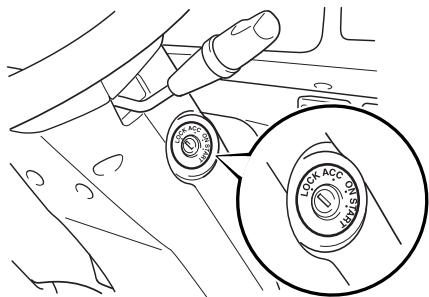
★印はグレード等により装着の有無が異なります。

MEMO



運転装置

エンジン(イグニッション)スイッチ



各位置の働き

LOCK (ロック)

キーを抜き差しできる位置。
キーを抜くとハンドルがロックされます。

ACC (アクセサリー)

エンジン停止時、次のものが使用できる位置。
シガレットライター、電動リモコンミラー

ON (オン)

エンジン回転中の位置。
ディーゼル車の寒冷地仕様車では始動時に予熱表示灯が点灯します。
(次ページ参照)

START (スタート)

エンジンを始動する位置。

■ “LOCK”から“ACC”的位置にまわすとき

キーがまわりにくいときは、ハンドルを軽く左右にまわしながらキーをまわします。

■ “ACC”から“LOCK”的位置にまわすとき

キーを押しながらまわします。
オートマチック車は、シフトレバーをeの位置にしてからキーを押しながらまわします。



知識

- エンジン停止時はエンジンスイッチを“ON”または“ACC”的位置のまま長時間放置すると、バッテリー上がりの原因となります。
- エンジンスイッチを“ON”的位置にしたとき、バキューム警告ブザーが鳴ることがあります。エンジンをかけて鳴り止めば異常ではありません。(96ページ参照)

エンジンのかけ方

ディーゼル車

エンジンをかけるまえに

パーキングブレーキをかけていることを確認します。

シフトレバーがマニュアル車は *c* の位置、オートマチック車は *e* の位置にあることを確認します。

(オートマチック車は *c* でも始動できますが、安全のため *e* で行ってください。)

⚠ 注意

窓越しなど車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。

思わぬ事故につながるおそれがありますので必ず運転席にすわって行ってください。

エンジンのかけ方

運転席にすわり、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを “S T A R T” の位置にまわし、エンジンを始動します。

- マニュアル車は、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで行います。
- 寒冷地仕様車は、エンジンスイッチを “A C C” にすると予熱表示灯(94ページ参照)が点灯します。予熱表示灯が消灯したらエンジンスイッチを “S T A R T” の位置にまわします。



アドバイス

●約30秒を限度にエンジンがかかるまでエンジンスイッチをまわし続けてください。約30秒間始動してもかからないときは、エンジンスイッチを “A C C” の位置にもどし、約20秒以上待ってから再始動してください。

●予熱表示灯が点灯しているときにエンジンをかけると、バッテリーの寿命に悪影響をおよぼします。消灯してからエンジンをかけてください。



知識

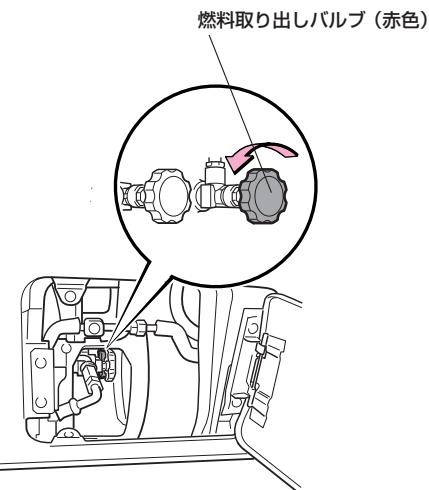
予熱表示灯の点灯時間は、エンジンが冷えていると長くなります。

LPG車**エンジンをかけるまえに**

パーキングブレーキをかけていることを確認します。

シフトレバーが \diamond の位置にあることを確認します。

燃料取り出しバルブ（赤色）が左にいっぱい今までまわっているか確認します。まわっていない場合はいっぱい今までまわし、開けます。

**エンジンのかけ方****注意**

窓越しなど車外からのエンジン始動は絶対に行わないでください。
思わぬ事故につながるおそれがありますので必ず運転席にすわって行ってください。

運転席にすわり、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

クラッチペダルをいっぱいに踏み込みます。

アクセルペダルは踏まずに、エンジンスイッチを“START”の位置にまわし、エンジンを始動します。

知識

2~3回行ってもエンジンがかからないとき、および寒冷時の始動は次ページをご覧ください。

エンジンがかかったらしばらく暖機運転をします。

**アドバイス**

寒冷時での暖機運転中はアクセルペダルをあおらないでください。レギュレーターが凍結するおそれがあります。

エンジンがかからないとき、または寒冷時の始動のときは

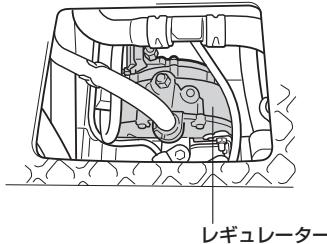
アクセルペダルを適度に踏んだまま、エンジンスイッチを“START”の位置にまわし、エンジンを始動します。

- ブレーキペダルをしっかりと踏み、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで行います。



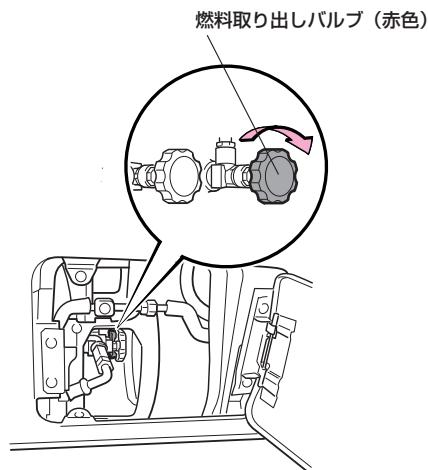
アドバイス

- 以上の操作をしてもエンジンがかからないときは、燃料過流防止弁が作動していることがあります。燃料取り出しバルブ（赤色）を右にいっぱいまでまわして完全に閉めてから、再度バルブをゆっくりと開けてください。
- 寒冷時、始動に失敗したとき、または始動後にエンストしたときは、レギュレーターが凍結することがあります。この場合は、レギュレーターにぬるま湯をかけて暖めます。（レギュレーター以外にはぬるま湯をかけないようにしてください。）



LPG車の駐停車について

長時間駐車するときは、ボンベの燃料取り出しバルブ（赤色）を右にいっぱいまでまわして閉めます。



排出ガス浄化装置スイッチ

ディーゼル車

走行中、排出ガス浄化装置スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置表示灯（95ページ参照）が点滅したときは、排出ガス浄化装置スイッチを押して排出ガス浄化装置に捕集したススを燃焼（再生）処理（クリーニング）させてください。

●燃焼（再生）処理は表示灯が常時点滅してから、約150km走行以内に行ってください。

燃焼（再生）処理を行わないまま走行を続けると、ブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったときは、すみやかに燃焼（再生）処理してください。

●ブザーを無視して、燃焼（再生）処理をしないまま走行を続けると、メーター内のエンジン警告灯（96ページ参照）が点灯します。エンジン警告灯が点灯したときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

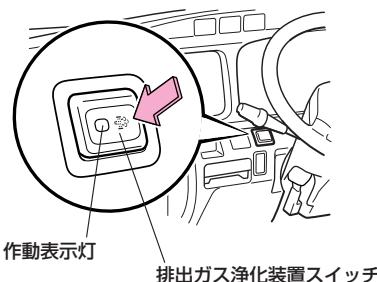
●ススの燃焼（再生）処理中は、アクセルペダルを操作しないでください。ススの燃焼（再生）処理が終了する前に、アクセルペダルを踏み込んだり、空ぶかしたりすると、ススの燃焼（再生）処理が中断されます。処理中に作動が停止してしまった場合は、もう一度操作をやり直してください。

知識

TOYOTA-D-CAT*車は、ススを排出ガス浄化装置に捕集し、自動的にススの燃焼（再生）処理するクリーニングモードとなります。ただし、運転条件によっては、ススの燃焼（再生）処理が完了しない場合があります。そのときは、排出ガス浄化装置スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置表示灯（95ページ参照）が点滅します。これは、排出ガス浄化装置の機能を回復するもので故障ではありません。

*D-CATは、Diesel-Clean Advanced Technologyの略。

排出ガス浄化装置スイッチ



排出ガス浄化装置表示灯



エンジンスイッチが“ON”的とき、排出ガス浄化装置スイッチを押すと点灯します。もう一度、排出ガス浄化装置スイッチを押す、またはエンジンを始動したときにススが一定量堆積していなければ消灯します。

エンジンを始動したとき、ススが一定量堆積していると点滅します。

- 点滅が約10秒で消灯すればクリーニングモードであることを示し、自動的にススの燃焼（再生）処理を行います。ただし、排出ガス浄化装置スイッチを押して燃焼（再生）処理を行うこともできます。
- 点滅が約10秒以上継続しているときは、排出ガス浄化装置スイッチを押してススの燃焼（再生）処理が必要であることを示しています。

燃焼（再生）処理のしかた

車を安全な場所に停車させます。

パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをマニュアル車は *c*、オートマチック車は *e*の位置にします。

- エンジンはかけたままにしておきます。

排出ガス浄化装置スイッチを押します。

- スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置表示灯（95ページ参照）が点滅から点灯にかわり、アイドリング回転数が上がり排気ブレーキが作動します。

*1b*スイッチの作動表示灯とメーター内の排出ガス浄化装置表示灯が消灯し、アイドリング回転数がもとにもどればススの燃焼（再生）処理は終了です。

*1b*ススの燃焼（再生）処理は約15～20分程※で終了します。

*1b*ススの燃焼（再生）処理が終了するまで、アクセルペダルを操作しないでください。

※外気温により異なります。

⚠ 警告

ススの燃焼（再生）処理を行うときは、排気管の周辺に可燃物がないことを確認してください。排気管周辺に燃えやすいものがあると、火災になるおそれがあります。また、ススの燃焼（再生）処理中は排気ガスが高温になりますので、排気管の周辺で作業などをするときには、やけどのおそれがあります。

! 知識

- ススの燃焼（再生）処理が自動で処理しやすくするために、停車時はシフトレバーをマニュアル車は *c*、オートマチック車は *e*の位置にすることを推奨します。
- ススの燃焼（再生）処理はマフラーの中の温度を一定の温度に上げますので、マフラーの中の温度が高いほど早く終了します。
- ススの燃焼（再生）処理はエンジンが冷えているときよりも、運転直後に行なう方が早く終了します。

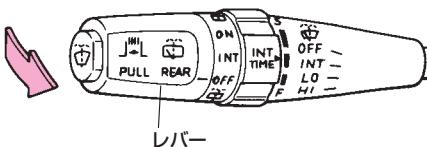
排気ブレーキスイッチ

ディーゼル車

降坂時などにやや強めのエンジンブレーキを効かすことができます。

- レバーを手前に引きます。

1a作動表示灯（94ページ参照）が点灯し作動待機状態であることを知らせます。



- 走行中にアクセルペダルを離すと、排気ブレーキが作動します。

- 次のときは排気ブレーキは作動しません。

1bクラッチペダルまたはアクセルペダルを踏んだとき

1bシフトレバーを d の位置にしたとき

1bA B Sが作動したとき（A B S装着車）

- スリップしやすい冰雪路などでは排気ブレーキが自動的に解除される場合があります。（A B S装着車）

- レバーをもどすと解除されます。（作動表示灯が消灯します。）



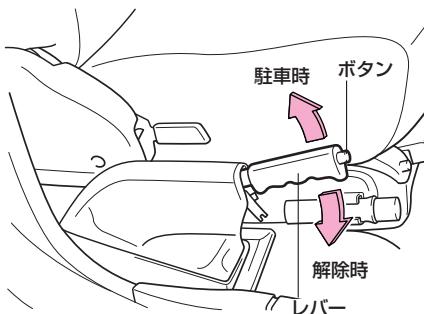
知識

- 排出ガス浄化のため、車両が信号待ちなどで停車したときにアイドリング回転数があがり、排気ブレーキが作動します。
- アイドリング状態で長時間放置すると、白煙排出防止のためアイドリング回転数があがり、排気ブレーキが作動することがあります。
- オートマチック車では、排気ブレーキを作動させると車速などに応じてシフトダウンすることがあります。

パーキングブレーキ

駐車するときはボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引きます。

解除するときはレバーを少し引き上げながら先端のボタンを押させて、完全に下までもどします。



注意

パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。

ブレーキ部品が早く摩耗したりブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



アドバイス

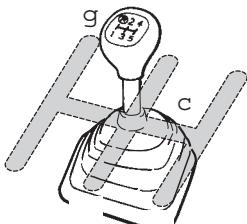
冬季のパーキングブレーキの使用について
は、192ページの「駐車するときは」を
お読みください。

ホーン

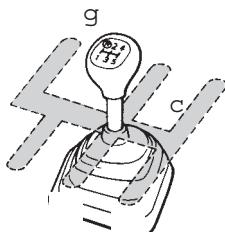
ハンドルの  マーク周辺部を押すと、
ホーン（警音器）が鳴ります。

マニュアルトランスマッision

ディーゼル車



LPG車



■駐車するときは

パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを平地や下り坂では g 上り坂では の位置にします。

また、寒冷時に駐車するときは、192 ページ「駐車するときは」をあわせてご覧ください。

! 注意

駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、車両が動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

車両が動いているときは、シフトレバーを g の位置にいれないでください。車が完全に止まってから操作しないとトランスマッisionを損傷するおそれがあります。

オートマチックトランスマッision

34ページの「オートマチック車の取り扱いチェックポイント」、121ページの「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

各位置の働き



(パーキング)

駐車およびエンジン始動

駐車のときは必ずシフトレバーを eの位置にしてください。（eでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。）



(リバース)

後退

ギヤが後退に固定されます。
ブザーが鳴り、シフトレバーが gの位置にあることを運転者と車外の人に知らせます。



(ニュートラル)

動力が伝わらない状態

シフトレバーが dの位置でもエンジンは始動できますが、安全のため eで行ってください。



(ドライブ)

通常走行（前進）

スピードに応じてギヤが自動的にかわります。
1:O/Dスイッチが O Nのときは1速から6速まで
1:O/Dスイッチが O F Fのときは1速から5速まで



(フォース)

下り坂走行（前進）

スピードや走行条件に応じて、ギヤが1速と4速の間で自動的にかわります。
エンジンブレーキが必要な場合に使います。



(セカンド・ロー)

急な下り坂（前進）

スピードや走行条件に応じて、ギヤが1速と2速の間で自動的にかわります。
強力なエンジンブレーキが必要な場合に使います。
さらに強力なエンジンブレーキが必要な場合は、1速固定スイッチ（120ページ参照）を使用してください。



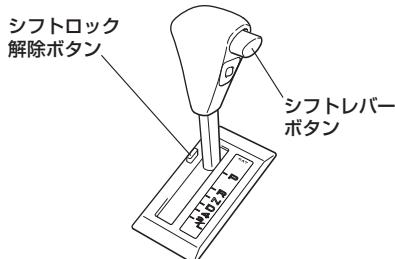
知識

排気ブレーキを作動させると車速などに応じてシフトダウンすることがあります。

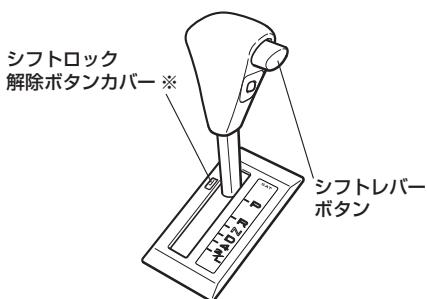
シフトレバーの動かし方

シフトレバーを **e** と **s** の間で動かすときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、車を完全に止めてから行ってください。

Aタイプ



Bタイプ



※ シフトロック解除ボタンはカバーの下にあります。



- ➡ シフトレバーのボタンを**押さずに**操作します。
- ➡ シフトレバーのボタンを**押して**操作します。
- ➡ **ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーのボタンを押して**操作します。

!**警告**

1 (1)の操作はシフトレバーのボタンを押さずに操作してください。いつもレバーのボタンを押して操作していると意に反してシフトレバーを **e** や **s** または **2/L** の位置にいれてしまい、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■シフトロックシステム

オートマチック車でのシフトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

- ブレーキペダルを踏んだ状態でなければ eからレバー操作できません。
1bエンジンスイッチが、“ACC”または“LOCK”的ときは、ブレーキペダルを踏んでも操作できません。
- 1bシフトレバーを運転席側に引いたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏み操作してください。
- e以外ではエンジンスイッチからキーは抜けません。
1bエンジンスイッチからキーを抜くときは、シフトレバーを eにいれてください。
(e以外ではキーを“ACC”から“LOCK”的位置にまわせません。)
- gにいれるとバックブザーが鳴ります。
1bブザーが鳴り、gにあることを運転者に知らせます。



アドバイス

Aタイプ

万一、シフトレバーが eの位置からレバー操作できないときは、エンジンスイッチを“ACC”的位置にしてシフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作してください。

この場合、シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

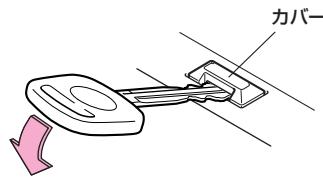


アドバイス

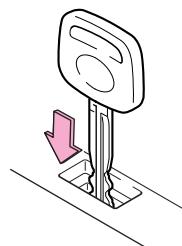
Bタイプ

万一、シフトレバーが eの位置からレバー操作できないとき（センタードアが閉まっていてもレバー操作できないとき等）は、エンジンスイッチからキーを抜き、以下の操作を行ってください。

シフトロック解除ボタンカバーの切り欠きに、キーを挿し込みカバーをはずす。



キーを、シフトロック解除ボタンの穴に差し込み、シフトロック解除ボタンを押しながらレバーを操作する。



シフトレバーが eの位置からレバー操作できないときは、シフトロックシステム等の故障が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

オーバードライブ（O/D）スイッチ

オーバードライブをONにしておくと、シフトレバーを D の位置にして走行しているときに、6速ギヤ（オーバードライブギヤ）にはいり、燃費性能と静謐性を高めます。

スイッチを押すごとにONとOFFに切り替わります。

- OFFのときオーバードライブOFF 表示灯（94ページ参照）が点灯します。



■スイッチがONのとき

通常走行に適します。

- シフトレバーを D の位置にして走行中、6速ギヤにはいり、燃費性能と静謐性を高めます。

■スイッチがOFFのとき

坂道走行に適します。

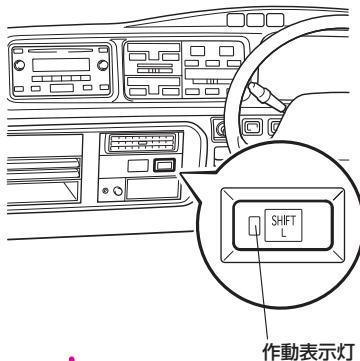
- 下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。
- 上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

1速固定スイッチ

シフトレバーを 2/L の位置にして走行しているときに、1速固定スイッチを押すと1速ギヤにはいり、強めのエンジンブレーキがかかります。

スイッチを押すごとに「1速固定」と「1・2速の自動变速」に切り替わります。

- 1速固定中にはスイッチ内の作動表示灯が点灯します。
- 1速固定中にスイッチを押すと、作動表示灯が消灯し、1速固定が解除されます。



アドバイス

次の操作でも1速固定が解除されます。

- シフトレバーを 2/L 以外の位置にする。
- エンジンスイッチを“LOCK”の位置にする。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車の特性

■クリープ現象

エンジンがかかっているとき、シフトレバーが e 以外の位置にあると、動力がつながった状態になりアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象をクリープ現象といいます。



停車中は、平坦路であっても車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

- エンジン始動直後やエアコン作動時および排出ガス浄化装置作動時など、自動的にエンジンの回転があがり（アイドルアップ）、クリープ現象が強くなることがありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節するとスムーズに行えます。

■キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり、エンジンの回転数が上昇して急加速させることができます。

これをキックダウンといいます。



追い越し時の急加速や高速道路での合流が楽に行えます。

- すべりやすい路面やカーブ走行中では、急激なアクセルペダルの操作は避けてください。

エンジンをかけるまえに

正しい運転姿勢をとります。

ペダルが確実に踏め、ハンドル操作が楽にできるように、シートの位置を調整してください。（46ページ参照）

アクセルペダルの位置を確認します。

ブレーキペダルの位置を右足で確認します。

踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認し、足におぼえさせておくことが重要です。

エンジン始動

パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

シフトレバーが e の位置にあることを確認します。

c でも始動できますが、安全のため車輪が固定される e で行ってください。

ブレーキペダルを右足で踏みます。



エンジンを始動します。

発進

ブレーキペダルを右足でしっかりと踏みシフトレバーを操作します。ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないとクリープ現象により、車が動くことがあります。とくにエンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるため、よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

⚠ 警告

シフトレバー操作は、絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

パーキングブレーキを解除します。

ブレーキペダルを徐々にゆるめてから、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

マニュアル車では、発進時のスピード調節を半クラッチ操作と併用して行いますが、オートマチック車では、アクセル操作のみで行いますのでアクセル操作は慎重に行ってください。

■上り坂の発進

シフトレバーの位置を目で確認します。

アクセルペダルをゆっくり踏みます。車が動き出す感触を確認してから、パーキングブレーキを解除し、発進します。

走行

■通常走行

シフトレバーを D の位置にしたまま走行します。アクセルとブレーキの操作だけで、加速・減速します。

■急加速

アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。キックダウンし、急加速します。

■上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、意に反してキックダウンし、急にエンジン回転が上がることがあります。このようなときは、あらかじめシフトレバーを D にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

■下り坂走行

シフトレバーが D のままでスピードが出すぎるとときは、坂道に応じて または D/L にいれエンジンブレーキを併用します。

オーバードライブスイッチを OFF にすることによっても軽いエンジンブレーキが得られます。フットブレーキを使いすぎると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。



アドバイス

急な坂道では、1速固定スイッチを使用すると低速で登坂、降坂をスムーズに行えます。

⚠ 警告

坂道などでは、シフトレバーを または の位置にいれたまま惰性で後退したり、 にいれたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。

エンストして、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

- 走行中にはシフトレバーを の位置にしないでください。 にすると、エンジンブレーキがまったく効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 前進で走行中はシフトレバーを にしないでください。車輪がロックして思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションに無理な力が加わり、故障の原因となるおそれがあります。
- ブレーキペダルはアクセルペダルと同じ右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

シフトレバーを の位置にしたままで走行するとトランスミッションの故障の原因となるおそれがあります。

停車

シフトレバーを の位置にしたままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

エアコンは温度変化により断続的に作動します。作動中は自動的にアイドルアップし、クリープ現象が強くなりますので、車が動き出さないようにとくに注意してください。

必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

上り坂の停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも、車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。

ブレーキペダルを踏み、しっかりとパーキングブレーキをかけてください。

停車時間が長くなりそうなときは、シフトレバーを または の位置にいれます。

⚠ 警告

停車中の空ふかしはしないでください。シフトレバーが 以外の位置にはいつていると車が急発進し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

停車後再発進するときはシフトレバーが の位置にあることをしっかりと確認してから、発進してください。



アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でシフトレバーを の位置のままアクセルをふかしながら止まらないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因になります。

駐 車

車を完全に止めます。

ブレーキペダルを踏んだまま、パークリングブレーキを確実にかけます。

シフトレバーを e の位置にいれます。
駐車時には必ず e にあることを確認してください。

エンジンを止めます。

車を離れるときは必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意

エンジンをかけたままにしておくと、万一、シフトレバーが d 以外の位置にはいっていた場合、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだとき、急発進するおそれがあります。



アドバイス

車輪が完全に止まらないうちに、シフトレバーを e の位置にいれないでください。
トランスミッションに無理な力がかかり、故障の原因となるおそれがあります。

4輪エアサスペンション★

走行状態に応じてサスペンションの硬さと車高を自動的に制御する装置です。

⚠ 警告

縁石乗り上げ時、脱輪時、ジャッキアップ時、レッカーカー等で車両を持ち上げてけん引してもらうときなどは、必ずエンジンを止めてください。エンジンスイッチを “ON” の位置のままにしておくと、車高がかわり思わぬ事故につながるおそれがあります。



エアサス作動警告灯

エンジンスイッチを “ON” の位置にすると点滅し、数秒後に消灯します。
エンジン回転中、4輪エアサスペンションシステムに異常があると点滅します。

⚠ 注意

駐停車するときは、ルーフと建物などのすき間には十分注意してください。人の乗りおりや荷物の積みおろしなどで車高が変化し、ルーフを建物などにぶつけるおそれがあります。



アドバイス

エンジン回転中に点滅したときは、装置の異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

4

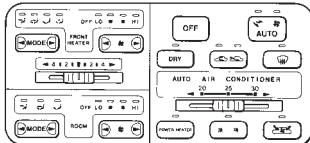
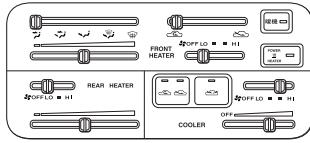
快適装備

空調	126	室内装備	176
エアコンインデックス	126	サンバイザー／お客様表示板	176
吹き出し口（フロント）	127	室内灯	176
吹き出し口（リヤ）	129	スポットランプ	177
オートエアコン	132	時計	177
マニュアルエアコン	136	シガレットライター	178
エアフィルター	140	灰皿	178
ルーフベンチレーター	141	カップホルダー	179
換気扇	141	カードケース	180
オーディオ	142	シートアンダートレイ	180
オーディオインデックス	142	床洗い用水抜き穴	181
オーディオの上手な使い方	144	ロープフック	181
アンテナ	146	ラゲージルーム	
AUX端子／USB端子	146	セパレーター	182
CDプレーヤー		セパレーターカーテン	183
一体AM／FMラジオ	148	冷蔵庫	184
標準マイク	169	カーテン	187
マイクアンプ	170	フロアマット	188
リヤモニター	171		

4

空調

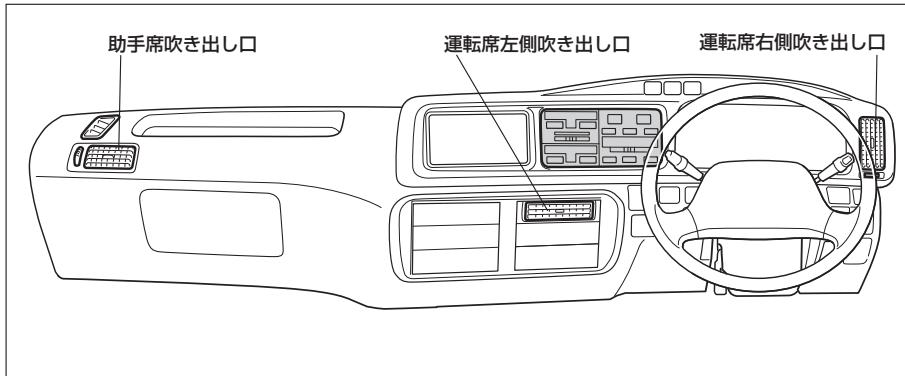
エアコンインデックス

吹き出し口（フロント）	127ページ
●吹き出し口の調整	127ページ
●吹き出し口表示と使用目的	128ページ
吹き出し口（リヤ）★	129ページ
●吹き出し口の調整	129ページ
●吹き出し口表示と使用目的	130ページ
オートエアコン★	132ページ
	
●通常の使い方	133ページ
●フロントガラスの曇りを取るには	133ページ
●各スイッチの使い方	134ページ
マニュアルエアコン★	136ページ
	
●フロントガラスの曇りを取るには	137ページ
●各スイッチ・レバーの使い方	137ページ
エアフィルター★	140ページ
ルーフベンチレーター★	141ページ
換気扇★	141ページ

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

吹き出し口（フロント）

吹き出し口の調整



■運転席吹き出し口

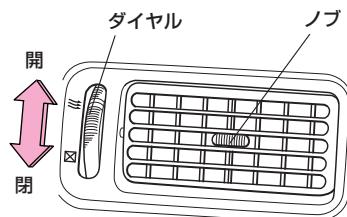
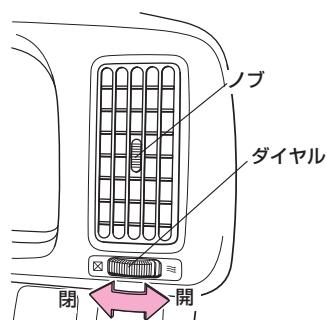
ノブを上下または左右に動かして風向きを調整します。

右側吹き出し口は、ダイヤルを左右に動かすことにより吹き出し口を開閉することができます。

■助手席吹き出し口

ノブを上下または左右に動かして風向きを調整します。

ダイヤルを上下に動かすことにより吹き出し口を開閉することができます。



知識

クーラー付き車の場合、冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがあります。これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するものであり異常ではありません。

吹き出し口表示と使用目的

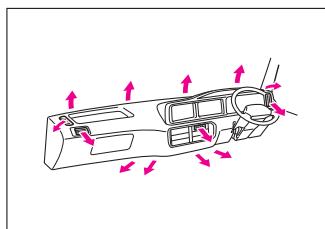
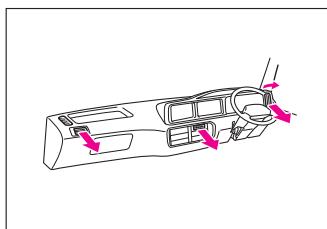
使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。



上半身に送風したいとき



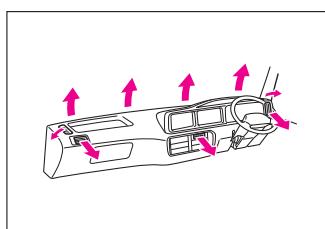
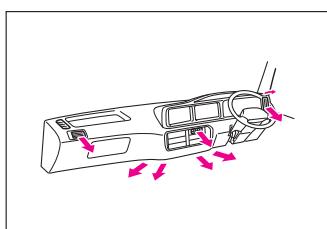
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



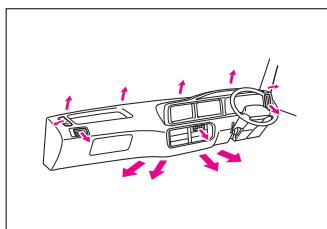
上半身と足元に送風したいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき



足元に送風したいとき

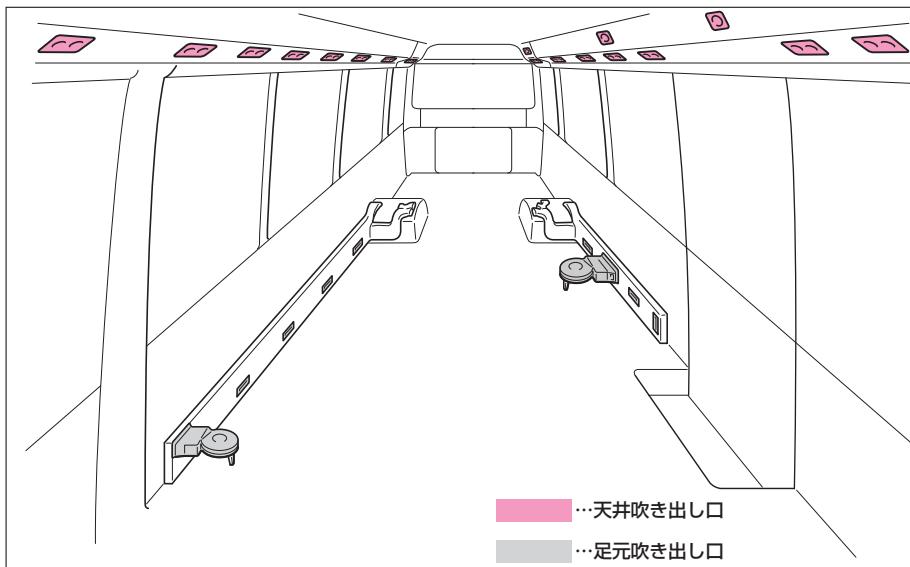


知識

オートエアコン装着車は、AUTOスイッチがONのときは、吹き出し口が自動的に切り替わります。

吹き出し口（リヤ）

吹き出し口の調整

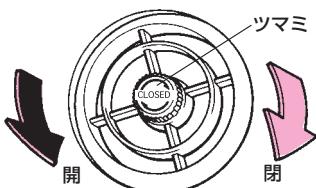


※上記のイラストは1つの例であり、吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。

■天井吹き出し口

ツマミを上下または左右に動かして風向きを調整します。

ツマミをまわすことにより吹き出し口を開閉することができます。



知識

クーラー付き車の場合、冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがあります。これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するものであり異常ではありません。

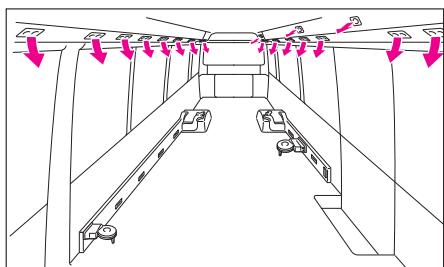
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。

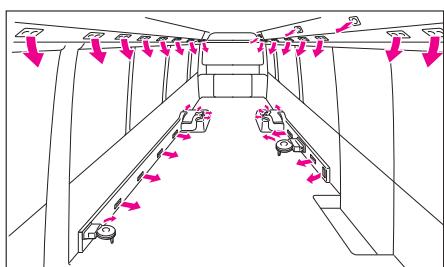
オートエアコン



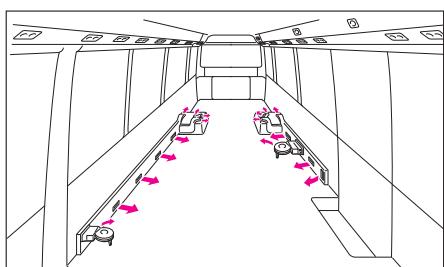
上半身に送風したいとき



上半身と足元に送風したいとき



足元に送風したいとき

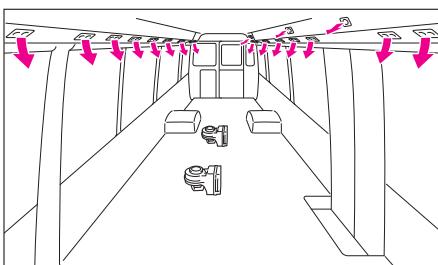


知識

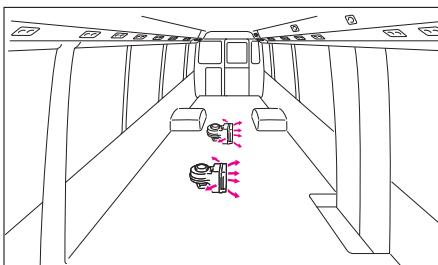
- 天井からは冷風、足元からは温風が送風されます。
- AUTOスイッチがONのときは、吹き出し口が自動的に切り替わります。

マニュアルエアコン

クーラー（リヤ）作動時



リヤヒーター作動時

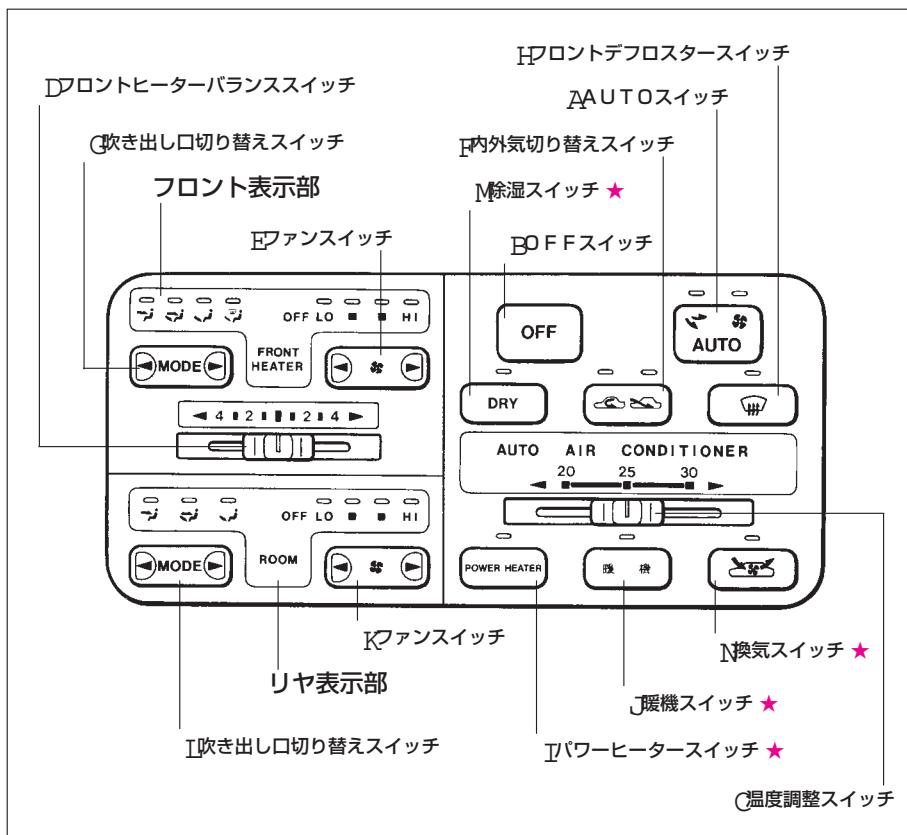


※上記のイラストは1つの例であり、吹き出し口の数・位置などは車両により異なります。

MEMO



オートエアコン★



A~ Iはフロント用のスイッチ

J~ Mはリヤ用のスイッチ

知識

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

通常の使い方

- AUTOスイッチを押します。
- フロント（・を除く）・リヤの吹き出し口と風量が自動的に調整されます。
- 温度調整スイッチを押して希望温度に合わせます。
- 作動を止めたいときは、OFFスイッチを押します。

知識

トンネル内や渋滞などでよごれた外気を車内にいれたくないときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を早めたいときは内外気切り替えスイッチを押して、（内気循環側）にすると効果的です。

フロントガラスの曇りを取るには

- フロントデフロスター スイッチを押します。
- 吹き出し口をにすれば曇りを取ると同時に足元にも送風できます。内外気切り替えスイッチを（外気導入側）にします。
- 外気温が低いときは自動的に（外気導入側）に切り替わります。

知識

内気循環モードにもどしたいときは、内外気切り替えスイッチを押すと内気循環モードにもどりますが、ガラスが曇りやすくなるため、できるだけ外気導入モードにしてください。

- 温度、風量はお好みに合わせて調整してください。

知識

の操作に加えて、次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。

- 風量を増す。（ファンスイッチを操作する）
- 設定温度を上げる。（温度調整スイッチを操作する）

■リヒート機構★

降雨時など湿度の高いときに、湿った外気を除湿・暖房しながら導入し、窓の曇りを抑えます。

各スイッチの使い方

スイッチの機能が作動しているときは、そのスイッチ上部の作動表示灯が点灯します。

■フロント

AUTOスイッチ

スイッチを押すと、ファンが作動し、フロント（・を除く）・リヤの吹き出し口と風量が自動で調整されます。



知識

AUTOスイッチがONのときに吹き出し口切り替えスイッチおよびファンスイッチを操作するとAUTOスイッチはOFFになります。

OFFスイッチ

スイッチを押すと、ファンが停止します。

温度調整スイッチ

フロント・リヤの設定温度を18℃～32℃の間で調整することができます。スイッチを右に動かすと温度が上がり、左に動かすと下がります。

Dフロントヒーターバランススイッチ

吹き出し口をにしているとき、およびヒーターが作動しているとき、フロントの設定温度をリヤの設定温度に対し、-5℃～+5℃の間で調整することができます。

Eファンスイッチ

ファンが停止中のときはスイッチを押すと、ファンが作動します。

ファンが作動中のとき、風量を4段階に切り替えることができます。

●風量

強くするときはスイッチの↓側
弱くするときはスイッチの↑側
を押します。

●選択した風量の表示灯が点灯します。

F内外気切り替えスイッチ

外気導入（外気を車内にいれる）、内気循環（外気をしゃ断する）の切り替えができます。

スイッチを押すごとに、外気導入と内気循環に切り替わります。

表示	モード
	外気導入 外気を導入している状態です。 通常はこの位置でお使いください。
	内気循環 外気をしゃ断している状態です。 トンネルや渋滞など外気がよがれているときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を早めたいときにお使いください。



知識

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

G吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。（128ページ参照）

●選択した吹き出し口の表示灯が点灯します。



知識

AUTOスイッチをONにしているとき、次のような機能があります。

●吹き出し口がまたはのとき、冬場などの寒いときには温風の準備ができるまで、しばらくの間ファンを停止します。

●吹き出し口がまたはのとき、夏場などの暑いときには冷風の準備ができるまで、数秒間ファンを停止します。

Hフロントデフロスタースイッチ

窓ガラスの曇りを取りたいときにスイッチを押します。(133ページ参照)
 ●ファンが停止中のときスイッチを押すと、ファンが自動的に作動します。

**知識**

外気温が低いときにスイッチを押すと、（外気導入側）に切り替わります。

Iパワーヒータースイッチ★

より強い暖房することができます。
 エンジン回転中のみ使用できます。
 スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

**知識**

作動表示灯が点滅したときは、スイッチを一度OFFにしてから、再度ONにしてください。

J暖機スイッチ★

停車中にアイドル回転を上げ、暖房効果を高めます。
 スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

リヤ**Kファンスイッチ**

ファンが停止中のときスイッチを押すと、ファンが作動します。
 ファンが作動中のとき、風量を4段階に切り替えることができます。
 風量を

- 強くするときはスイッチの①側
- 弱くするときはスイッチの②側を押します。
- 選択した風量の表示灯が点灯します。

I吹き出し口切り替えスイッチ

使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。(130ページ参照)
 ●選択した吹き出し口の表示灯が点灯します。

M除湿スイッチ★

リヤ天井吹き出し口から送風され、リヤエアコンの除湿機能をONにすることができます。
 スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

**知識**

外気温が0°C近くまで下がると除湿機能はONになりません。

N換気スイッチ★

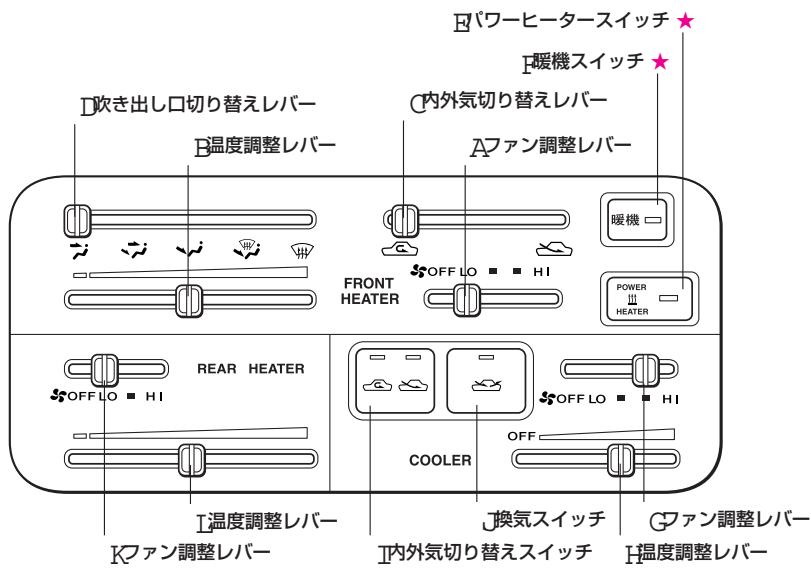
リヤ天井吹き出し口から送風され、リヤエアコンを外気導入にし、換気することができます。

- 風量が自動で調整されます。
 スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

**知識**

換気スイッチを押すと、吹き出し温度が低くなることがあります。このとき、除湿スイッチ付き車は、除湿スイッチを押すと、快適な吹き出し温度になります。

マニュアルエアコン★



A~ Fはフロントヒーター用のスイッチ

G~ Jはクーラー（リヤ）用のスイッチ

K~ Lはリヤヒーター用のスイッチ

クーラー（リヤ）・リヤヒーターはグレード等により装着の有無が異なります。

知識

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

フロントガラスの曇りを取るには

吹き出し口切り替えレバーを  の位置にします。

 の位置にすれば曇りを取るのと同時に足元にも送風できます。

内外気切り替えレバーを  (外気導入側) の位置にします。

温度、風量はお好みに合わせて調整してください。

知識

の操作に加えて、次の操作を行うと、より早くガラスの曇りが取れます。

- 風量を増す。
(ファン調整レバーを操作する。)
- 設定温度を上げる。
(温度調整レバーを操作する。)

各スイッチ・レバーの使い方

スイッチの機能が作動しているときは、作動表示灯が点灯します。

■フロントヒーター

A ファン調整レバー

ファンが停止中のときスイッチを押すと、ファンが作動します。

ファンが作動中のとき、風量を4段階に切り替えることができます。

レバー位置	OFF	LO ■ ■ HI
風量	停止	弱 強

B 温度調整レバー

レバーを左右に動かして室内の温度を調整します。

- 右に動かすと設定温度が上がり、左に動かすと設定温度が下がります。

D 内外気切り替えレバー

外気導入(外気を車内にいれる)、内気循環(外気をしゃ断する)の切り替えができます。

レバー位置	モード
	外気導入 外気を導入している状態です。 通常はこの位置でお使いください。
	内気循環 外気をしゃ断している状態です。 トンネルや渋滞など外気がよぎれているときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を早めたいときにお使いください。

知識

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

E 吹き出し口切り替えレバー

使用目的に合った吹き出し口を選択することができます。(128ページ参照)

- 選択した吹き出し口の表示灯が点灯します。

知識

吹き出し口切り替えレバーを  の位置にし、温度調整レバーを左端(白色の範囲)の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が運転席・助手席吹き出し口から吹き出します。

Eパワーヒータースイッチ★

より強い暖房することができます。
エンジン回転中のみ使用できます。
スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

**知識**

作動表示灯が点滅したときは、スイッチを一度OFFにしてから、再度ONにしてください。

F暖機スイッチ★

停車中にアイドル回転を上げ、暖房効果を高めます。
スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

■クーラー（リヤ）**Gファン調整レバー**

ファンが停止中のときレバーをOFF以外の位置にすると、ファンが作動します。ファンが作動中のとき、風量を4段階に切り替えることができます。

レバー位置	OFF	LO ■ ■ HI
風量	停止	弱 強

H温度調整レバー

レバーを左右に動かして室内の温度を調整します。

- 右に動かすと設定温度が下がり、左に動かすと設定温度が上がります。

I内外気切り替えスイッチ

外気導入（外気を車内にいれる）、内気循環（外気をしゃ断する）の切り替えができます。

表示	モード
	外気導入 外気を導入している状態です。 通常はこの位置でお使いください。
	内気循環 外気をしゃ断している状態です。 トンネルや渋滞など外気がよぎ れているときや早く冷暖房した いとき、外気温度が高いときの 冷房効果を早めたいときにお使 いください。

**知識**

長時間、内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

J換気スイッチ

クーラーを外気導入にし、換気することができます。

スイッチを押すごとに、ONとOFFに切り替わります。

■リヤヒーター

Kファン調整レバー

ファンが停止中のときレバーをOFF以外の位置にすると、ファンが作動します。ファンが作動中のとき、風量を3段階に切り替えることができます。

レバー位置	OFF	LO ■ HI
風量	停止	弱 強

I温度調整レバー

レバーを左右に動かして室内の温度を調整します。

- 右に動かすと設定温度が上がり、左に動かすと設定温度が下がります。

エアフィルター

クリーンエアフィルターがはいっています。
快適にお使いいただくため、エアフィルターの定期的な清掃、交換をおすすめします。

■オートエアコン（ヒーター用）、 フロントヒーター

寒冷地仕様車

清掃・交換の目安

- 清掃…10,000km【5,000km】ごと
- 交換 ………………30,000kmごと

【】は、多じん地区（大都市・寒冷地など、交通量・粉じんの多い地区）の場合。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



アドバイス

エアコンの風量が著しく低下したときは
フィルターの目詰まりが考えられます。
清掃または交換してください。

■オートエアコン（クーラー用）、 クーラー（リヤ）

夏季などクーラーをひんぱんに使用するときは、月に一度程度はフィルターの清掃を行うようにしてください。

清掃・交換の目安

- 清掃…10,000km【5,000km】ごと
- 交換 ………………30,000kmごと

【】は、多じん地区（大都市・寒冷地など、交通量・粉じんの多い地区）の場合。

清掃・交換については202ページの「エアコンの手入れ」をご覧ください。



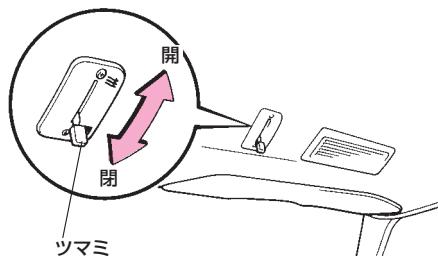
アドバイス

エアコンの風量が著しく低下したときは
フィルターの目詰まりが考えられます。
清掃または交換してください。

ルーフベンチレーター★

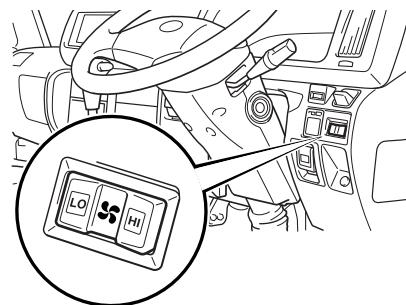
室内の換気をするために、外気を車内にいれることができます。

- ツマミを動かします。



換気扇★

- エンジンスイッチが“ON”の位置のとき使用できます。
- スイッチの右側（HI）を押すと強く換気し、左側（LO）を押すと弱く換気します。
①作動中は作動表示灯が点灯します。
- 中立の位置にすると停止します。

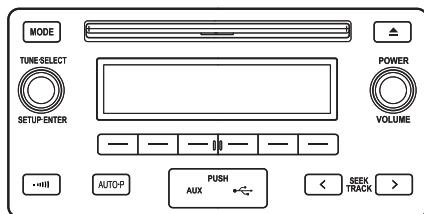


★印はグレード等により装着の有無が異なります。

オーディオ

オーディオインデックス

オーディオの上手な使い方	144ページ
アンテナ	146ページ
AUX端子／USB端子★	146ページ
CDプレーヤー一体AM／FMラジオ★	148ページ
●音量・音質調整	148ページ
●ラジオの使い方	149ページ
●CDプレーヤーの使い方	152ページ
●iPodの聞き方	158ページ
●USBメモリーの聞き方	164ページ
●AUX端子（外部入力接続） の使い方	169ページ



標準マイク(室内放送用)★ 169ページ



マイクアンプ★ 170ページ



リヤモニター★ 171ページ

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的位置のとき使用できます。

オーディオの上手な使い方

安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

注意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。

知識

オーディオを聞いているときに車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります、故障ではありません。

ラジオ

ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

CD

- このプレーヤーは、下のマークの付いた音楽用 CD や CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) が使用できます。(コピー・プロテクト機能付 CD などは使用できません。)
- CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていない CD-R、CD-RW は再生できません。

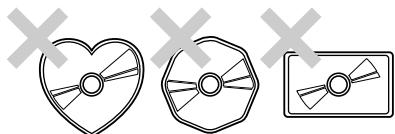


- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生することがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してから使用してください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。



アドバイス

- CD取り出しボタンを押して、CDが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- CDは直射日光を避けて保管してください。CDがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- CDを扱うときは、中心の穴と端を挟さんで持ち、ラベル面を上にしてください。
- 直径12cm、または8cmの円形以外のCDは再生できません。
特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

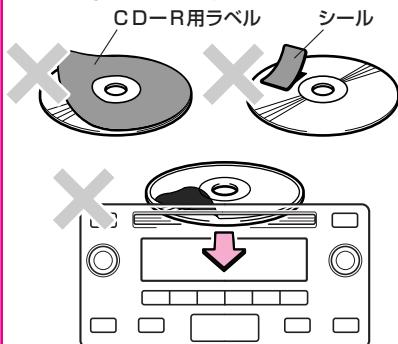


- Dual Discには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 記録部分に透明、または半透明部分があるCDは、正常に出し入れや再生ができないくなるおそれがありますので、使用しないでください。



アドバイス

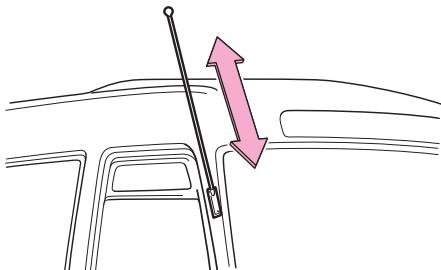
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- セロハンテープ、シール、CD-R用ラベルなどが貼ってあるCDや、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。プレーヤーの温度上昇によりラベルなどが内部ではがれたりして、プレーヤーが正常に作動しなくなったり、CDが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



- プリンタブルディスク（ラベル面印刷に対応したディスク）は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。
- CDのよごれは、プラスチック用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードプレーヤー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、CDが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- 変形したディスクは機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

アンテナ

ラジオを使用するときはいっぱいに引き出します。



アドバイス

次のようなときには、アンテナを損傷するおそれがあるため、アンテナを格納してください。

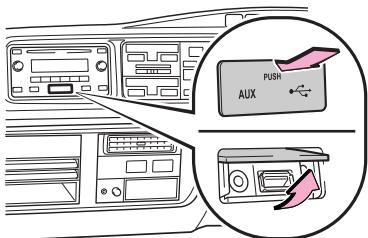
- 自動洗車機にかけるとき
- 車庫の天井などにアンテナが当たるとき

AUX端子／USB端子★

ポータブルオーディオプレーヤーなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

MODEスイッチを押してiPod／USB／AUXを選択してください。

ポータブルオーディオプレーヤーなどとの接続



iPod

フタを開けてiPodを接続します。

- iPodの電源が入らない場合は、電源を入れます。

USBメモリー

フタを開けてUSBメモリーを接続します。

- 接続した機器の電源が入らない場合は、電源を入れます。

ポータブルオーディオプレーヤー

フタを開けてポータブルオーディオプレーヤーを接続します。

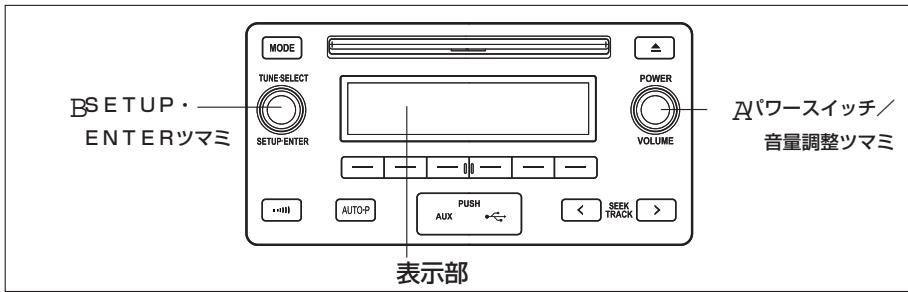
- 接続したポータブルオーディオプレーヤーの電源が入らない場合は、電源を入れます。

 **警告**

運転中に接続した機器を操作しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

CDプレーヤー一体AM/FMラジオ★

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的とき使用できます。



音量・音質調整

A/Pワースイッチ／音量調整ツマミ

電源のON・OFFと音量を調整することができます。

- スイッチを押すごとに、電源がONとOFFに切り替わります。
- ツマミを右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

BS E TUP・E N T E R ツマミ

音量バランスと音質の調整モードの切り替えやレベルを調整することができます。

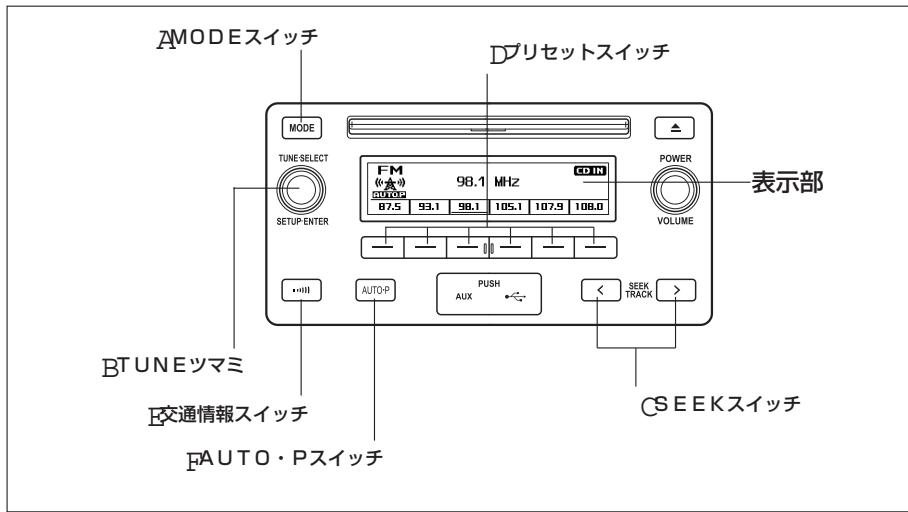
- ツマミを押しセットアップメニューを表示させてからツマミをまわすとモードが切り替わります。
 - 1bモードが表示部に表示されます。
 - 1b再度ツマミを押し、調整するモードを決定します。
- 決定したモードのレベル調整することができます。
 - 1bツマミをまわして、調整します。
 - 1b調整レベルが表示部に表示されます。
- 1bひとつ前の画面に戻るには、ツマミまたは [] (BACK) を押します。
- セットアップメニューを、表示させる前の画面にもどるときは、 [] (BACK) を押します。

モード切り替えスイッチの操作		オーディオコントロールツマミの操作		
調整モード	モード表示	調整レベル範囲	左へまわす	右へまわす
低音 ※	BASS	-5 ~ 5	弱	強
高音 ※	TREBLE	-5 ~ 5		
前後音量バランス	FADER	R7 ~ F7	後側大	前側大
左右音量バランス	BALANCE	L7 ~ R7	左側大	右側大

※ 音質レベルは、ラジオなどそれぞれで調整できます。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

ラジオの使い方



AMODEスイッチ

AM／FM放送の選択ができます。
表示部にAMまたはFMが表示されるまでスイッチを押します。

BTUNE（チューニング）ツマミ

放送局の周波数を微調整することができます。

周波数を

- 高い方へ選択するときは右側
- 低い方へ選択するときは左側にまわします。

SEEKスイッチ

スイッチを押すと、自動で受信可能な周波数を選択します。
周波数を

- 高い方へ選択するときは>側
- 低い方へ選択するときは<側を押します。

1受信感度が良く、現在表示部に表示されている周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

2途中で止めたいときは、もう一度スイッチを押します。



知識

地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

Dプリセットスイッチ

放送局の周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチでその周波数を選択することができます。

- 自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局の周波数を記憶させておくと便利です。
- スイッチを押すと、そのスイッチに記憶されている周波数が選択されます。
- 1つのプリセットスイッチにはAM・FM各1局まで周波数を記憶させることができます。

■周波数を記憶させるには

MODEスイッチを押して、AM、またはFMを選択します。

TUNEツマミまたはSEKスイッチで、記憶させたい周波数を選択します。

記憶させたいプリセットスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

**知 識**

バッテリー交換やヒューズ交換などで、オーディオとバッテリーとの接続が断たれたときには、記憶されていた周波数はすべて消去されます。

E交通情報スイッチ

交通情報放送を行っている地域で、交通情報放送局を受信することができます。スイッチを押すと、交通情報放送局が受信されます。

- もう一度スイッチを押すと、解除されます。

**知 識**

- 新車時には1620kHzにセットしてあります。
- 交通情報スイッチを押して、ラジオを受信しているときは、TUNEツマミ、SEKスイッチ、プリセットスイッチ、AUTO・Pスイッチを押しても、周波数は切り替わりません。

■周波数を記憶させるには

MODEスイッチを押して、AMを選択します。

TUNEツマミまたはSEKスイッチで、記憶させたい周波数を選択します。

交通情報スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

**知 識**

バッテリー交換やヒューズ交換などでオーディオとバッテリーとの接続が断たれたときには、1620kHzになります。

FAUTO・P（オートプリセット）

スイッチ

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

- 旅先などで放送局の周波数がわからぬときなどに便利です。

■周波数を記憶させるには

MODEスイッチを押して、AM、またはFMを選択します。

AUTO・Pスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- 表示部に「AUTO-P」の表示が出ます。
- AUTO・Pスイッチを押すたびに、新たに周波数を記憶しなおします。
1b自動で周波数を記憶させても、スイッチを押す前（「AUTO-P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。

- 受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 周波数の記憶操作が終了すると、“ピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。

■AUTO・Pスイッチで記憶させた周波数を変更するには

TUNEツマミまたはSEKスイッチで、記憶させたい周波数を選択します。

変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

■解除するには

AUTO・Pスイッチを押して、すぐ手を離します。

- 表示部の「AUTO-P」の表示が消えます。
- AUTO・Pスイッチを押す前の状態にもどります。

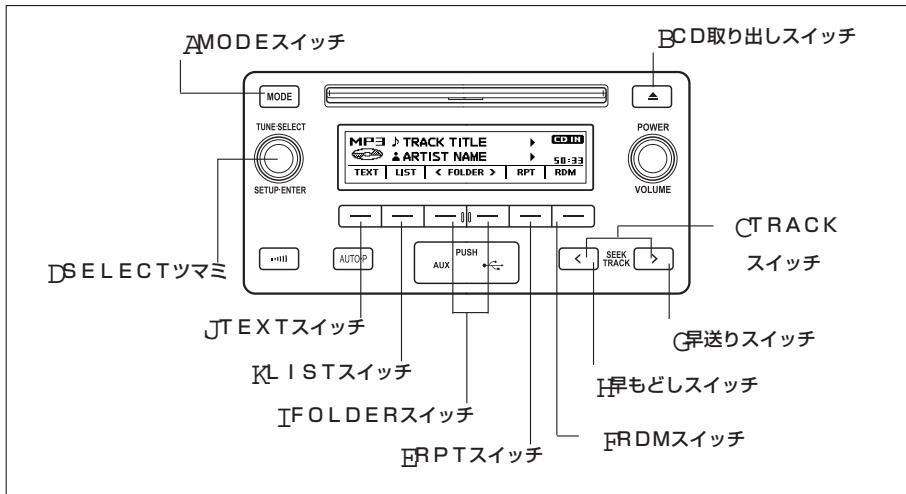


知識

- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、TUNEツマミ、またはSEKスイッチで選択し、記憶させた周波数とAUTO・Pスイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- AUTO・Pスイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

CDプレーヤーの使い方

CD挿入口にCDのラベル面を上に向け挿入すると、CDが自動的に再生されます。



AMODEスイッチ

CDが挿入されているときに、表示部にCDが表示されるまで押すと、CDが再生されます。

CD取り出しスイッチ

スイッチを押すと、挿入されているCDが取り出されます。

TRACKスイッチ

スイッチの>側または<側を押して、再生したい曲を選択します。

- 表示部に曲番が表示されます。

MP3/WMAディスクを再生する場合

スイッチの>側または<側を押して、ファイルを選択します。

- 表示部に曲番が表示されます。

SELECTツマミ

ツマミをまわして曲を選択します。

- ツマミを右へまわすとうしろの曲、左へまわすと前の曲を選択できます。
- 表示部に曲番が表示されます。

MP3/WMAディスクを再生する場合

ツマミをまわしてファイルを選択します。

- ツマミを右へまわすとうしろのファイル、左へまわすと前のファイルを選択できます。
- 表示部に曲番が表示されます。

RPT (リピート) スイッチ

— (RPT) を押すと、解除するまで何度も同じ曲が繰り返し再生されます。

- もう一度押すと、解除されます。

MP3/WMAディスクを再生する場合**■同一ファイル繰り返しモード**

[一] (RPT) を1回押すと、解除するまで同じファイルが繰り返し再生されます。

●2回押すと、解除されます。

■同一フォルダ繰り返しモード

[一] (RPT) を2回押すと、解除するまで同じフォルダが繰り返し再生されます。

●もう一度押すと、解除されます。

RDM（ランダム）スイッチ

[一] (RDM) を押すと、解除するまでランダムに選曲され、再生されます。

●もう一度押すと、解除されます。

MP3/WMAディスクを再生する場合**■同一フォルダランダムモード**

[一] (RDM) を1回押すと、再生中のフォルダの中からファイルがランダムに再生されます。

●2回押すと、解除されます。

■ディスク内ランダムモード

[一] (RDM) を2回押すと、ディスクの中からファイルがランダムに再生されます。

●もう一度押すと、解除されます。

○早送りスイッチ

スイッチを押している間、早送りされます。

●解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

■早もどしスイッチ

スイッチを押している間、早もどしされます。

●解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

IFOLDERスイッチ**MP3/WMAディスクを再生する場合**

[一] (FOLDER) または **[一] (<FOLDER>)** を押して、フォルダを選択します。

●**[一] (<FOLDER>)** を“ピッ”と音がするまで押し続けると、最初のフォルダを選択することができます。

JTEXTスイッチ

[一] (TEXT) を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にできます。

●表示に続きがある場合は、▶が表示されます。続きを表示するにはスイッチを押し続けます。

LISTスイッチ

[一] (LIST) を押すと、リストが表示され、SELECTツマミをまわし曲を選択し、SELECTツマミを押し曲を再生します。

●ひとつ前の画面に戻るには **[一] (BACK)** を押します。

MP3/WMAディスクを再生する場合

[一] (LIST) を押すと、リストが表示され、SELECTツマミをまわしフォルダまたはファイルを選択し、SELECTツマミを押しフォルダまたはファイルを選択します。

●ひとつ前の画面に戻るには **[一] (BACK)** を押します。


知識
■表示について

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■MP3／WMAファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。使用できるMP3／WMAファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

■再生可能なMP3ファイルの規格について
●対応規格

MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)

●対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG1 LAYER3 : 32–320 (kbps)

MPEG2 LSF LAYER3 : 8–160 (kbps)

*VBRに対応しています。

●対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
■再生可能なWMAファイルの規格について
●対応規格

WMA Ver.7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48 (kHz)

●対応ビットレート

Ver.7、8 : CBR 48–192 (kbps)

Ver.9 : CBR 48–320 (kbps)

*2ch再生のみ対応しています。

■使用できるメディアについて

MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-Rおよび、CD-RWです。

CD-R、CD-RWの状態によっては再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できることや、音飛びすることがあります。



知識

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

- ディスクフォーマット：CD-ROM Model1、Model2、
CD-ROM XA、Model2 Form1、Form2

- ファイルフォーマット：ISO9660レベル1、レベル2、(Romeo, joliet)

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：半角32文字（全角文字で記録された情報をこのオーディオで表示することはできません）
- 最大フォルダ数：192（ルート含む）
- ディスク内最大ファイル数：255

■ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3”／“.wma”がついたものだけです。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMAファイルを追加したディスクの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

■ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3のID3タグに対応しています。（文字数はID3 Ver.1.0、1.1に準拠します）

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

■MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要なないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データとMP3またはWMA形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみ再生できます。

 知識

■拡張子について

MP3／WMA以外のファイルに“.mp3”／“.wma”的拡張子がついていると、MP3／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

■再生について

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により再生できない場合があります。
- MP3／WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかりたり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。



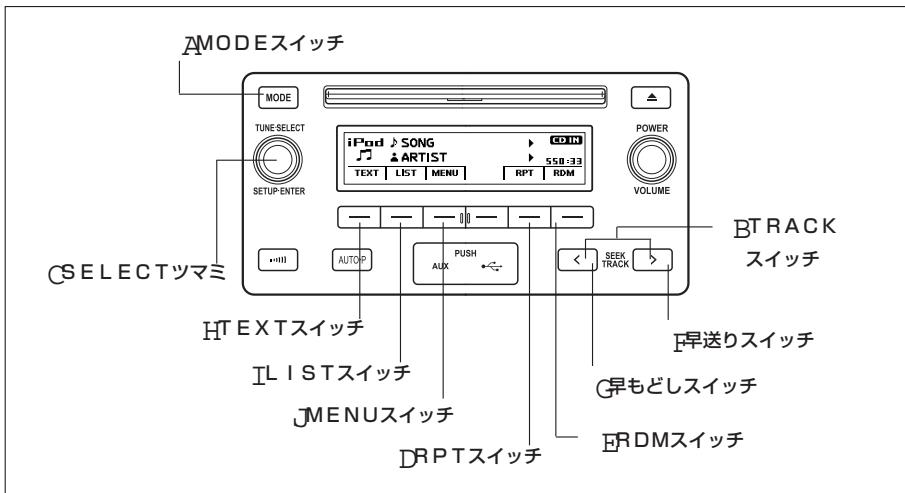
アドバイス

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容	処置
CD CHECK	1bディスクがよこされている 1b裏表逆になっている	1bディスクのよごれをとる 1bディスクを正しい向きで 入れる
ERROR	プレーヤー内部に異常が ある	ディスクを取り出す
WAIT	プレーヤーの温度異常を 検出すると、自動的にプ レーヤーの機能が停止し ます。	しばらくしてからMODE スイッチを押してください。 再生されないときは、 トヨタ販売店にご相談く ださい。
NO SUPPORT	ディスク内にMP3／ WMAファイルが収録さ れていない	ディスクを取り出す

iPodの聞き方

USB端子に接続した iPodの音楽ファイルを再生することができます。



AMODEスイッチ

iPodが接続されてるときに、表示部にiPodが表示されるまで押すとiPodが使用できます。

BT BACKスイッチ

スイッチの>側または<側を押して、再生したい曲を選択します。

- 表示部に曲番が表示されます。

SELECT ツマミ

ツマミをまわして曲を選択します。

- ツマミを右へまわすとうしろの曲、左へまわす前の曲を選択できます。

- 東三郎に恋愛が東三郎ねえ

DR P T (リピート) スイッチ

— (RPT) を押すと、解除するまで何度も同じ曲が繰り返し再生されます。

- もう一度押すと、解除されます。

EB DM (ランダム) フィッシュ

【一】(R DM) を1回押すと、解除するまでランダムに選曲され、再生されます。

2回押すと、アルバムがランダムに再生されます

- もう一度押すと 解除されます

E早送りスイッチ

スイッチを押している間、早送りされます。

- 解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

G早もどしスイッチ

スイッチを押している間、早もどしされます。

- 解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

HTEXTスイッチ

□（TEXT）を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にできます。

- 表示に続きがある場合は、▶が表示されます。続きを表示するにはスイッチを押し続けます。

I LISTスイッチ

□（LIST）を押すと、リストが表示され、SELECTツマミをまわし曲を選択し、SELECTツマミを押し曲を再生します。

- ひとつ前の画面に戻るには□（BACK）を押します。

JMENUスイッチ

【一】(MENU) を押すと、選曲リストが表示され、SELECTツマミを右にまわし選曲リストを選択し、SELECTツマミを押し聞きたい曲を選択します。

■選曲リストの構造

選曲リスト	第1選択	第2選択	第3選択	第4選択
Playlists	プレイリストを選ぶ	曲を選ぶ	—	—
Artists	アーティストを選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	—
Albums	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	—	—
Songs	曲を選ぶ	—	—	—
Podcasts	Podcastsを選ぶ	エピソードを選ぶ	—	—
Genres	ジャンルを選ぶ	アーティストを選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ
Composers	作曲者を選ぶ	アルバムを選ぶ	曲を選ぶ	—
Audiobooks	オーディオブックを選ぶ	チャプターを選ぶ	—	—

■リストを選ぶ

SELECTツマミをまわし選曲リストの第1選択を選びます。

SELECTツマミを押し聞きたいリストを決定します。

- 選択項目が表示されます。

聞きたい曲などを選ぶために同じ手順を繰り返します。

- ひとつ前の画面に戻るには【一】(BACK) を押します。

- 聞きたい曲などを再生するには【一】(PLAY) を押します。

⚠ 警告

運転中にiPodを操作しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

iPodやUSB端子の故障を防ぐために、次のことをお守りください。

- 炎天下など、車室内が高温になるため、iPod を車室内に放置しないでください。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。
- USB 端子に異物などを入れないでください。

! 知識

■iPodについて



- 「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、iPod/iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって設定された電子アクセサリであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

■iPodの機能について

- iPodが接続されている状態で、他モードよりiPodモードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 接続しているiPodによって、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤作動が解消することができます。
- iPodを接続している間、iPod自体で操作することができません。車載機のオーディオから操作してください。

 知識**■iPodに問題が起きたとき**

iPodを使用しているときに問題が起きた場合は、接続を解除して再び接続をしてからiPodをリセットしてください。

リセットの方法は、iPodの説明書を参照してください。

■表示について

154ページ参照

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置しても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
ERROR	iPodまたは接続に問題がある
NO SONGS	iPodに音楽データがない
NO PLAYLIST	選曲リストに音楽データがない
UPDATE YOUR iPod	iPodのソフトウェアバージョンが対応していません。 iPodのソフトウェアバージョンを最新版にアップグレードしてください。

 知識**■使用できるモデル**

本機は下記のiPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone®を使用することができます。

●Made for

• iPod touch (第5世代)

• iPod touch (第4世代)

• iPod touch (第3世代)

• iPod touch (第2世代)

• iPod touch (第1世代)

• iPod classic

• iPod with video

• iPod nano (第7世代)

• iPod nano (第6世代)

• iPod nano (第5世代)

• iPod nano (第4世代)

• iPod nano (第3世代)

• iPod nano (第2世代)

• iPod nano (第1世代)

• iPhone 5

• iPhone 4S

• iPhone 4

• iPhone 3GS

• iPhone 3G

• iPhone

使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

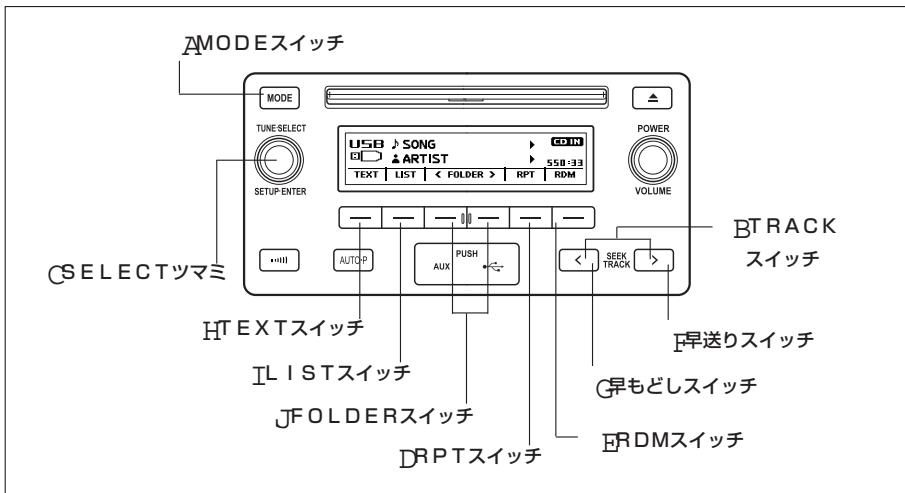
• 最大リスト数：9999

• 最大曲数：65535

• リスト内最大曲数：65535

USBメモリーの聞き方

USB端子に接続したUSBメモリーの音楽ファイルを再生することができます。



AMODEスイッチ

USBメモリーが接続されてるときに、表示部にUSBが表示されるまで押すとUSBメモリーが使用できます。

BT TRACKスイッチ

スイッチの>側または<側を押して、再生したいファイルを選択します。

- 表示部に曲番が表示されます。

SELECTツマミ

ツマミをまわしてファイルを選択します。

- ツマミを右へまわすとうしろのファイル、左へまわすと前のファイルを選択できます。

- 表示部に曲番が表示されます。

DRPT (リピート) スイッチ

■同一ファイル繰り返しモード

— (RPT) を1回押すと、解除するまで同じファイルが繰り返し再生されます。

●2回押すと、解除されます。

■同一フォルダ繰り返しモード

— (RPT) を2回押すと、解除するまで同じフォルダが繰り返し再生されます。

●もう一度押すと、解除されます。

R D M (ランダム) スイッチ

■同一フォルダランダムモード

【—】(R D M) を1回押すと、再生中のフォルダの中からファイルがランダムに再生されます。

- 2回押すと、解除されます。

■メモリー内ランダムモード

【—】(R D M) を2回押すと、メモリーの中からファイルがランダムに再生されます。

- もう一度押すと、解除されます。

E 早送りスイッチ

スイッチを押している間、早送りされます。

- 解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

E 早もどしスイッチ

スイッチを押している間、早もどしされます。

- 解除する（再生する）ときは、スイッチから手を離します。

H T E X T スイッチ

【—】(T E X T) を押すごとに、アルバムのタイトルを表示または非表示にできます。

- 表示に続きがある場合は、▶が表示されます。続きを表示するにはスイッチを押し続けます。

I L I S T スイッチ

【—】(L I S T) を押すと、フォルダリストが表示され、S E L E C T ツマミをまわして、またはS E L E C T ツマミを押して聞きたいフォルダまたはファイルを選びます。

- ひとつ前の画面に戻るには【—】(B A C K) を押します。

J F O L D E R スイッチ

【—】(F O L D E R >) または【—】(< F O L D E R) を押して、フォルダを選択します。

- 【—】(< F O L D E R) を“ピッ”と音がするまで押し続けると、最初のフォルダを選択することができます。

警告

運転中にU S Bメモリーを操作しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

注意

U S BメモリーやUSB端子の故障を防ぐために、次のことをお守りください。

- 炎天下など、車室内が高温になるため、U S Bメモリーを車室内に放置しないでください。
- U S Bメモリーが接続されているときに、U S Bメモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。
- USB端子に異物などを入れないでください。



知識

■USBメモリーの機能について

- 接続しているUSBメモリーによって、USBメモリー自体を使用できなかったり、特定の機能が使用できない場合があります。接続を解除して、再び接続するといくつかの誤動作が解消することがあります。
- 接続を解除して再び接続しても操作できない場合は、メモリーを初期化してください。

■表示について

154ページ参照

■エラー表示

エラーメッセージが表示されたときは、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても直らないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

表示	エラーの内容
ERROR	USBメモリーまたは接続に問題がある
NO MUSIC	MP3／WMAファイルがUSBメモリーに入っていない

■USBメモリーについて

●再生可能な機器の規格について

USBメモリーで再生できるファイルの規格は MP3／WMA です。

●使用できる機器のフォーマットについて

使用できる機器のフォーマットは次のとおりです。

1bUSBコミュニケーションフォーマット：USB2.0 FS (12mbps)

1bファイルフォーマット：FAT12/16/32 (Windows)

1b通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3／WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならばに制限事項は次のとおりです。

1b最大ディレクトリ階層：8階層

1b最大フォルダ数：999 (ルート含む)

1b最大ファイル数：9999

1bフォルダ内最大ファイル数：255



知識

■MP3／WMAファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3／WMAファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)

●対応サンプリング周波数

MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG1 LAYER3 : 32–320 (kbps)

MPEG2 LSF LAYER3 : 8–160 (kbps)

* VBRに対応しています。

●対応チャンネルモード：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver.7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48 (kHz)

●対応ビットレート

Ver.7、8 : CBR 48–192 (kbps)

Ver.9 : CBR 48–320 (kbps)

* 2ch再生のみ対応しています。

■ファイル名について

MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3／WMAの拡張子 “.mp3” ／ “.wma” がついたものだけです。



知識

■ ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。

ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver.1.0、1.1に準拠します)

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。

■MP3／WMAの再生について

1) MP3／WMAファイルが収録されている機器を挿入すると、最初にUSBメモリー機器内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3／WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

2) USB機器を接続するとUSBメモリーモードに切り替わり、最初のフォルダ内の最初のファイルを再生します。同じUSB機器の接続を解除して再び接続すると(収録されている内容に変更がないとき)、USBメモリーは最後に再生したところから再生されます。

■拡張子について

MP3／WMA以外のファイルに“.mp3”／“.wma”の拡張子がついていると、再生されずにスキップします。

■再生について

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- MP3／WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

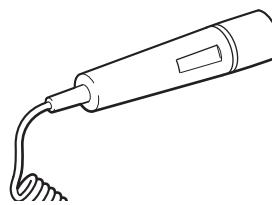
AUX端子（外部入力接続）の使い方

ポータブルオーディオプレーヤーを車両のスピーカーから聞くことができます。表示部に、AUXが表示されるまでMODEスイッチを押すと、ポータブルオーディオプレーヤーが使用できます。



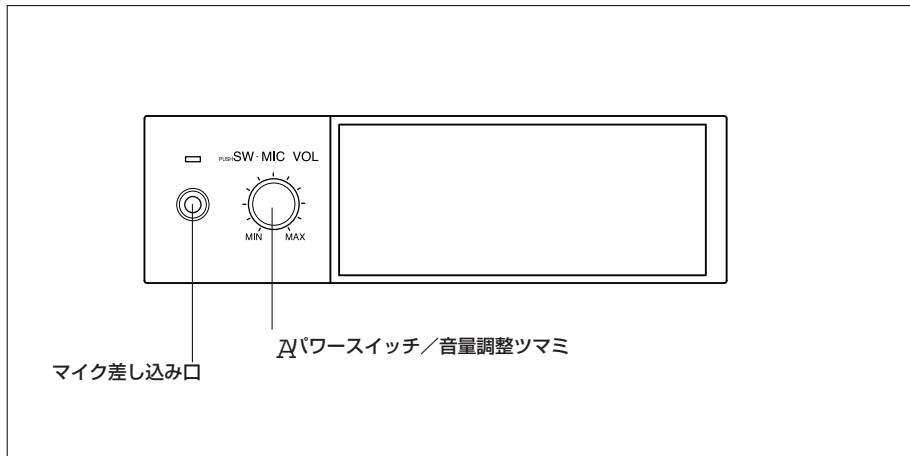
音量の調整をするときは、車両のオーディオで調整してください。
その他の操作は、ポータブルオーディオで行ってください。

標準マイク★



マイクアンプのマイク差し込み口に差し込みます。（マイクアンプについては、170ページをご覧ください。）

マイクアンプ★



A/パワースイッチ／音量調整ツマミ

電源のON・OFFと音量を調整することができます。

- スイッチを押すごとに、電源がONとOFFに切り替わります。
- ツマミを右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと小さくなります。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

リヤモニター★

リヤモニターを使用する前に

■エンジンをかけてご使用ください。

- エンジンスイッチが“ON”の位置のときに使用できますが、バッテリー上がりを防ぐためエンジンをかけてご使用ください。
- 使用しないときは電源スイッチをOFFにしておいてください。

⚠ 注意

- 走行中に操作するときは、安全に十分な配慮をして操作してください。
- 安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。



知識

- 液晶モニターは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- モニターを見ているときに車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、モニターのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。
- モニターに磁石類を近づけると画面の色が乱れる原因となります。

お掃除やお手入れは長持ち、安全のひけつです。

リヤモニターはやわらかい乾いた布で軽くふいてください。よごれがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。



アドバイス

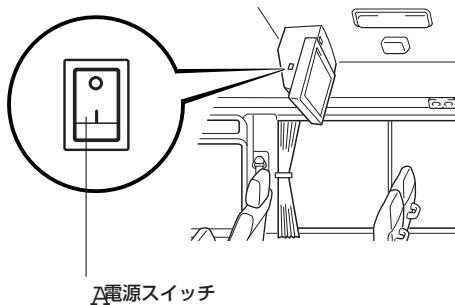
水をかけるのは故障の原因となります。

きれいな映像、音声を楽しむには

- リヤモニターの電源がはいっていると、ラジオに雑音がはいることがあります。ラジオを聞くときはモニターの電源を切ってください。
- A Vシステムの近くで無線機、電話等を使用すると雑音や誤作動の原因となることがあります。詳しくは販売店にご相談ください。

リヤモニターの使い方

ナビゲーションシステムに表示されているオーディオの映像を、リヤモニターに表示させることができます。



A電源スイッチ

電源のON・OFFをすることができます。

こんなときは、故障ではありません

次のような所では、映りにくいことがあります。

症 状	車両の状態
●揺れる ●雑音が出る ●2重3重になる (ゴースト)	●ビルとビルの間を走行または停車しているとき ●飛行機が飛んでいるとき、電車の近くを走行しているとき ●送電線の付近を走行しているとき ●山や木立のかげにはいったとき
●雑音が出る ●モニターの映りがだんだん悪くなり、雑音が出る。 ●色が出たり、消えたりする。	●山かげまたは、放送局から遠いところにいるとき ●トンネル内を走行しているとき
●画面にはん点が出る	●自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行しているとき
●色縞模様が出たり 色が消える	●ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行しているとき ●カー無線を取りつけると画面に色縞模様が出たり、雑音が出ることがあります

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作違いで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず確認してください。

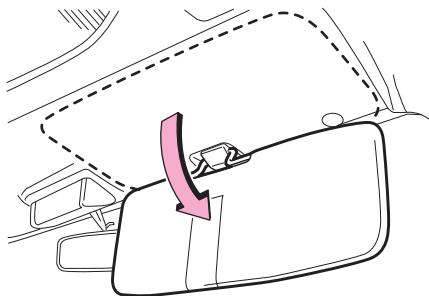
処置をしても直らない場合は、販売店で点検を受けてください。

症 状	考えられること	処 置
画面に小さい斑点や輝点がある	液晶モニター特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

室内装備

サンバイザー／ お客様表示板

運転席・**助手席**★
使用するときは前方に倒します。

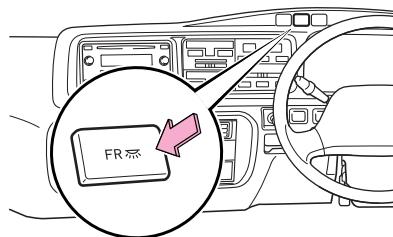


室内灯

点灯・消灯

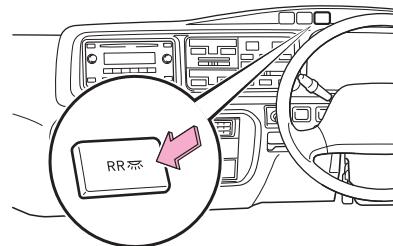
スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

■フロント



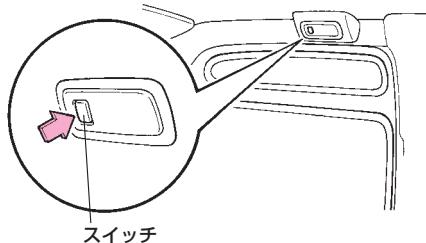
■リヤ

バンは、バックドアを開けると、スイッチがOFFでも点灯します。



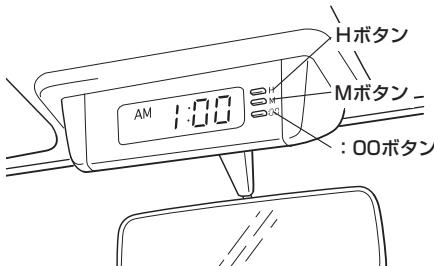
スポットランプ★

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



時計★

エンジンスイッチの位置に関係なく時刻が表示されます。



知識

夜間、エンジンスイッチが“LOCK”の位置では時計が見にくくなります。その場合はエンジンスイッチを“ON”または“ACC”にしてください。

■ 時 h 分 h を調整するときは

Hボタンを押すと“時”、Mボタンを押すと“分”が早送りされます。

■ 時報に合わせるときは

時報と一緒に：00ボタンを押すと時報に合わせることができます。

- 0~29分は切り下げられます。
- 30~59分は切り上げられます。

(例) 1:00~1:29の場合は1:00に、12:30~12:59の場合は1:00になります。

知識

秒表示はありませんが、：00ボタンを押したときは0秒から作動を開始します。

シガレットライター

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”的位置のとき使用できます。シガレットライターを押し込んで手を離します。もとの位置にもどったら使用できます。

⚠ 注意

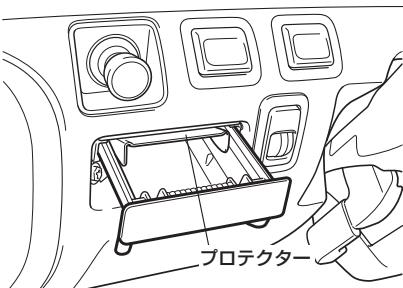
- シガレットライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- シガレットライターの故障や周辺部の焼損を防ぐため、次のことをお守りください。
 - 1. シガレットライターを押されたままにしないでください。
 - 2. 他車のシガレットライターを差し込まないでください。
 - 3. ソケットからトヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。トヨタ純正品以外の電源を取り出した場合、シガレットライターを使用すると、赤熱したシガレットライターが飛び出したり、押し込まれたまま出てこないおそれがあります。
- ディーゼル車では24Vのシガレットライターを使用し、LPG車では12Vのシガレットライターを必ず使用してください。電圧の異なるシガレットライターを使用するとシガレットライターが過熱するなど故障の原因になります。

灰皿

■運転席用

使用するときはフタを手前に引き出します。

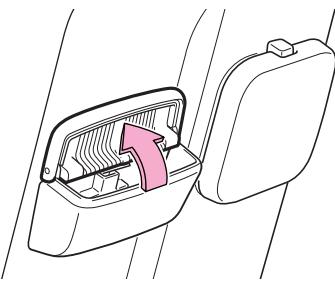
- 取りはずすときはプロテクターを下へ押したまま、ゆっくり取りはずします。



■後部座席用 ★

使用するときはフタを開けます。

- 取りはずすときは灰皿本体を持って上に引き抜きます。



⚠ 注意

出火を防ぐため、次のことをお守りください。

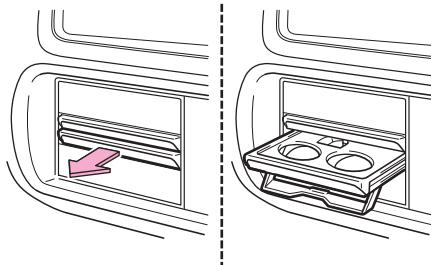
- マッチ、タバコなどの火は完全に消してから灰皿の中にいれ、確実に閉めてください。
- 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすい物をいれないでください。

カップホルダー★

■運転席用

使用するときはツマミを引き出します。

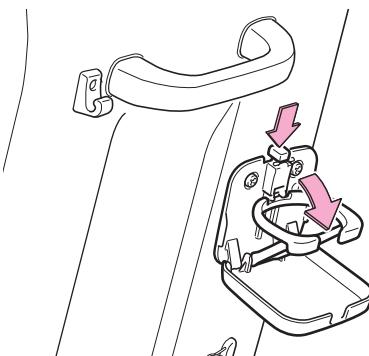
- 使用しないときは収納しておいてください。



■後部座席用

使用するときは手前に倒します。

- 使用しないときは収納しておいてください。



△注意

- カップホルダーには、カップや飲料缶、紙パック以外のものを入れないでください。急ブレーキをかけたときや衝突時に収納していたものが飛び出し、けがをすることがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタをしてください。
- 急ブレーキをかけたときや衝突時に、カップホルダーに体が当たるなどして、思わぬけがをすることがあります。危険です。カップホルダーを使用しないときは収納しておいてください。

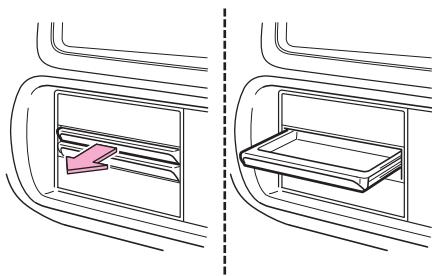


アドバイス

カップホルダーを破損から守るために、手をついたりしないでください。カップホルダーが破損することがあります。

カードケース★

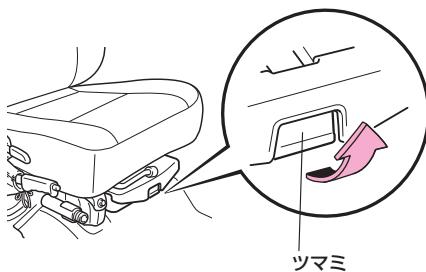
使用するときはツマミを引き出します。
 ●使用しないときは収納しておいてください。



シートアンダートレイ

運転席

ツマミを引いてトレイを引き出します。
 ●走行中は閉めてください。

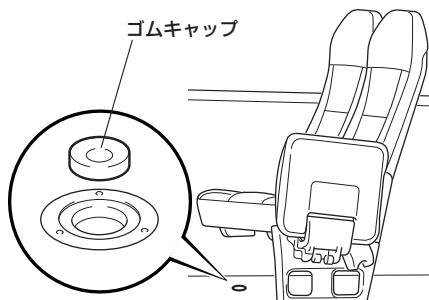


警告

フロントシートの下（シートアンダートレイ内を除く）に物を置かないでください。物が挟まってシートが固定されず、思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、ロック機構の故障の原因になります。

床洗い用水抜き穴★

二人掛けシートの前から3列目のシート下側にあります。
排水するときは、ゴムキャップを取りはずします。



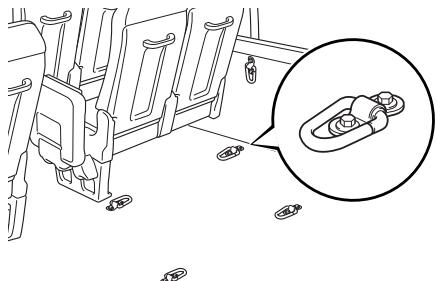
ロープフック★

積荷を固定するときに使用します。

バン



最後席シート非搭載車



ラゲージルーム セパレーター

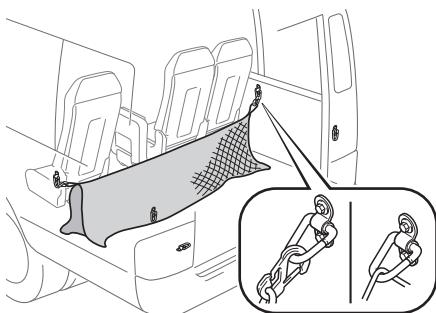
最後席シート非搭載車

ラゲージルームセパレーターとロープフック（181ページ参照）を使用して、荷室と客室を仕切ったり、荷物を固定したりすることができます。

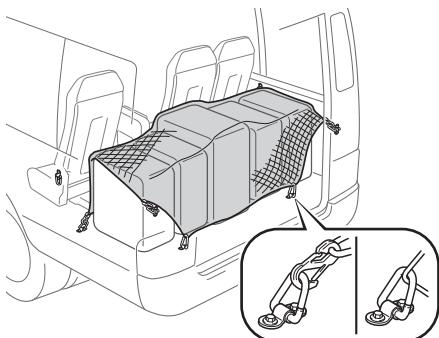
- ラゲージルームセパレーターのフックだけでなく、ネットを直接ロープフックにかけることもできます。

使用例

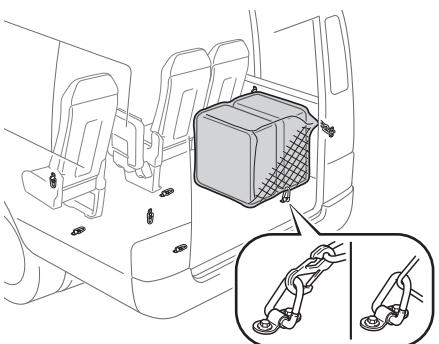
■荷室と客室を仕切る



■大量の荷物を固定する



■少量の荷物を固定する



知識

ラゲージルームセパレーターは、助手席に搭載されています。

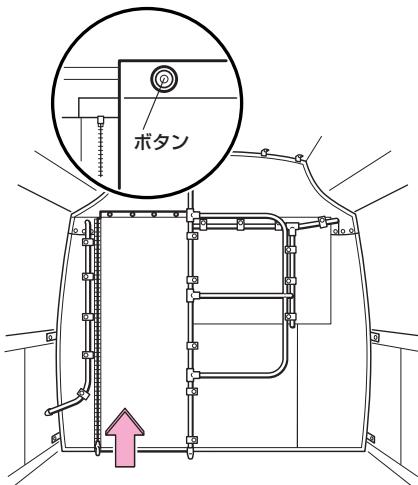
セパレーターカーテン★

荷室を仕切り、エアコン・ヒーターの効果を高めます。

■開け方

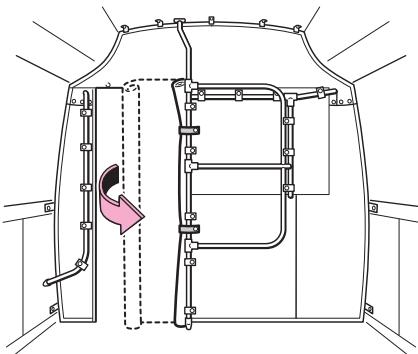
チャックをはずします。

上部のボタン（4力所）をはずします。



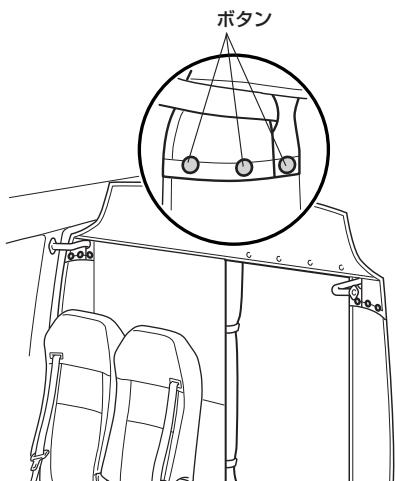
カーテンを丸めながら開けます。

バンド（2力所）で固定します。

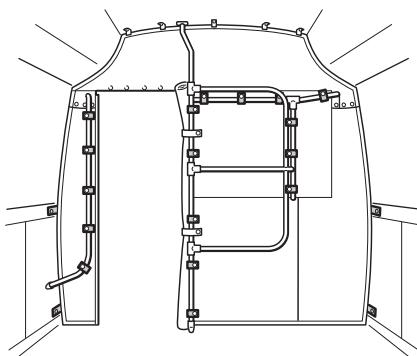


■取りはずし方

フロント側からボタン（左右3力所ずつ）をはずします。

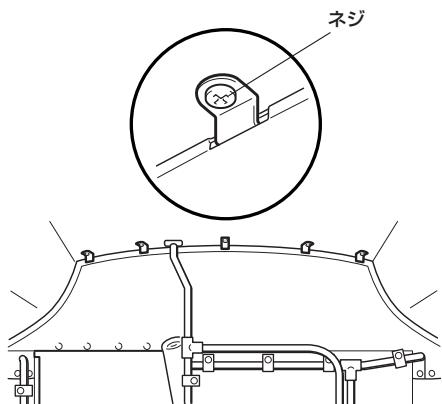


リヤ側からセパレーターバーに取りつけられているボタン（左5力所・中央5力所・右3力所・上部4力所）と、サイドのボタン（左右4力所）をはずします。



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

リヤ側からドライバーで天井に取りつけられているネジ（5カ所）をまわしてはずします。

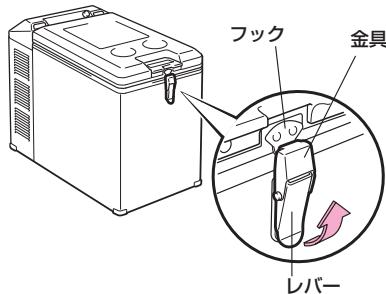


冷蔵庫★

エンジンスイッチが“ON”の位置のとき使用できます。

開けるときは

レバーを引いて、金具をフックからはずします。



閉めるときは

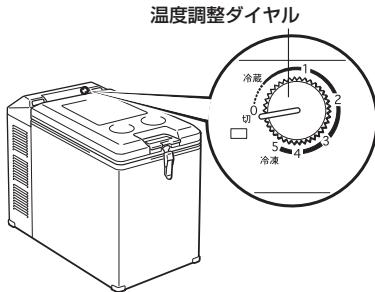
金具をフックにかけ、レバーを押します。

- 確実に固定されたことを確認してください。

使用するときは

■電源のON・OFF

- 温度調整ダイヤルをまわして「切」以外の位置にすると、電源がONになります。
- 「切」の位置に合わせると電源がOFFになります。



■温度調整

温度調整ダイヤルをまわします。

- 使用条件とダイヤルの位置は、冷蔵庫周囲の温度状態およびバッテリーの充電状態などにより異なりますが、一応の目安として下表を参考にして使用してください。

ダイヤル位置	冷蔵室温度 (負荷がないとき)	使い方
1	約+3°C～+7°C	通常使用時
2	約0°C～+4°C	使用条件に合わせてダイヤルをお選びください。
3	約-2°C～+2°C	
4	約-8°C～-4°C	
5	約-12°C以下	冷凍食品を貯蔵するとき



知識

- 長時間エンジンを停止していると、庫内の温度は上昇します。
- 冷蔵庫を効果的に使用していただくために次のような事項に注意して使用してください。
 - 1 内に食料品を詰め込みすぎない。
 - 2 温かい食料品は、冷ましてから貯蔵する。
 - 3 水気の多い物、香りの強い物は包んでから貯蔵する。
- ダイヤル4の位置での使用はできるだけ短時間にしてください。4の位置で長時間使用すると、庫内が冷えすぎて食料品が凍結したり、ビン類などが割れるおそれがあります。
- アイスクリームを貯蔵するときは庫内が常に約-15°C以下でないとやわらかくなることがあります。

霜取りをするときは

庫内に6₁程度の厚さに霜がついたら、霜取りを行ってください。

庫内の貯蔵品をすべて取り出します。
電源をOFFにして、霜が溶けるまで待ちます。

庫内にたまつた水は、スポンジまたはフキンなどで取り除きます。



アドバイス

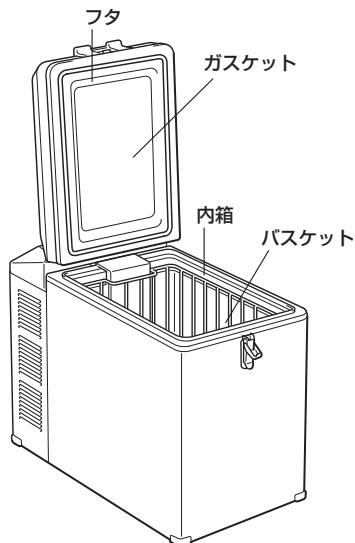
ナイフなどを使用して無理に霜を取らないでください。冷却器に傷がつき、冷蔵庫が損傷するおそれがあります。

■急いで霜を取るときは

約50℃以下の温水（手がいれられる程度の温度）をいれて霜を溶かします。

**アドバイス**

約50℃以上の温水をいれると内箱が変形するおそれがありますので、必ず約50℃以下の温水をいれてください。

冷蔵庫の手入れ**アドバイス**

ブラシ、粉石けん、クレンザー、ベンジンなどは使用しないでください。冷蔵庫を傷つけたり、変色やしみの原因になります。

■フタ、内箱の手入れ

よく乾いたやわらかい布でカラぶきします。

よごれがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯（約50℃以下）を使用してふき取り、よく乾いたやわらかい布で水分をふき取ります。

■ガスケットの手入れ

よく乾いたやわらかい布に中性洗剤を含ませてよごれをふき取ります。

**アドバイス**

布に多量の水を含ませてふき取ると水が扉の内部に侵入して断熱効果が悪くなるおそれがあります。

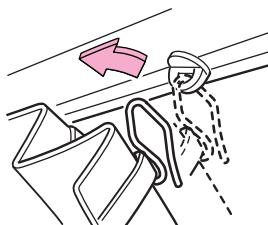
■バスケットの手入れ

石けん水で洗ったあと、水でよくすすぎ、乾いた布で水分をふき取ります。

カーテン★

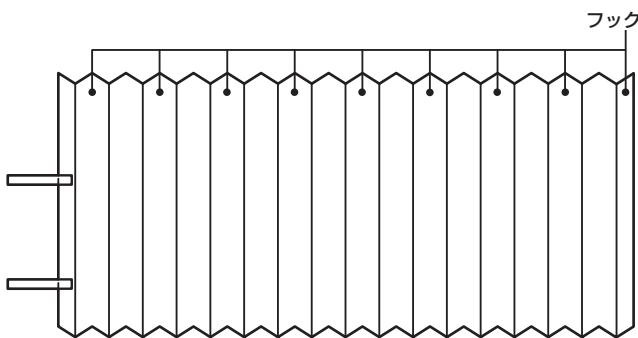
取りはずし方

カーテンレールからフックをはずします。

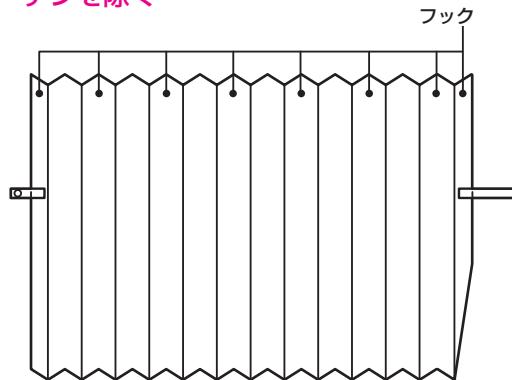


フックの取りつけ位置

■バックドアカーテン



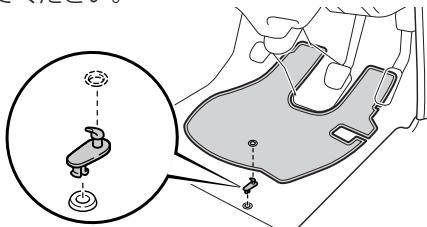
■バックドアカーテンを除く



★印はグレード等により装着の有無が異なります。

フロアマット

お車（年式）専用のものを、フロアカーペットの上にしっかりと固定して使用してください。



- フロアマット付属の固定フック（クリップ）を使用して固定してください。固定フック（クリップ）の形状およびフロアマットの固定方法はイラストと異なる場合があります。詳しい固定方法はフロアマット付属の取扱書をお読みください。

⚠ 警告

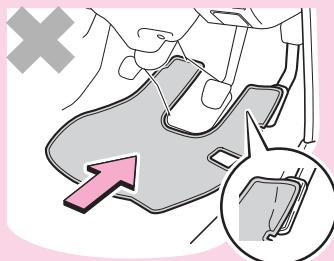
- 運転席にフロアマットを敷くときは、以下のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
- ①トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しないでください。
- ②運転席専用のフロアマットを使用してください。
- ③付属のフック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定してください。
- ④他のフロアマット類と重ねて使用しないでください。
- ⑤フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しないでください。

⚠ 警告

- 運転する前に、以下のことを確認してください。

① フロアマットが固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、とくに洗車後は必ず確認を行ってください。

② エンジン停止およびシフトレバーが e（オートマチック車）または c（マニュアル車）の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。



5 車との上手な付き合いかた

寒冷時の取り扱い	190
冬の前の準備、点検	190
運転する前に	191
走行するときは	192
駐車するときは	192
ワイパー	193
タイヤチェーン	193
ディーゼル車の燃料	194
LPG車の燃料	194
こんなときは	195
雨の日の運転	195
夏期の取り扱い・エアコンガスの処理	195

5

寒冷時の取り扱い

冬の前の準備、点検

■エンジンオイル

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。(232ページ参照)

■冷却水

ディーゼル車

冷却水の凍結を防ぐために冷却水濃度を調整してください。

使用地域	希釈割合	凍結保証温度
温暖地	30%	-12℃
寒冷地	50%	-35℃

寒冷地仕様車・LPG車

冷却水の凍結を防ぐために冷却水の濃度を50%にしてください。

使用地域	希釈割合	凍結保証温度
温暖地	50%	
寒冷地		-35℃

■ウォッシャー液

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。

■バッテリー

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがあります。バッテリーの液量、比重を点検し、必要に応じて液の補充や充電をしてください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーン

- 冬用タイヤに取り替えるときは、全輪とも指定サイズで、同一メーカー、同一銘柄のタイヤに交換してください。
- 冬用タイヤ装着時も指定空気圧に調整してください。
- お使いになる冬用タイヤの最高許容速度や制限速度を超える速度で走行しないでください。
- タイヤサイズに合ったタイヤチェーンを準備してください。
(193ページ参照)
- トヨタ純正タイヤチェーン（トリプルチェーン）のご使用をおすすめします。トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体に当たり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

運転する前に

■屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげになります。走行する前に取り除いてください。

■ガラスについた雪や霜

ガラス内外の雪や霜を落として視界を確保してください。
デフロスターを使うと、ガラスを傷つけずに落すことができます。



アドバイス

フロントガラスについた氷を除去するため
に、たたいて割らないでください。フロン
トガラスの内側（車内側）が割れるおそれ
があります。

■車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから、乗車
してください。
ペダル類を操作するときにすべったり、
室内の湿気が多くなりガラスが曇ったり、
凍結することがあります。

■外気取り入れ口に積もった雪

フロントガラス前部の外気取り入れ口に
積もった雪を取り除いてから、エアコン
のファンを作動させてください。
雪が積もったままで作動させると、ファ
ンが故障したり、ガラスが曇ったりする
おそれがあります。

■足まわりの着氷

足まわりなどに付着した氷塊を車体など
に傷をつけないように取り除いてください。

■ドアの凍結

ドアが凍結したときは無理に開けようと
すると、ドアまわりのゴムがはがれたり、
損傷するおそれがあります。そんなとき
はお湯をかけて氷を溶かしてください。
なお、すぐに水分を十分ふき取ってくだ
さい。

■ワイパーなどの凍結

ワイパー、ドアミラーなどが凍って動
かない場合は無理に動かそうとしてス
イッチを押し続けたりすると、装置を
いためたり、バッテリーあがりをおこ
すおそれがあります。

走行するときは

■すばりやすい路面の走行

- ゆっくりスタートし、ひかえめな速度で走行してください。また、“急”的な動作は避けてください。橋の上や日陰など凍結しやすい場所では減速してください。
- 積雪時、凍結路では早めにタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。

■走行中の着氷

走行中にはね上げた雪や水は、車に付着して氷になります。フェンダー裏側に付着するとハンドル操作に影響しますのでときどき確認し、大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキ装置に付着するとブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認してください。

駐車するときは

- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結してパーキングブレーキが解除できなくなるおそれがあります。

駐車する場合は、平らな場所に駐車し、パーキングブレーキをかけないで、シフトレバーをマニュアル車は g オートマチック車は e の位置にして輪止めをします。

また、マニュアル車でやむを得ず、坂道に駐車する場合は、シフトレバーを下り坂では g 上り坂では e の位置にしてください。

輪止めをするときは、下り坂では前輪の前側、上り坂では後輪のうしろ側にしてください。

- 風の当たる部分は、予想以上に低温となります。バッテリーあがりを防ぐためにもエンジンルーム側を風下に向けて駐車してください。

- 降雪時は寒さでワイパーがガラスに凍りついたりします。

ワイパーは立てて駐車してください。

⚠ 警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車両が動き思わず事故につながるおそれがあります。

ワイパー

寒冷地用ワイパー ブレードについて★

降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。



知識

- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。
- 寒冷地用ワイパーブレードを必要としない降雪期以外は、通常のワイパーブレードを使用してください。

タイヤチェーン

- タイヤチェーンは後輪（4つのタイヤ）に取りつけ、トリプルチェーンを使用してください。
- タイヤチェーンの取りつけ、取り扱い方法はタイヤチェーンに付属の取扱書にしたがってください。
- タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。
- トヨタ純正タイヤチェーン（トリプルチェーン）のご使用をおすすめします。トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると、車体に当たり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。



注意

タイヤチェーンを装着して走行するときは、突起や穴を乗り越えたり、急ハンドルや車輪がロックするようなブレーキ操作などをしないでください。車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取りつけると、ホイールに傷がつくことがあります。
- タイヤチェーン（金属チェーン）を装着しているときは、30km/h以上で走行しないでください。
タイヤチェーンにかかる負荷が大きくなり、チェーンが切れやすくなります。

ディーゼル車の燃料

軽油は外気温が低温になると凍結し、燃料配管のつまりなどの故障の原因となります。

寒冷地へ行くときは、現地へ着くまでに残量を半分（燃料計目盛りの1/2以下）にしておき、現地に着いたら下表にしたがってできるだけ早く寒冷地用燃料を補給してください。



アドバイス

フェリーを利用する場合は、寒冷地に着いてすぐ寒冷地用燃料を補給できるよう、あらかじめ燃料を半分以下にしておいてください。

LPG車の燃料

LPG車は外気温が低温になると燃料が十分に気化できず、エンスト・再始動不良の原因になりますので、冷寒（5℃以下）時の始動後は、水温計が動き始める程度の暖機運転をしたあと走行するようしてください。



アドバイス

とくに寒冷地への移動の際は燃料タンク内の燃料を極力少なくして寒冷地用燃料を補給するように心がけてください。

使用燃料	使用限界温度*
JIS2号 軽油	-5.0℃
JIS3号 軽油	-12℃
JIS特3号 軽油	-19℃

*環境や使用状況によって異なります。

●下記の燃料を使用してください。

エンジン	指定燃料
NO4C-VJ	軽油
NO4C-VK	〔超低硫黄軽油 (S10ppm以下)〕

こんなときは

雨の日の運転

■ガラスの曇りを取りたいとき

ガラスが曇って外が見にくいたときは、エアコンを作動させ、吹き出し口切り替えを 、または  にし、内外気切り替えを （外気導入）にしてください。

■フロントガラスの油膜を取るとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにしてください。

夏期の取り扱い・エアコンガスの処理

■シーズン前のエアコンチェック

冷媒（ガス）が不足していると、冷房性能が低下します。

夏になる前に点検、補充をしてください。

■エアコンの上手な使い方

駐車のあと室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけてください。

■炎天下に駐車するときは

ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えてください。

■エアコンガスの処理

エアコンガスは新冷媒HFC134a (R134a)を使用しています。

地球環境を守るために、大気放出しないよう、修理・廃車時の処理はトヨタ販売店にご相談ください。

MEMO



MEMO



MEMO



6 手入れ、メンテナンスデータ

手入れ	200
日頃の手入れ	200
外装の手入れ	200
内装の手入れ	201
エアコンの手入れ	202
簡単な点検、部品交換	204
メンテナンスデータ	227

6

手入れ

日頃の手入れ

車をいつまでも美しく保つためには日頃の手入れが必要です。

- 洗車やワックス掛けなどを行うときは、それぞれの用品に記載されている説明をよく読み、用途や注意事項などを必ずお守りください。
- 月に1度、または水のはじきが悪くなったらワックス掛けを行ってください。
- 塗装のとび石傷やかき傷は腐食の原因となります。見つけたら早めにトヨタ純正タッチアップペイントなどで補修してください。
- 保管・駐車は風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を付着させないでください。塗装を損傷します。万一、付着した場合はただちにふき取る、洗車するなどしてください。
- 次のような場合は塗装の劣化や車体・部品の腐食などを早める原因となります。

ただちに洗車してください。

1b海岸地帯の走行をしたとき

1b凍結防止剤を散布した道路の走行をしたとき

1bコールタール、花粉、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき

1bばい煙、油煙、粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき

1bほこり、泥などで著しくよごれたとき

外装の手入れ

洗車

十分水をかけながら車体、足まわり、下まわりの順番に上から下へとよごれを洗い落とします。

- 車体は、スポンジやセーム皮のような柔らかいもので洗います。

よごれのひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流してください。

はん点が残らないように水をふき取ります。

警告

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などで触れる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

注意

下まわり、足まわりを洗うときは、手にけがをしないように注意してください。



アドバイス

- エンジンルーム内の電気部品に水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。

- 洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。塗装などに傷がつきます。

■高圧洗車機を使用するときは

- ノズルの先端を窓ガラスなどに近づけすぎないでください。近づけすぎると水圧が高いため、室内に水がはいるおそれがあります。
- 駆動系部品（ディファレンシャルギアなど）のベアリングやオイルシール部品に近づけすぎないでください。近づけすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■ランプについて

ランプのレンズ表面をワックス、ベンジンやガソリンなどの有機溶剤でふいたり、硬いブラシなどでこすったりしないでください。

破損したり、劣化を早めることができます。

ワックス

ワックスがけは洗車後、車体の温度が冷えているとき（およそ体温以下を目安としてください。）に行ってください。



アドバイス

目地のある素地部^{*}に塗装用ワックスを使用しないでください。塗装用ワックスが付着すると、目地にはいってとれなくなり、白くなることがあります。

^{*}素地部=塗装されていないアウターミラー・ドアハンドルなどの樹脂部分

内装の手入れ

カークリーナーや電気掃除機などではこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふき取ります。

⚠ 警告

●シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突したときにシートベルトが十分な効果を発揮せず、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあります。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。

●内装（特にインストルメントパネル）の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウィンドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害もしくは死亡におよぶおそれがあります。

⚠ 注意

室内の清掃などで車内に水をかけないでください。オーディオ類やフロアカーペット下の電気部品などに水がかかると火災や故障の原因になるおそれがあります。



アドバイス

- 内装の手入れをするときは、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみの原因になります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 内装の手入れをするときは、艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。
- 芳香剤（液体・固体・ゲル状・プレートタイプなど）を、内装品（エアコン・オーディオなど）に直接触れさせたり、こぼしたりしないよう注意してください。含まれる成分によっては変色やしみ、塗装はがれの原因となるおそれがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは、熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- リヤウインドウデフォッガー付き車では、リヤガラスの内側を掃除するときは、熱線を引っかいたり、損傷させないように気をつけてください。

エアコンの手入れ

■オートエアコン（ヒーター用）、
フロントヒーター

寒冷地仕様車

クリーンエアフィルターがはいっています。

快適にお使いいただくため定期的な清掃、交換をおすすめします。

エアフィルターの清掃、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

清掃、交換の目安

- 清掃…10,000km【5,000km】ごと
- 交換 ………………30,000kmごと

【 】は、多じん地区（大都市・寒冷地など、交通量・粉じんの多い地区）の場合。

■オートエアコン（クーラー用）、 クーラー（リヤ）

クリーンエアフィルターがはいっています。

快適にお使いいただくため、定期的な清掃・交換をおすすめします。

夏季などクーラーをひんぱんに使用するときは、月に一度程度はフィルターの清掃を行うようにしてください。

エアフィルターの清掃、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

清掃、交換の目安

- 清掃…10,000km【5,000km】ごと
- 交換 ………………30,000kmごと

【 】は、多じん地区（大都市・寒冷地など、交通量・粉じんの多い地区）の場合。

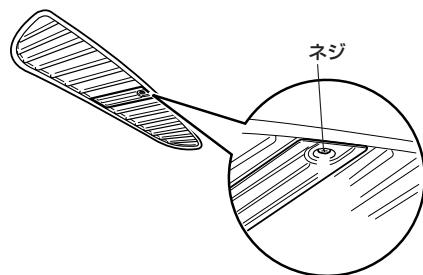


アドバイス

- エアコンの風量が著しく低下したときはフィルターの目詰まりが考えられます。清掃または交換してください。
- フィルターの清掃・交換は、エンジンスイッチを“LOCK”の位置にしてから行ってください。
- クーラーの効きが悪くなったら、フィルターの清掃をしてください。
- 清掃してもクーラーの効きが悪いときはトヨタ販売店で点検を受けてください。
- フィルターには方向性があります。取りつけ方向をまちがえないように取りつけてください。

エンジンスイッチを“LOCK”の位置にします。

ドライバーでカバーのネジをまわしてはずし、カバーを取りはずします。



フィルターの端を持って、取り出します。



水をかけてフィルターのよごれを洗い落とし、しっかり乾かします。

取りはずすまえと同じ向きにフィルターを取り付けます。

カバーを取りつけ、ドライバーでネジをまわして取りつけます。



アドバイス

エアフィルター装着車では、必ずフィルターを装着した状態でクーラーを使用してください。フィルターを装着せずにクーラーを使用すると、故障の原因となることがあります。

簡単な点検、部品交換

⚠ 警告

点検や交換したあとは、工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。万一、置き忘れていると、故障の原因となったり、また、エンジンルーム内は高温になるため火災につながるおそれがあり危険です。

エンジンオイルについて

エンジンオイルの量をときどき点検してください。なお、高速走行（約80km/h以上での連続走行）を行う前には、必ず点検してください。

- LPG車の点検方法については「メンテナンスノート」を参照してください。

⚠ 警告

エンジンオイルを点検・交換するときは、次のことをお守りください。お守りいただかないと重大な傷害ややけどにつながるおそれがあります。

- エンジンを止めてください。
エンジン回転中にベルトやファンなどの回転部分に触れたり付近にいたりすると、手や衣服・工具などが巻き込まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジンオイルの温度が低いときに点検・交換してください。
- エンジンが止まっていても冷却水温が高いときは、エンジンオイルも高温になっており、やけどをするおそれがあり危険です。

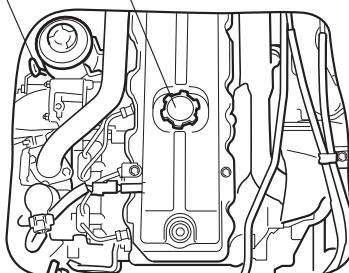
ディーゼル車

■点検のしかた

エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してから点検します。

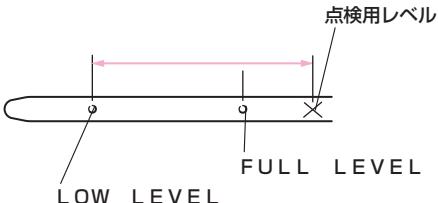
エンジンオイルレベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを布で拭き取ります。

エンジンオイルレベルゲージ
エンジンオイル注入口



再びいっぱいに挿し込んでから静かに抜き取ります。

- オイルがエンジンオイルレベルゲージの点検用レベルとLOW LEVELの間にあれば良好です。



オイルがLOW LEVELを下まわっているときは、FULL LEVELまで補給します。

- オイルが点検用レベルをこえているときは、必ずオイルを交換してください。

点検後は、エンジンオイルレベルゲージを確実に挿し込みます。

⚠ 注意

排出ガス浄化装置の特性上、気候や運転状況によっては、エンジンオイル中に燃料が徐々に混ざる場合があります。このため、エンジンオイルが注入時より増えることがあります。故障ではありません。

⚠ 注意

エンジンを高回転・高負荷で多用している場合は、走行km数にかかわらず早めに交換してください。また、オイルレベル点検時、オイルが著しくよごれていますときも走行km数にかかわらず早めに交換してください。

■エンジンオイルの補給

オイルが不足しているときは、エンジンオイル注入口のキャップをはずし、エンジンオイルを補給します。

補給後、10分ほどしてからエンジンオイルレベルゲージでオイル量を点検します。



アドバイス

エンジンオイルは、レベルゲージの「FULL LEVEL」の位置以上いれないでください。エンジンの故障の原因になります。



知識

エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをする働きがあります。通常の運転をしてもピストンおよび吸・排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるため、オイル量は走行とともに減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。

エンジン冷却水について

寒冷地仕様車・LPG車

必ずトヨタ純正ロングライフケーラントを50%の濃度にしてください。

■エンジンオイルの交換

交換時期については、エンジンの種類によって異なりますので、新車およびオーバーホール後、1,000km走行時に交換した後は、下記の表にしたがって定期的に交換してください。

オイル容量 [L] (参考値)

オイルのみ 交換時充てん量	オイルと オイルフィルター 交換時充てん量
6.3	7.7

交換時期

15,000kmごと

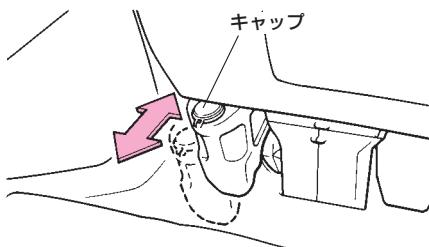
ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャータンクのキャップをはずし、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。

■ウォッシャータンクの位置

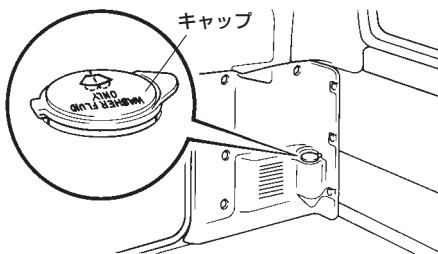
フロント

助手席前部にあります。
補給するときはレールに合わせて手前に引き出します。



リヤ ★

トランク左側にあります。



アドバイス

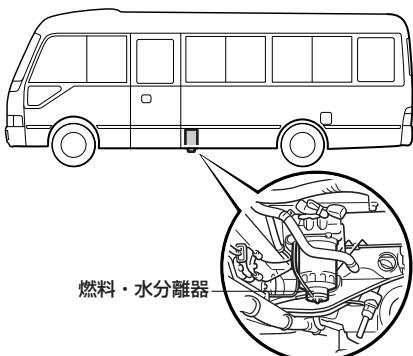
ウォッシャー液のかわりに石けん水などをいれないでください。塗装のしみになることがあります。

燃料・水分離器の排水

ディーゼル車

■燃料・水分離器の位置

燃料・水分離器は助手席側車両中央部にあります。

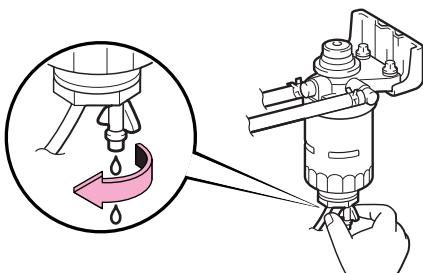


■排水方法

エンジンを停止します。

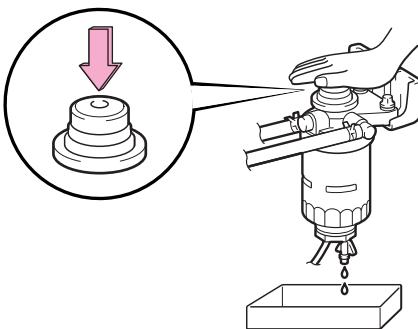
軽油が飛散しないように排出栓の下に受け皿などを置きます。

排出栓を左にまわします。



ポンプを押し、水を排出します。

コップ半分くらいの水を排出します。



排水処理が終わったら、排出栓を確実に締めつけます。

- 排出栓の締めつけは手で行ってください。

ポンプが抵抗を感じるようになるまで数回押します。

レギュレーターのタール抜きについて

LPG車

レギュレーター内にタール分が付着すると、触媒装置の浄化を損なうおそれがあります。定期的なタール抜きを行ってください。

詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

エンジン停止直後のレギュレーターは直接手などで触れないでください。

レギュレーターが高温になっているため、やけどするおそれがあります。

タイヤ

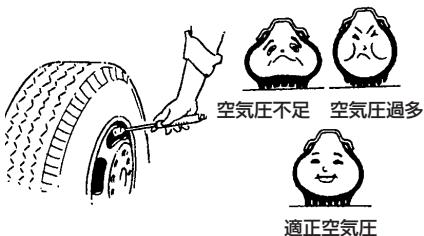
日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。
下記のタイヤの状態を点検します。

- 空気圧
- き裂・損傷
- 溝の深さ
- 異常な摩耗

■空気圧

点検時期
日常点検 3ヶ月ごと（距離項目）

エアゲージでタイヤ（スペアタイヤを含む全輪）の空気圧を点検します。空気圧不良のときは、指定空気圧に調整してください。



⚠ 警告

指定空気圧にしてください。
空気圧が低すぎたり高すぎたりすると、乗り心地が悪くなったり、積荷が傷みやすくなります。また、タイヤの異常摩耗の原因にもなります。
空気圧が著しく低いと、フラットスポットが発生したり、過熱しやすくなりバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●点検・測定および充てん時は、必ずタイヤが冷えているときに行ってください。（走行直後は熱によって空気圧が高くなりますが、決して抜かないでください。）

●空気圧の測定後およびエア充てん後は、はずしたバルブキャップを必ず取りつけてください。

●空気圧は、運転席ドアを開けたボディ側に貼られている「タイヤ空気圧」の表で正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。



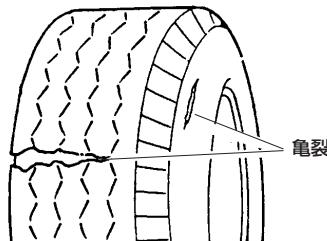
知識

- 指定空気圧でたわみ状態を確認しておくと便利です。
- 正確な点検調整には、タイヤエアゲージとエアコンプレッサーが必要です。

■タイヤのき裂・損傷

点検時期
日常点検 3カ月ごと（距離項目）

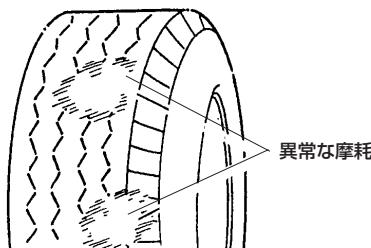
タイヤの接地面全周や側面にき裂や損傷がないかを点検します。また、釘や石などの異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかをタイヤ全周にわたって点検します。



■タイヤの異常な摩耗

点検時期
日常点検 3カ月ごと（距離項目）

タイヤの接地面に異常な摩耗がないかを点検します。



- 異常な摩耗があるときは、トヨタ販売店で点検・整備を受けてください。

- タイヤにき裂・損傷があるときは、新品のタイヤと交換してください。
(タイヤの交換については、254ページ「タイヤを交換するときは」をご覧ください。)

⚠ 注意

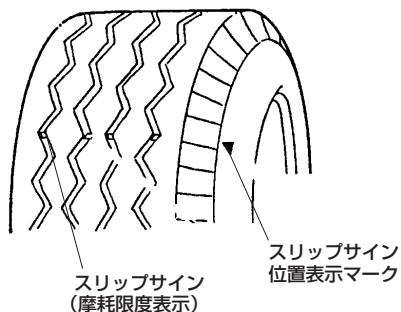
傷がコードに達しているときや、コードが露出しているときは使用しないでください。本来のタイヤ強度がもたれず破損するおそれがあります。

■タイヤの溝の深さ

点検時期
日常点検
3カ月ごと（距離項目）

タイヤの溝が十分に残っているかを点検します。

- 残り溝が少なくなってくると、タイヤのスリップサイン表示（位置）に摩耗限度表示があらわれますので、新品のタイヤと交換してください。
(タイヤの交換については、254ページ「タイヤを交換するときは」をご覧ください。)



⚠ 警告

- スリップサイン（摩耗限度表示）があらわれたときは走行しないでください。スリップしやすくなり非常に危険です。

走 行 路	溝の深さ限度
一般路	1.6₁

- 高速道路を走行するときは、溝の深さを確認してください。溝の深さが規定以下のときは、危険なため走行しないでください。

走 行 路	溝の深さ限度
高速道路	2.4₁

■タイヤローテーション (タイヤ位置交換)

タイヤは道路の状況・積荷・ブレーキ操作・取りつけ位置などによってそれぞれ異なった摩耗をします。また、スペアタイヤは長時間使用しないと変質します。タイヤの摩耗を均等にし、寿命を延ばすために定期的な位置交換をしてください。

タイヤローテーション時期

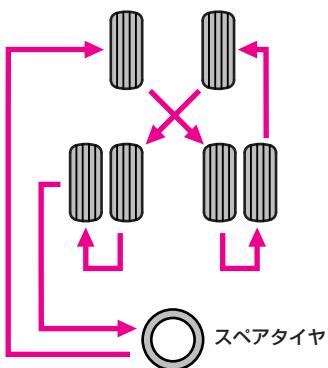
5,000kmごと



知識

- 搭載されているジャッキを使用してタイヤ位置交換を行うときは、スペアタイヤを使用して1輪ずつ交換してください。
- アルミホイール装着車では前後のタイヤにそれぞれ専用の塗装が施されているため、前後のタイヤを入れ替えてローテーションしないでください。

↑車両前方



⚠ 警告

タイヤローテーションを行ったあとは、指定空気圧に調整してください。前後のタイヤで指定空気圧が異なるため、指定空気圧より低いと車両の走行安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。高速時にスタンディングウェーブ現象※によりタイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

※高速で走行しているときに、タイヤが波うつ現象

⚠ 注意

- 日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。(27ページ参照)
- タイヤローテーション後は、初期なじみにより締めつけトルクが低下することがあります。
約50~100km走行後、規定の締めつけトルクでホイール取りつけナットの増し締めを行ってください。
- タイヤの取りつけには、ご使用のディスクホイール専用のホイール取りつけナットおよびストップボルトを使用してください。
- ホイールナットレンチはホイールナットの奥まで深くかけてください。かけかたが浅いと力をかけたとき、ホイールナットレンチが外れかがをするおそれがあります。
- ホイールナットのゆるみおよび締めすぎは、ホイールボルトの折損やディスクホイールのき裂につながり、脱輪の原因になります。
- ダブルタイヤの点検のときは、ホイールナットだけでなくストップボルトも忘れずに締めつけてください。

⚠ 警告

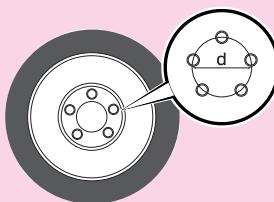
- タイヤ・ディスクホイール・ホイール取りつけナットを交換するときはトヨタ販売店にご相談ください。(39ページ参照)

ディスクホイールは下記の表を参照し、必ず指定サイズで同一種類のものを取りつけてください。指定サイズ以外のタイヤ・ディスクホイールを取りつけると、車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

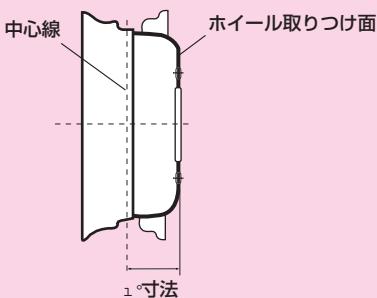
〈ディスクホイールの指定サイズ〉

タイヤサイズ	ディスクホイール		
	リムサイズ	P.C.D. ^{※1} (mm)	オフセット ^{※2} (mm)
215/70R17.5-118/116LLT	17.5× 6.00	203.2 (5穴)	120 (スチール) 127 (アルミ)
215/70R17.5-118/116NLT			
215/70R17.5-112/110LLT			

※1 ホイール取りつけナットを取りつけるボルト中心の円の直径 (d)



※2 ディスクホイールの中心線から取りつけ面までの長さ (1°寸法)



◆ 知識

- ディスクホイールは、リムサイズやオフセットが同じでもほかの車のものが使用できない場合があります。お手持ちのディスクホイールを使用するときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- タイヤやディスクホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

ヒューズの点検、交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れやランプ自体の球切れが考えられます。

次の手順でヒューズの点検、交換を行ってください。

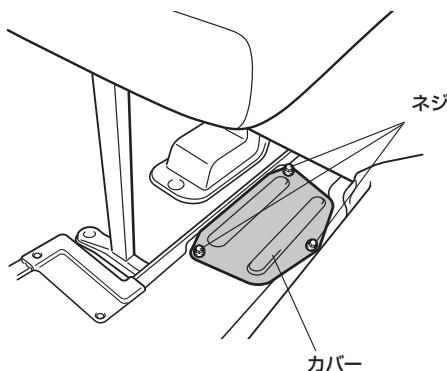
エンジンスイッチを“LOCK”の位置にします。

ヒューズボックスを開けます。

《フロアヒューズボックスA》

助手席うしろの床面に取りつけられています。

ネジ（3カ所）をまわしてはずし、カバーをはずします。

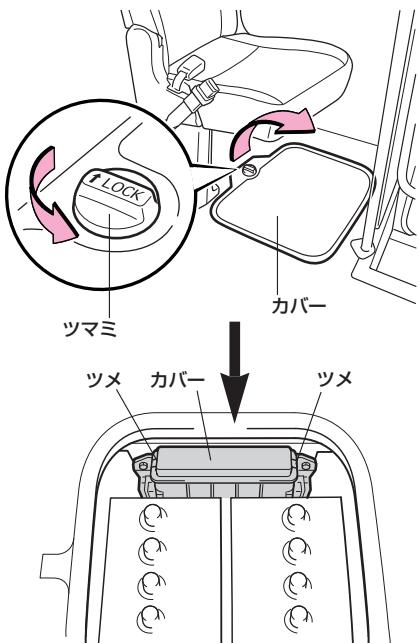


《フロアヒューズボックスB》

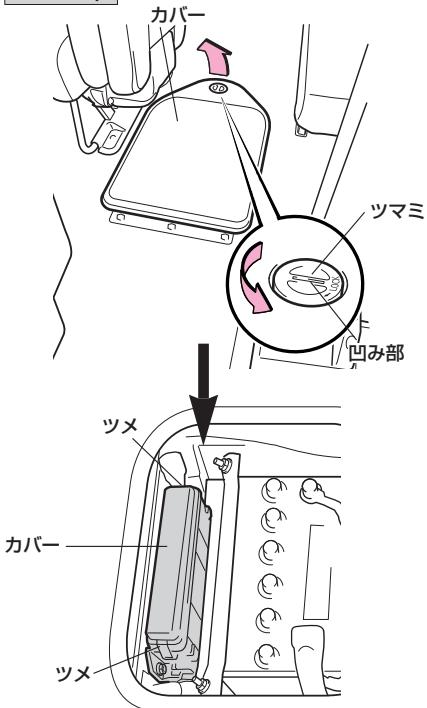
ディーゼル車ではセンタードア後部のカバー、LPG車では通路中央のカバーのツマミをまわしてはずし、ヒューズボックスのカバー両端のツメを開きながらカバーを持ち上げてはずします。

- LPG車はツマミの凹み部にコインなどを差し込んでまわすと、楽にロックをはずせます。

ディーゼル車



LPG車



《インパネヒューズボックス》

カバーのツメを押しながらカバーを持ち上げ、カバーをはずします。

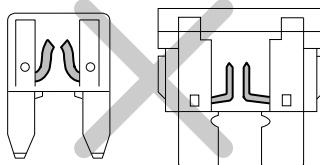


故障の状況から点検すべきヒューズを表（216～219ページ参照）で確認し、ヒューズはずしでヒューズを引き抜き、ヒューズが切れていないかを点検します。

- ヒューズはずしは、インパネヒューズボックス（218ページ）についています。
- ヒューズは車の仕様によりないものもあります。
- 各ヒューズの受け持つ装置は主なものについて記載しています。

ヒューズが切っていたら、表（216～219ページ参照）、またはヒューズボックスの表示にしたがい規定容量のヒューズに交換します。

切れた状態



⚠ 注意

規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱・焼損し、火災になるおそれがあります。



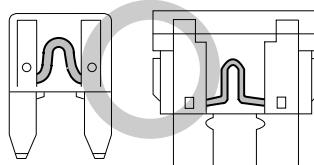
アドバイス

取り替えてもまたヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切っていないとき、または交換してもライト類が点灯しないときは電球切れが考えられます。

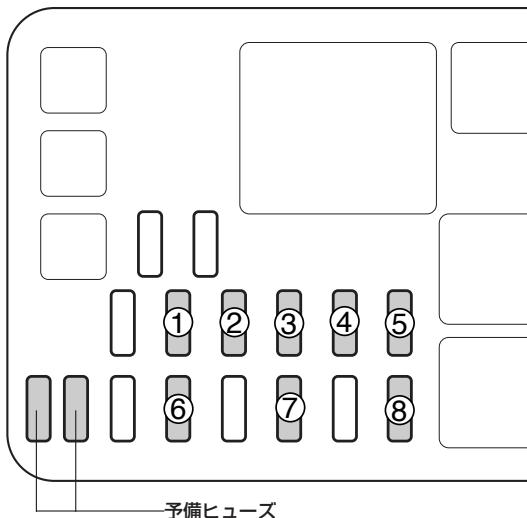
電球を点検し、切れているときは交換してください。

切れない状態



それ以外の電気系統の装置が働かないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

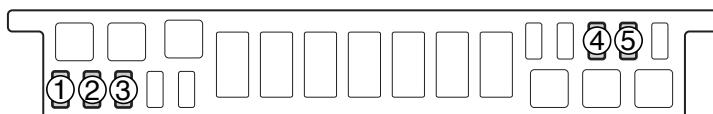
《フロアヒューズボックスA》



ヒューズの受け持つ主な装置名称	アンペア数	ヒューズ名称	
クーリングユニット（モーター）	15A	A	エアコンファンN0.1
	20A※		
クーリングユニット（モーター）	15A	B	エアコンファンN0.2
	20A※		
クーリングユニット（モーター）	15A	C	エアコンファンN0.3
	20A※		
コンデンサーユニット（モーター）	20A	D	コンデンサファンN0.1
	30A※		
コンデンサーユニット（モーター）	20A	E	コンデンサファンN0.2
	30A※		
ヒーター用ウォーターポンプモーター	10A	F	ウォーターポンプ
A B S	20A	G	A B S S U B
	30A※		
リヤウインドウデフォッガー	20A	H	デフォッガ

※ LPG車

《フロアヒューズボックスB》

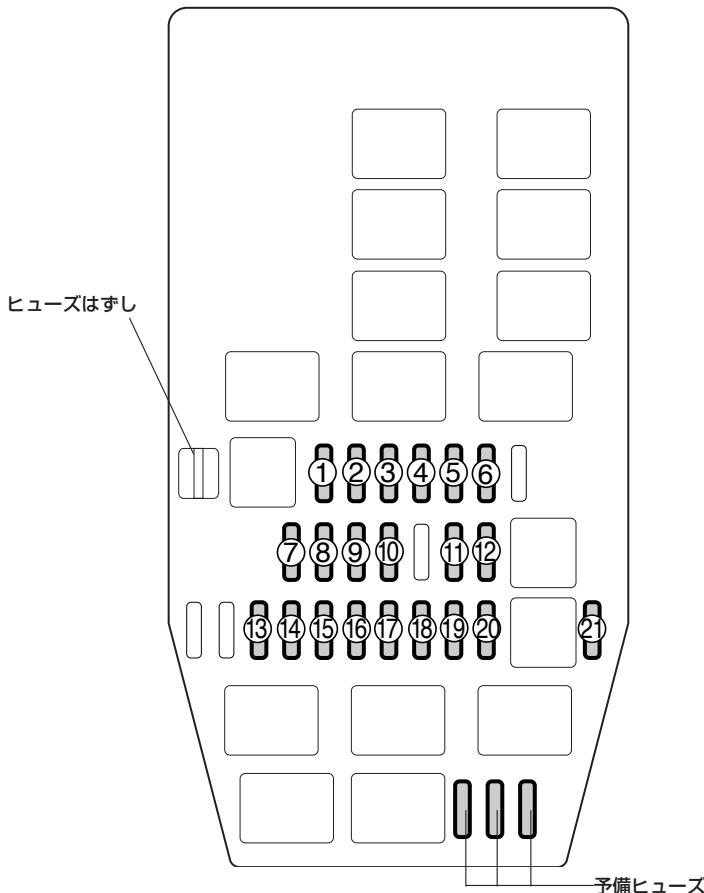


ヒューズの受け持つ主な装置名称	アンペア数	ヒューズ名称	
EDU (ディーゼル車)	15A	A	EDU
LPGインジェクター (LPG車)			EFI
E F I E C U (ディーゼル車)	15A	B	ECD
E F I E C U (ディーゼル車)	7.5A	C	ECD No.2
オルタネーター	7.5A	D	ALT-S
電動格納式補助ステップ ^{※1}	15A	E	STEP
	30A ^{※2}		

※1 電動格納式補助ステップ付き車

※2 LPG車

《インパネヒューズボックス》



ヒューズの受け持つ主な装置名称	アンペア数	ヒューズ名称	
ワイパー＆ウォッシャースイッチ	20A	A	WIPER ワイパ
オートドア、ABS、EFI オルタネータ	15A	B	ECU-IG
オートエアコン、マニュアルエアコン	15A	C	A.C エアコン
メーター、ヒーター、 後退灯、バックブザー	10A	D	GAUGE メータ

ヒューズの受け持つ主な装置名称	アンペア数	ヒューズ名称	
方向指示灯	10A	E	TURN ターン
リヤモニター	10A※1	F	TV テレビ
ミラーヒーター	15A※3	G	M I R H T R
OBDコネクター	7.5A	H	O B D II
ECTコンピューター、エアサスコンピューター、ミラーコントロールリレー	7.5A※1 10A※2	I	ECU-B
室内灯、トランク灯、時計、オーディオ	10A※1 15A※2	J	DOME ルームランプ
A B S E C U、制動灯、ハイマウントストップランプ	15A	K	STOP ストップランプ
フォグランプ	15A	L	FOG フォグランプ
ヘッドライト（左側）	15A	M	HEAD (LH) ヘッドライト（左）
ヘッドライト（右側）	15A	N	HEAD (RH) ヘッドライト（右）
メーター	7.5A	O	MET-IGN メーター
非常点滅灯、ホーン	15A	P	HAZ-HORN ハザード・ホーン
シガレットライター、オーディオ、時計	15A	Q	CIG-RADIO ライター・ラジオ
スイッチ照明、尾灯、車幅灯、センタードアステップランプ	15A	R	TAIL テールランプ
E F I コンピューター	10A	S	IGN イグニッション
E F I コンピューター、スターターリレー	7.5A	T	ST スタータ
ドアロック	20A	U	D/L ドアロック

※1 ディーゼル車

※2 LPG車

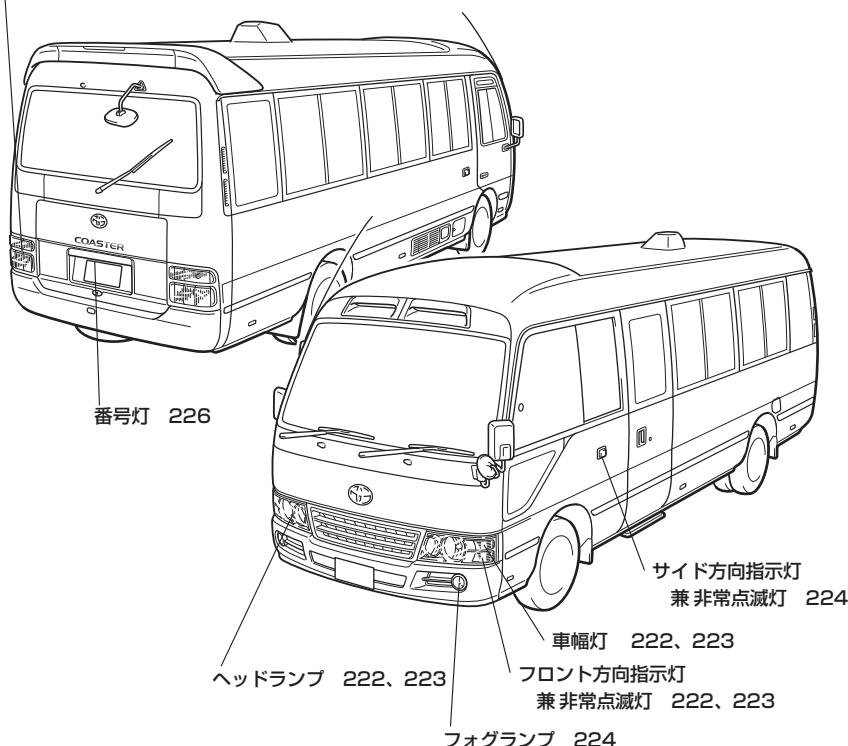
※3 寒冷地仕様車

電球（バルブ）の交換

ここでは主な電球（バルブ）の交換方法を記載しています。記載されていない電球の交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

●ページ数が記載してある電球の交換については、該当ページをお読みください。

リヤ方向指示灯 兼 非常点滅灯、
後退灯、尾灯、制動灯／尾灯 225



⚠ 注意

- ハロゲン電球はガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散る場合がありますので十分注意して取り扱ってください。また、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。
- 電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどするおそれがあります。

知識

ヘッドライト・制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、トヨタ販売店にご相談ください。



アドバイス

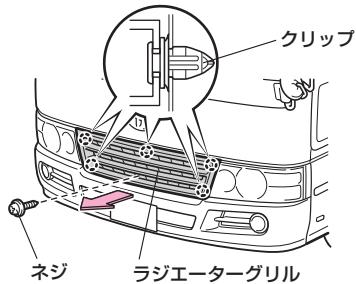
- 必ず同じW数の電球を使用してください。(228ページ参照)
- 電球および電球固定具の取りつけは確実に行ってください。取りつけが不完全な場合、水入りなどによる故障およびレンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。

■ヘッドライト／フロント方向指示灯 兼 非常点滅灯／車幅灯

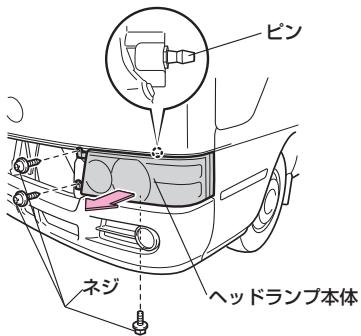
<取りはずし方>

ヘッドライト／フロント方向指示灯／車幅灯は、電球を交換するまえに、の作業を行ってください。

ネジ（1カ所）をまわしてはずしてから、クリップ（5カ所）のかん合をはずし、ラジエーターグリルを取りはずします。



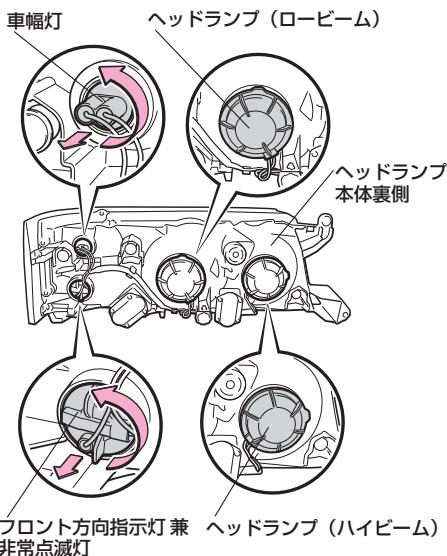
ネジ（3カ所）をまわしてはずしてから、ピン（1カ所）のかん合をはずし、ヘッドライト本体を取りはずします。



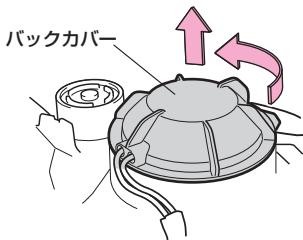
アドバイス

ネジをまわすときにヘッドライトの光軸調整用のネジをまわさないでください。ヘッドライトの光軸がずれるおそれがあります。（102ページ参照）

フロント方向指示灯または車幅灯は、ヘッドライト本体裏側にあるソケットを矢印の方向にまわして取り出し、ソケットから電球を抜き取ります。ヘッドライトは、手順～にしたがって、電球の交換作業を行います。

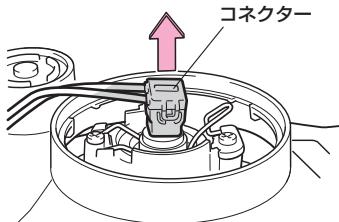


バックカバーを矢印の方向にまわして、取りはずします。

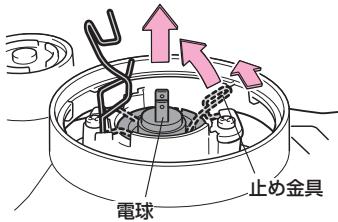


※図は助手席側で説明しています。

コネクターを取りはずします。



止め金具をはずし、電球を取り出します。



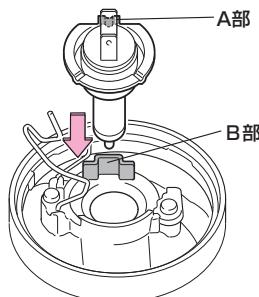
<取りつけ方>

取りはずしたときの逆の手順で取りつけます。

*図は助手席側で説明しています。

△注意

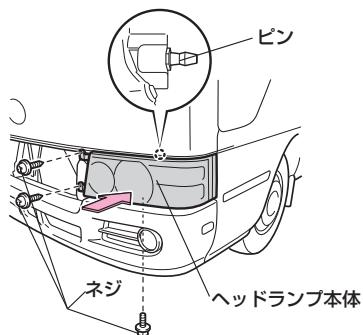
電球を取りつけるときは、図のように電球側のA部とヘッドライト本体側のB部を合わせるようにして、差し込んでください。



<ヘッドライト本体の取りつけ方>

取りはずしたときの逆の手順で取りつけます。

- ヘッドライト本体を取りつけるときは、図のようにピン（1カ所）をボデー側の取りつけ穴に確実に差し込んでください。



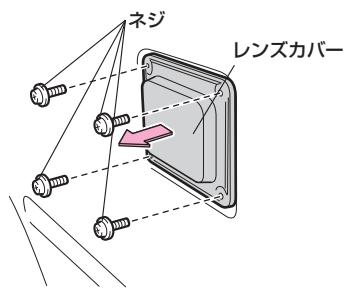
アドバイス

電球を交換したあとは、トヨタ販売店でヘッドライトの光軸の点検を受けてください。

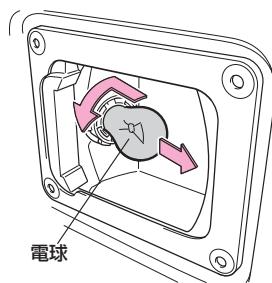
■サイド方向指示灯 兼 非常点滅灯

<取りはずし方>

ネジ（4カ所）をまわしてはずし、レンズカバーを取りはずします。



電球をソケットから押しながらまわして、引き抜きます。



<取りつけ方>

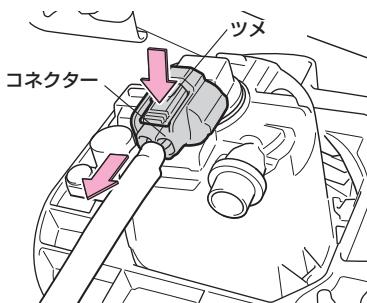
取りはずしたときの逆の手順で取りつけます。

■フォグランプ

[フォグランプ装着車]

<取りはずし方>

ツメを押して、コネクターを取りはずします。



電球を矢印の方向にまわして、取りはずします。



<取りつけ方>

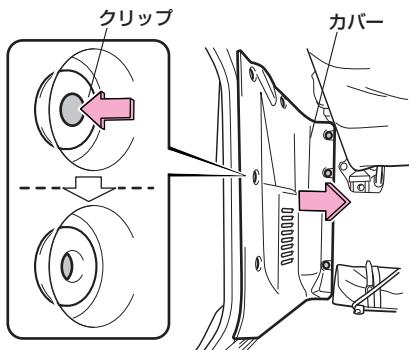
取りはずしたときの逆の手順で取りつけます。

■リヤランプ

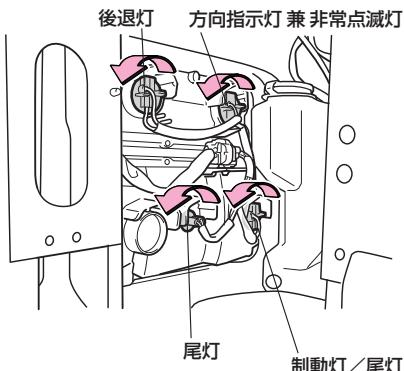
<取りはずし方>

クリップ（7カ所）をはずし、カバーを取りはずします。

- クリップをはずすときは、中央（下図○部分）を押し込んでください。



本体からソケットをまわして取り出します。



尾灯以外は、電球をソケットから押しながらまわして、引き抜きます。

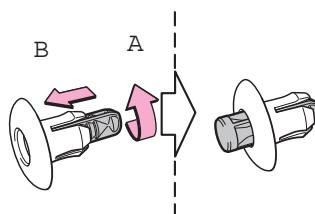
尾灯は、電球をソケットから引き抜きます。

<取りつけ方>

電球を取りはずしたときの逆の手順で取り付けます。

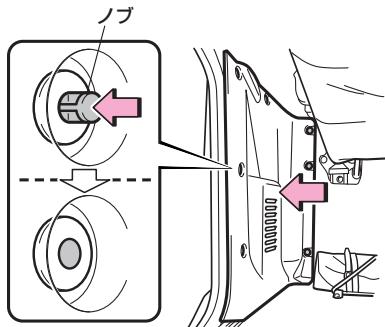
クリップを取りつける前に、クリップ中央部を引き出します。

- クリップ先端をねじりながら押し込むと、クリップ中央部が引き出せます。



カバーをもとの位置にもどして、クリップで固定します。

- クリップのノブを押し込み、カバーを確実に固定してください。

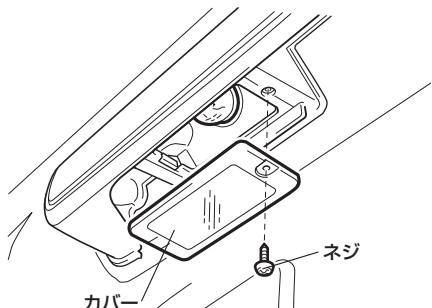


■番号灯

観音扉ドア

<取りはずし方>

ドライバーなどでネジをまわしては
ずし、カバーを取りはずします。



電球を押しながらまわして、引き抜
きます。

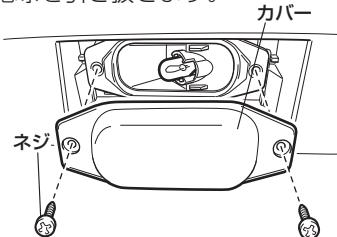
<取りつけ方>

取りはずしたときの逆の手順で取りつけ
ます。

トランク

ドライバーなどでネジをまわしては
ずし、カバーを取りはずします。

電球を引き抜きます。



<取りつけ方>

取りはずしたときの逆の手順で取りつけ
ます。

メンテナンスデータ

項目		メンテナンスデータ		
ブレーキ ペダル	遊び [mm] (負圧なしの状態)	1~6		
	踏み込んだときの 床板とのすき間 [mm] 〔踏力490N {50kg f }〕 (エンジンONの状態)	45以上		
クラッチ ペダル	遊び [mm]	10~25		
	クラッチが切れたときの床板と のすき間 [mm] ※	25以上		
パーキング ブレーキ	引きしろ [ノッチ] 〔操作力196N {20kg f }〕	6~8		
Vベルト	オルタ ネーター	たわみ量 [mm] 〔押力98N {10kg f }〕(冷間時)	ディーゼル車	新品時 10.5~12.5 点検時 12~13
			LPG 車	新品時 12~16 点検時 14~19
			ディーゼル車	新品時 8.6~10.6 点検時 10.7~12.1
			LPG 車	新品時 9~11 点検時 11~15

※ クラッチが切れた位置からクラッチペダルを床いっぱいまで踏み込んだ位置までの動き量

ディーゼル車では、24V用のバルブを使用し、LPG車では12V用のバルブを使用してください。

(ただし、ディーゼル車のフォグランプは12V用のバルブを使用してください。)

項目	メンテナンスデータ W(ワット)数
電球	ヘッドライト ディーゼル車（ロービーム／ハイビーム） 70W／70W LPG車（ロービーム／ハイビーム） 55W／55W フォグランプ★ 55W フロント方向指示灯兼非常点滅灯 21W 車幅灯 5W サイド方向指示灯兼非常点滅灯 21W 番号灯 5W 制動灯／尾灯 21／5W 尾灯 5W リヤ方向指示灯兼非常点滅灯 21W 後退灯 21W リヤホイール灯★ ディーゼル車 12W LPG車 10W 室内灯 蛍光灯（ディーゼル車） 10W 白熱灯 ディーゼル車 12W LPG車 10W スポットランプ★ 5W トランク灯★ 5W ドアカーテシランプ 5W センタードアステップランプ ディーゼル車 3W LPG車 5W

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

冷却水・油脂類の容量と銘柄

使用するオイルや液類の品質により、自動車の寿命は著しく左右されます。トヨタ車には、最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

項 目		容量 [L] (参考値)	指 定 銘 柄
ウォッシャータンク	フロント	2.7	—
	リヤ	1.3	
燃料（ フューエルタンク）	ディーゼル車	95	超低硫黄軽油(S 10ppm以下)
	LPG車	122	L P G オートガス
冷 却 水	ディーゼル車	リヒート 機構なし 17.2 <17.5> [22.0]	トヨタ純正スーパー ロングライフケーラント ●凍結保証温度 濃度30% -12℃ 濃度50% -35℃
		リヒート 機構付き 18.2 <18.5> [23.0]	
	LPG車	18.0	※寒冷地仕様車、LPG車 は190ページをご覧ください。

※ <> は、寒冷地仕様車のパワーヒータースイッチなし車

[] は、寒冷地仕様車のパワーヒータースイッチ付き車

項 目	容量 [L] (参考値)	指 定 銘 柄
オートマチックトランスマッision フルード	11.9	トヨタ純正 オートフルードタイプT-IV
マニュアルトランスマッisionオイル	ディーゼル車	3.0
	LPG車	3.2
ディファレンシャルオイル	3.8	トヨタ純正ハイポイド ギヤオイルSX (API GL-5, SAE 85W-90)
パワーステアリングフルード	1.5	トヨタ純正 パワーステアリングフルード
クラッチフルード	—	トヨタ純正 ブレーキフルード2500H-A
ブレーキフルード		

項 目		容量 [L] (参考値*)		指 定 銘 柄
エンジンオイル	N04C-VJ N04C-VK (ディーゼル車)	オイルのみ 交換時充てん量	6.3	トヨタ純正ディーゼルオイル DH-2 10W-30 (JASO DH-2 ガイドライン)
		オイルと オイルフィルター 交換時充てん量	7.7	
	1BZ-FPE (LPG車)	オイルのみ 交換時充てん量	7.8	トヨタキヤッスルモーターオイル SN 5W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30) トヨタキヤッスルモーターオイル SN 10W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30)
		オイルと オイルフィルター 交換時充てん量	8.6	

* エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

■指定エンジンオイル

ディーゼル車

下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。

外 気 温 (°C)



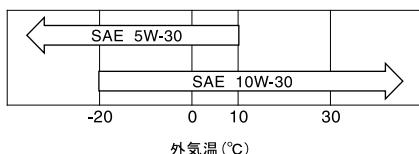
LPG車

API規格SN／RC、SM／EC、SL／ECか、ILSAC規格に合致したオイルをご使用ください。

なお、ILSAC規格合格油の缶にはILSAC CERTIFICATION(イルサック サーティフィケーション)マークがついています。



下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



■タイヤ空気圧

日常点検として必ずタイヤ空気圧を点検してください。(27ページ参照)

指定空気圧は、運転席ドアに貼られている「タイヤ空気圧」の表をご覧ください。

名称	車両形状	型式 (ボディタイプ)	エンジン	駆動方式	グレード
トヨタ コースター	バス (幼児車 を除く)	X ZB40 (標準)	N04C-V J (4.0L ディーゼ ルターボ)	F R (後輪駆動)	L X
		X ZB50 (ロング)			G X
		X ZB51 (ロング)			L X
		X ZB50 (ロング)			G X
		X ZB51 (ロング)			E X
		B ZB40 (標準)			G X
		B ZB50 (ロング)	1BZ-F PE (4.1L LPG)		E X
	バス (幼児車)	X ZB40 (標準)	N04C-V J (4.0L ディーゼ ルターボ)		L X
		X ZB50 (ロング)			クーラー付 幼児車
	バン	X ZB46V (標準)			L X
		X ZB56V (ロング)			

MEMO



MEMO



MEMO



7

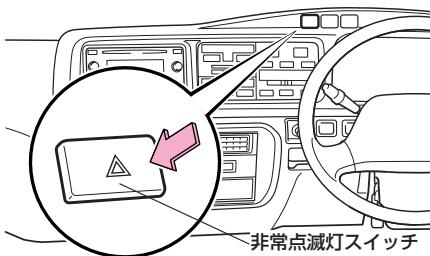
万一のとき

路上で故障したときは	238
路上で故障したときは	238
エンストで始動できなくなったときは	238
非常に時に車内から脱出するときは	239
幼児車では	239
発炎筒、消火器、工具、スペアタイヤの取り扱い	240
発炎筒	240
消火器	241
工具、ジャッキの取り扱い	242
スペアタイヤ	250
タイヤを交換するときは	254
タイヤ交換をするまえに	254
タイヤ交換	255
オーバーヒートしたときは	260
バッテリーがあがつたときは	262
けん引について	265
事故が起きたときは	267
車両を緊急停止するには	268

路上で故障したときは

路上で故障したときは

- 車を路肩に寄せ、非常点滅灯を点滅させます。
故障などでやむを得ず、路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。メーター内の方向指示表示灯も点滅します。



- 高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板または停止表示灯を置いてください。
(法的にも義務づけられています。)



- 緊急を要するときは発炎筒で合図します。
- 困ったときは、トヨタ販売店へご連絡ください。
「メンテナンスノート」のサービス網／お客様相談テレホン網をご覧ください。

エンストで始動できなくなったときは

注意

踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。
緊急を要するときは発炎筒を使用してください。

次の方法で安全な場所まで移動してください。

- 付近に人がいるときは押してもらう。(シフトレバーは d の位置で)
- マニュアル車はシフトレバーを（でもよい）または g の位置にして、クラッチペダルを踏まずにエンジンスイッチを“START”の位置で保持すれば、緊急避難的に車を動かすことができます。
オートマチック車はできません。

非常時に車内から脱出するときは

幼児車では

■非常ドア

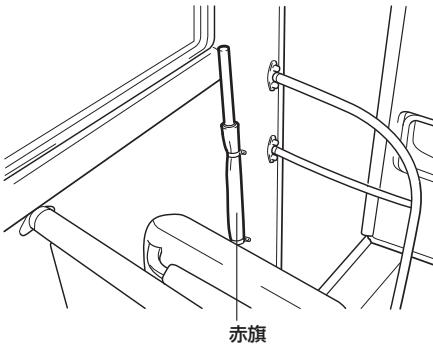
万一の場合は非常ドアを使用して、車内および車外へ出はいりすることができます。

非常ドアの開閉のしかたは81ページの「非常ドア」を参照してください。

■赤旗（レッドフラッグ）

緊急時や交通量が多い場所での幼児の乗りおりに使用します。

- センタードアのうしろ側にあります。



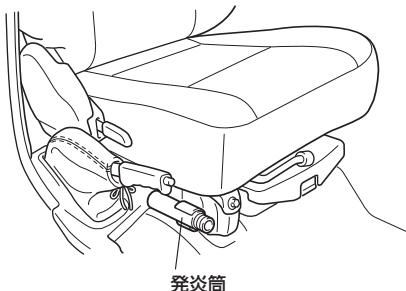
発炎筒、消火器、工具、スペアタイヤの取り扱い

発炎筒

- 発炎時間は約5分間ですので非常点滅灯を併用してください。
- 発炎筒には有効期間があります。本体に表示してある有効期間の切れる前にトヨタ販売店でお求めください。

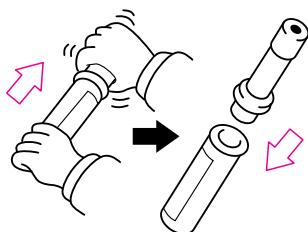
■格納場所

運転席足元にあります。



■発炎筒の使い方

本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



キャップの頭部のすり薬でこすると着火します。



警告

- 発炎筒をお子さまにはさわらせないでください。いたずらなどにより発火し、思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 発炎筒をガソリンなどの可燃物の近くで使用しないでください。引火して、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 発炎筒を使用中は顔や体に向けたり、近づけたりしないでください。やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

注意

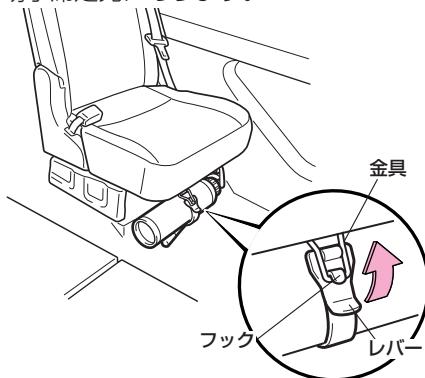
発炎筒をトンネル内などで使用しないでください。煙で視界を悪くするので、トンネル内などでは非常点滅灯を使用してください。

消火器

■格納場所

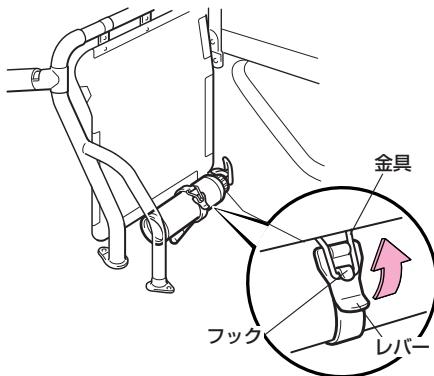
バス（幼児車を除く）

助手席足元にあります。



バス（幼児車）

運転席ガード前部にあります。



■消火器の取り出し方

レバーを引いて、金具をフックからはずします。

使用方法は消火器のラベルに表示しています。

よく読んで万一に備えてください。



知識

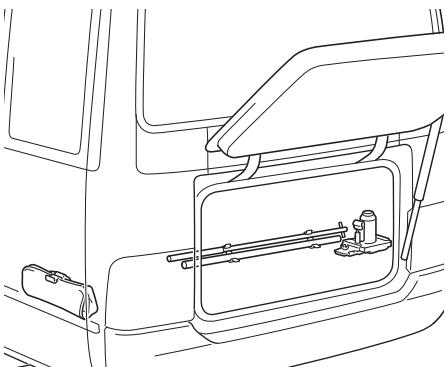
有効期限が記載されていますので、期限が過ぎる前に交換してください。

工具、ジャッキの取り扱い

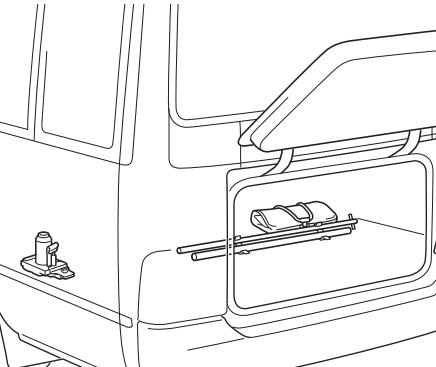
■格納場所

工具・工具袋とジャッキは下記の位置にあります。

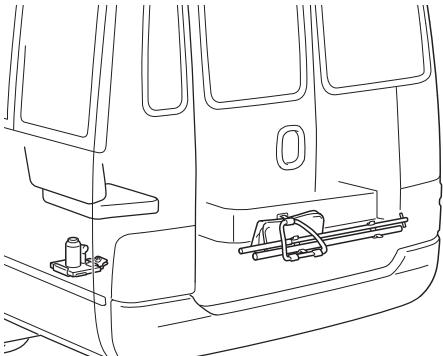
バス（幼児車を除く）タイプA



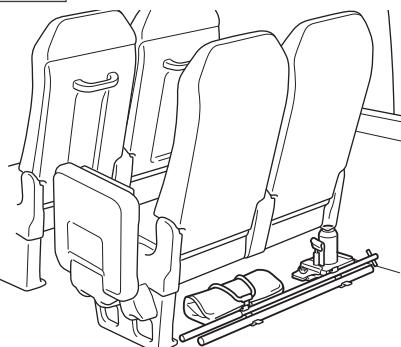
バス（幼児車を除く）タイプB



バス（幼児車）



バン

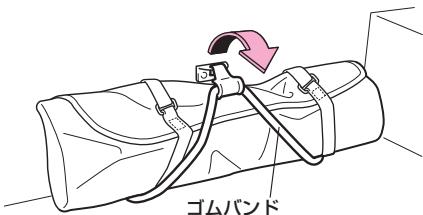


⚠ 注意

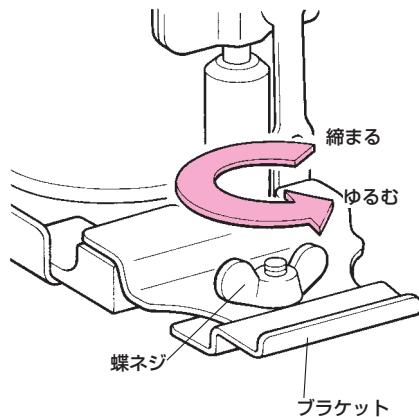
- 搭載工具やジャッキを使用したあとは、決められた場所に確実に格納してください。室内などに放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車に搭載されているジャッキはタイヤ交換やタイヤチェーン脱着以外、使用しないでください。
- 車に搭載されているジャッキは、お客様の車専用です。ほかの車に使用したり、ほかの車のジャッキをお客様の車に使用しないでください。ジャッキの取り扱いを誤ると思わぬ事故につながるおそれがあります。

■工具袋の取り出し方

ゴムバンドをはずして、工具袋を取り出します。

**■ジャッキの取り出し方**

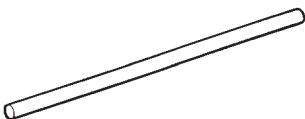
蝶ネジをゆるめてはずします。



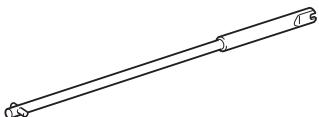
格納するときは、ブラケットにかみ合わせ蝶ネジを締めます。

■工具

ホイールナットレンチバー

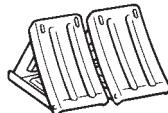


ジャッキハンドルバー

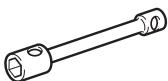


工具袋の中には以下のものがはいっています。

輪止め（2個）



ホイールナットレンチ

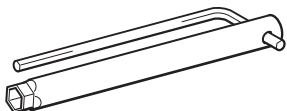


スペアタイヤ格納用ハンドル



●以下のものはLPG車のみはいってい
ます。

プラグレンチ



スパナ (2本)



■ジャッキアップするまえに

交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。

パーキングブレーキをしっかりかけます。

マニュアル車は、エンジンを止め、シフトレバーをgの位置にします。オートマチック車はシフトレバーをeの位置にし、エンジンを止めます。

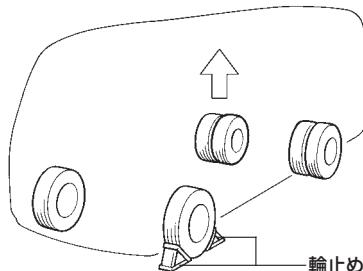
必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

輪止め、ジャッキ、ジャッキハンドルバーを用意します。（242、244ページ参照）

■車体を持ち上げるときは

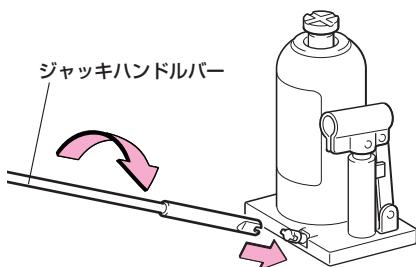
ジャッキアップする位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 前輪を持ち上げるときは後輪の前後に、後輪を持ち上げるときは前輪の前後に輪止めをします。（図は右側後輪を持ち上げる場合を示しています。）

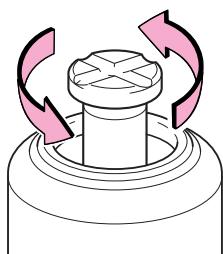


地面の平らな固くて安定したところにジャッキを置きます。

ジャッキハンドルバーをジャッキの下図の位置に差し込み、右にいっぽいにまわします。

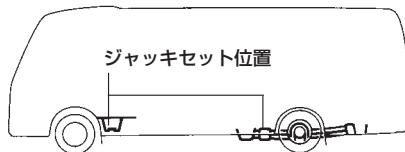


ジャッキ頭部を手で左にまわして車体のジャッキセット位置まで上げます。

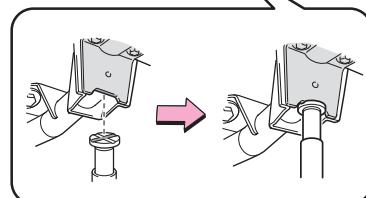
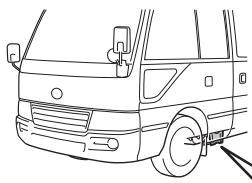


ジャッキをジャッキセット位置にかけます。

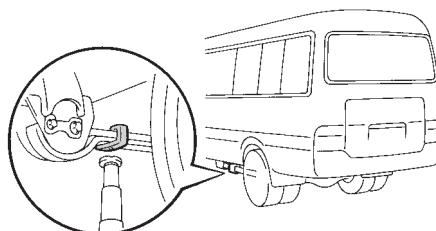
- ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認します。



■フロント



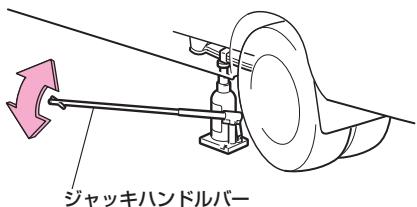
■リヤ



知識

4輪エアサスペンション装着車はジャッキセット位置にジャッキを挿入できないとき、一度エンジンをかけ約2~3分後にエンジンを停止してから挿入してください。

ジャッキハンドルバーをジャッキの下図の位置に差し込み、上下に動かしてタイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。



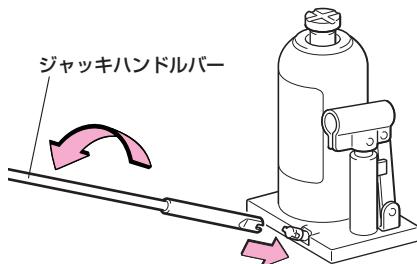
⚠ 警告

必ず以下のことをお守りください。
お守りいただかない場合、車体を損傷させたり、ジャッキがはずれ、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジャッキアップしているときはエンジンをかけないでください。エンジンの振動でジャッキがはずれたり、車が動き出すなど思わぬ事故につながり、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ジャッキアップするときは、平らな場所に車を止め、対角の位置にあるタイヤに必ず輪止めをしてください。
- ジャッキが確実に車体のジャッキセット位置にかかっていることを確認してください。
- 車体はタイヤ交換に必要な高さだけ持ち上げてください。
- 人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- ジャッキアップするときはジャッキの上や下に物を挟まないでください。
- ジャッキアップした車体をおろすときは、作業者自身や周りの人が手や足などを挟み、生命にかかる重大な傷害を受けるおそれがあり危険ですので、周囲を確認し、十分に注意しながら作業をしてください。
- 4輪エアサスペンション装着車はジャッキアップ時、必ずエンジンを止めてください。エンジンスイッチを“ON”の位置のままにしておくと、車高がわり思わぬ事故につながるおそれがあります。

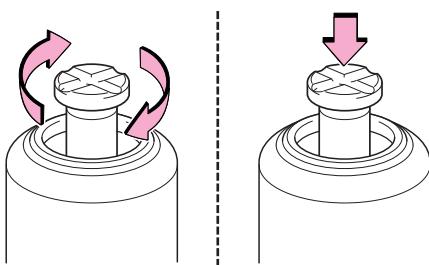
■車体をおろすときは

ジャッキハンドルバーをジャッキの下図の位置に差し込み、左にいっぱいにまわします。



ジャッキをななめにして、取り出します。

ジャッキ頭部を手で右にまわしてねじ込んでから、手で押しておろします。



スペアタイヤ

⚠ 注意

- 必ずスペアタイヤの点検を行い、異常があるスペアタイヤは装着しないでください。なお、指定空気圧は、運転席ドアを開けたドア側に貼られている「タイヤ空気圧」の表で正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。
- スペアタイヤを格納したときは、タイヤが確実に固定されたことを確認してください。固定されていないとタイヤががたつき、走行中にはずれるおそれがあります。
- スペアタイヤは、ジャッキアップする前に格納具から取りはずしてください。
- 格納具からスペアタイヤを取りはずすときは、足の上などに落とさないようにゆっくりとおろしてください。足などを挟みけがをするおそれがあります。

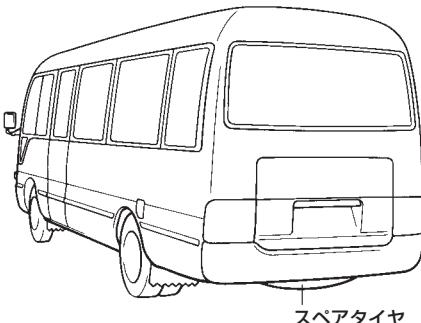


知識

アルミホイール装着車では、前後のタイヤにそれぞれ専用の塗装が施されています。アルミホイール装着車には前輪用スペアタイヤが搭載されており、このタイヤを応急用として後輪に取りつけることはできますが、できるだけ早く正しいサイズのタイヤと交換してください。

■格納場所

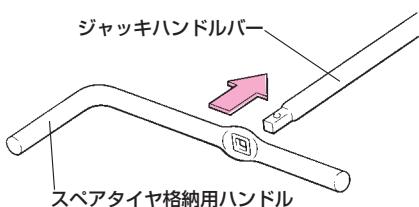
トランク下にあります。



スペアタイヤ

■取り出し方

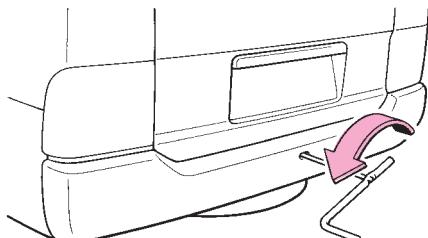
ジャッキハンドルバーをスペアタイヤ格納用ハンドルの穴部に確実に差し込みます。



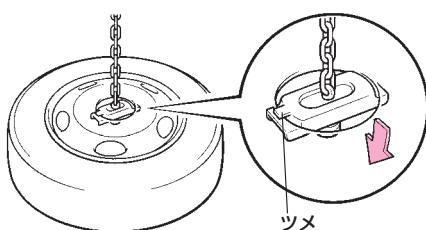
ジャッキハンドルバー

スペアタイヤ格納用ハンドル

ジャッキハンドルバーをスペアタイヤ格納具の穴部に差し込みます。

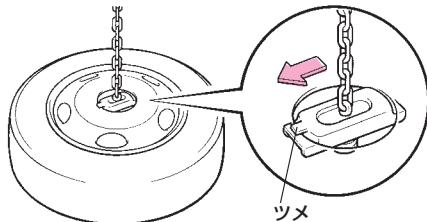


スペアタイヤ格納用ハンドルを左にまわしてスペアタイヤをおろします。
格納具を足の上などに落とさないように注意して、地面におろします。
アンカープレートのツメをスペアタイヤの穴部からはずして、スペアタイヤを取り出します。

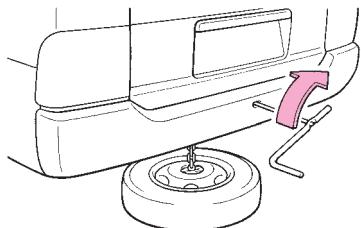


■格納するときは

アンカープレートのツメをスペアタイヤの穴部に取りつけます。



ジャッキハンドルバーをスペアタイヤ格納具の穴部に差し込みます。



スペアタイヤ格納用ハンドルを右にまわしてスペアタイヤを巻き上げます。

- タイヤが地面から離れたときに、アンカープレートのツメがスペアタイヤの穴部に確実に取りつけられていることを確認してください。
- タイヤをいっぱいまで巻き上げたあと十分に締めつけ、タイヤが確実に固定されていることを確認してください。その後、ジャッキハンドルバーを逆方向へ動かさずに抜いてください。

MEMO



タイヤを交換するときは

タイヤ交換をするまえに

⚠ 警告

- ディスクホイール取りつけボルト、ナットおよびストップボルトのネジ部や、ディスクホイールのボルト穴につぶれやき裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店などで点検を受けてください。つぶれやき裂などの異常があると、ナットやストップボルトを締めづけても十分に締まらず、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ナットを取りつけるときは、必ずテーパー部を内側にして取りつけてください。(39ページ参照)

⚠ 注意

- タイヤ・ディスクホイール・ホイール取りつけナットを交換するときはトヨタ販売店にご相談ください。(39ページ参照)
- 日常点検として必ずタイヤの点検を行ってください。(27ページ参照)



アドバイス

傷、変形があるディスクホイール・ホイール取りつけナットなどは使用しないでください。

交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に移動します。

パーキングブレーキをしっかりとかけます。

マニュアル車はエンジンを止め、シフトレバーを の位置にします。オートマチック車はシフトレバーを の位置にし、エンジンを止めます。

必要に応じて非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板（または停止表示灯）を使用します。

輪止め、ホイールナットレンチ、ホイールナットレンチバー、ジャッキ、ジャッキハンドルバーを用意します。(242ページ参照)

必要により、スペアタイヤを用意します。

タイヤ交換

この車両には、スペアタイヤが搭載されています。パンクしたタイヤは、備え付けのスペアタイヤと交換してください。

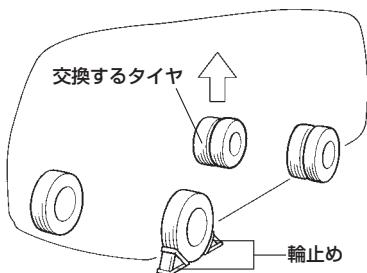
リヤホイール灯★

ライトスイッチをONの位置にすると、点灯します。

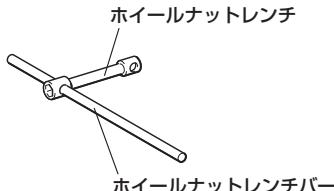
タイヤを取りはずすときは

交換するタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 前輪を持ち上げるときは後輪の前後に、後輪を持ち上げるときは前輪の前後に輪止めをします。



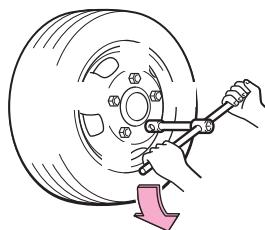
ホイールナットレンチバーをホイールナットレンチの穴部に確実に差し込みます。



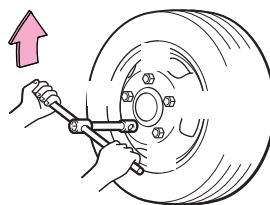
- フロントタイヤ・リヤ外側タイヤを交換するときは六角側を、リヤ内側タイヤを交換するときは四角側を使用します。

ホイールナットレンチの六角部（ホイール取りつけナット用）を使用して、図の順序でホイール取りつけナットを右側タイヤは左に、左側タイヤは右にまわし、手で少しまわるくらいまでゆるめます。

右側タイヤ

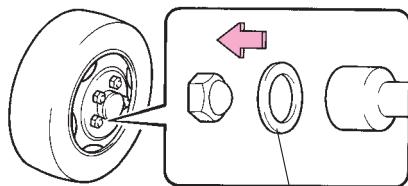


左側タイヤ

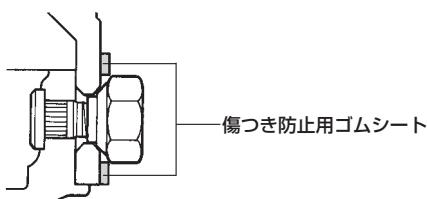


★印はグレード等により装着の有無が異なります。

- アルミホイール装着車のフロントタイヤは、ホイール取りつけナットをゆるめる前に、必ず傷つき防止用ゴムシート（運転席ドアボックスに収納してあります。）をナットに取りつけてください。



傷つき防止用ゴムシート

断面図

リヤ内側タイヤを取りはずす場合は、ホイールナットレンチの四角部（トップボルト用）を使用して、ホイール取りつけナットをはずす場合と同じ順序でトップボルトを右側タイヤは左に、左側タイヤは右にまわし、手で少しまわるくらいまでゆるめます。

交換するタイヤに近いジャッキセット位置にジャッキをセットし、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキアップします。（246ページ参照）

手でホイール取りつけナットを右側タイヤは左に、左側タイヤは右にまわして、取りはずします。

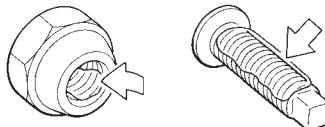
Aタイヤを取りはずします。

- アルミホイールを直接地面に置くときは、傷がつかないように意匠面を上にして置いてください。

リヤ内側タイヤを取りはずす場合は、リヤ外側タイヤを取りはずしたあと、手でトップボルトを右側タイヤは左に、左側タイヤは右にまわして、取りはずし、タイヤを取りはずします。

タイヤを取りつけるときは**■タイヤを取りつけるまえに**

ホイール取りつけナット、およびトップボルトのネジ部にエンジンオイルを塗布します。

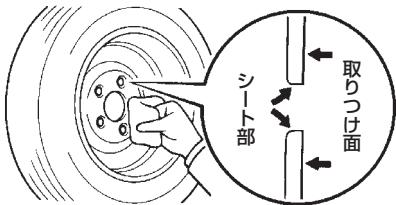
**⚠ 注意**

タイヤを取りつけるときは、ホイール取りつけナット、およびトップボルトのネジ部にエンジンオイルを塗布してください。塗布しないと、ナットを締めづけても十分に締まらず、ディスクホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**アドバイス**

エンジンオイルはネジ部以外に付着すると締めづけるとき工具がすべるなど作業性が悪くなります。

ディスクホイールのシート部やディスクホイール裏側の取りつけ面のよごれをふき取ります。

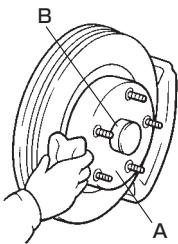


!**注意**

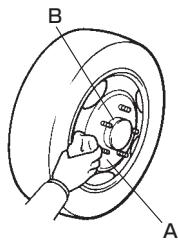
ディスクホイールのシート部やディスクホイール裏側の取りつけ面がほこりなどでよぎれていると、走行中にホイール取りつけナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。

図のA・B面のよごれをふき取ります。

フロント・リヤ内側



リヤ外側



- ホイール取りつけナット、ストップボルトには右側用と左側用があります。間違えないように取りつけてください。

	右側用	左側用
フロント ホイール取りつけナット		
リヤ ホイール取りつけナット	(金色) 	(銀色)
ストップボルト		

■タイヤを取りつけるときは

リヤ内側タイヤを取りはずした場合は、リヤ内側タイヤを取りつけます。

- アルミホイールは、■タイヤを取りつけるまえに のBの部分（257ページ）に確実にはめ込みます。

リヤ内側タイヤを取りつける場合は、手でストップボルトを右側タイヤは右に、左側タイヤは左にまわして、仮締めします。

タイヤを取りつけます。

- アルミホイールは、前ページの■タイヤを取りつけるまえに のBの部分に確実にはめ込みます。

- リヤ外側タイヤは、リヤ内側タイヤのバルブ（空気口）が見える位置になるように取りつけます。

タイヤががたつかない程度まで、手でホイール取りつけナットを右側タイヤは右に、左側タイヤは左にまわしまわして、仮締めします。

- ホイール取りつけナットのテーパー部がディスクホイールのシート部に軽く当たるまでまわします。



アドバイス

アルミホイール装着車のフロントタイヤは、ホイール取りつけナットを取りつける前に、必ず傷つき防止用ゴムシートをナットに取りつけてください。（256ページ参照）



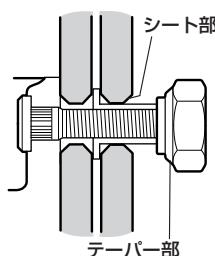
知識

アルミホイール装着車にスチールホイールを装着することはできません。

車体をおろします。

ホイールナットレンチの四角部（ストップボルト用）を使用して、ホイール取りつけナットを取りつける場合と同じ順序（次ページ参照）でストップボルトを右側タイヤは右に、左側タイヤは左にまわし、2~3度にわたり十分締めつけます。

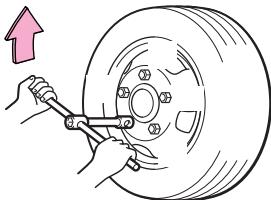
- リヤ外側タイヤのみを取りつけるときも、リヤ内側タイヤのストップボルトを締めつけてください。



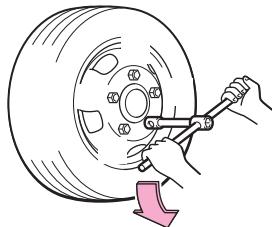
ホイールナットレンチの六角部（ホイール取りつけナット用）を使用して、図の順序でホイール取りつけナットを右側タイヤは右に、左側タイヤは左にまわし、2~3度にわたり十分締めつけます。

締めつけトルク：
約515N・m {5250kg f · cm}

右側タイヤ



左側タイヤ



△注意

- ホイールナットレンチはホイールナットに十分深くかけてください。ホイールナットレンチのかけ方が浅いと、締めつけるときにレンチがはずれてしまうことがあります。
- ホイールナットレンチをパイプなどを使用して必要以上に締めつけないでください。タイヤを取りつけるボルトが折れることがあります。
- ディスクホイールやストップボルトおよびホイール取りつけナット交換後、またはタイヤローテーション後は、初期なじみにより締めつけトルクが低下することがあります。
約50~100km走行後、規定の締めつけトルクでホイール取りつけナットの増し締めを行ってください。
- タイヤの取りつけには、ご使用のディスクホイール専用のホイール取りつけナットおよびストップボルトを使用してください。

工具、ジャッキ、タイヤを片づけます。

▲タイヤ空気圧を点検します。
(27ページ参照)



アドバイス

走行中にハンドルや車体に振動が出た場合は、トヨタ販売店でディスクホイールのバランスの点検を受けてください。

オーバーヒートしたときは

こんな状態が、オーバーヒートです。

- 水温計の針がレッドゾーンにはいったり、エンジンの出力が低下する。
- 車両下側から蒸気が立ちのぼる。

警告

- 車両下側から蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでエンジン点検口を開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
また、蒸気が出ていない場合でも高温になっている部分があります。エンジン点検口を開けるときは十分注意してください。
- ラジエーターや補助タンクが熱いときはキャップをはずさないでください。蒸気や熱湯が吹き出してやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。キャップを開けるときは、ラジエーター や補助タンクが十分に冷えてから、布きれなどでキャップを包みゆっくりと開けてください。

■処置のしかた

車を安全な場所に止めます。エアコンを使用しているときは、O F F にします。

まず車両下側から蒸気が出ているかどうか確認します。

〈車両下側から蒸気が出ていない場合〉

エンジン点検口を開けてそのままエンジンをかけておきます。

〈車両下側から蒸気が出ている場合〉

エンジンを止めます。

蒸気が出なくなったら、風通しを良くするためにエンジン点検口を開けエンジンをかけます。

ラジエーター冷却用のファンが作動していることを確認してください。万一、ファンが作動していないときはただちにエンジンを止めてトヨタ販売店に連絡してください。

エンジンが十分に冷えてから、冷却水の有無、ラジエーターのコア部(放熱部)の著しいよごれ、ごみの付着の有無などを点検します。

冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。



アドバイス

冷却水は、エンジンが熱いときにいれないでください。急に冷たい冷却水をいれると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水は、エンジンが十分に冷えてからゆっくりといれてください。

早めに最寄りのトヨタ販売店で点検を受けてください。

■オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量、地面に水漏れがないか日頃から点検をしてください。
点検方法は「メンテナンスノート」をご覧ください。

バッテリーがあがったときは

こんな状態が、バッテリーあがりです。

- スターーがまわらなかったり、まわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ヘッドライトがいつもより暗い。
- ホーンの音が小さい。または鳴らない。

■処置のしかた

安全のため押しがけによる始動はしないでください。また、オートマチック車は押しがけによる始動はできません。

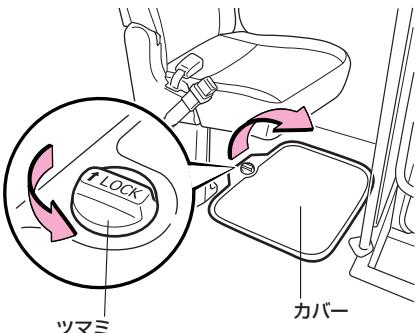
救援車を依頼しブースターケーブルを接続してエンジンを始動してください。なお、救援車のバッテリーはディーゼル車では24Vを使用し、LPG車では12Vを使用してください。

- ディーゼル車のバッテリーはセンタードア後部、LPG車のバッテリーは通路中央にあります。

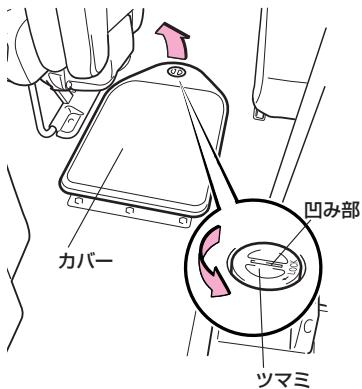
ツマミを左にまわしてロックをはずし、カバーをはずします。

- LPG車はツマミの凹み部にコインなどを差し込んでまわすと、楽にロックをはずせます。

ディーゼル車



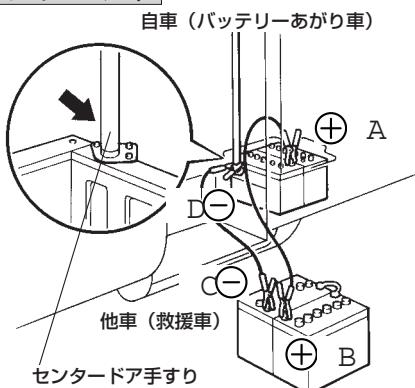
LPG車



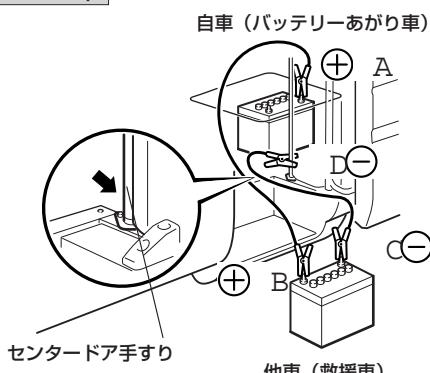
バッテリーの \oplus 端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぎます。

- A自車のバッテリーの \oplus 端子
- B救援車のバッテリーの \oplus 端子
- C救援車のバッテリーの \ominus 端子
- D図で指示の箇所（アースをとる）

ディーゼル車



LPG車



警告

- Dの接続は自車バッテリーの \ominus 端子につながないでください。バッテリーに直接つなぐと、火花が発生しバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
- ブースターケーブルを接続するとき、 \oplus と \ominus 端子を絶対に接触させないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
- 火気をバッテリーに近づけないでください。爆発するおそれがあり危険です。

救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を少し高めにし、約5分間その回転を保持し、応急的に自車（バッテリーあがり車）のバッテリーを充電します。

この状態のまま、自車のエンジンをかけます。

警告

- 充電中はバッテリーに近づかないでください。希硫酸の含まれるバッテリー液が吹き出す場合があり、目や皮膚につくと重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。万一付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、医師の診察を受けてください。
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合は、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受けてください。

ブースターケーブルをつないだときと逆の順にはずします。

早めに最寄りのトヨタ販売店で点検を受けてください。



アドバイス

バッテリーがあがりやすい場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

■バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを停止させたままライトをつけたり、ラジオ、CDなどを聞かないようにしましょう。
- エンジン回転中でも渋滞などで長時間止まっている場合は、不必要的電装品の電源を切りましょう。



アドバイス

- ディーゼル車では、バッテリーの交換は必ず左右ペアで、同一メーカー、同一型式のバッテリーを使用してください。
- バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。(バッテリーは走行中に自動で充電されます)



知識

長期間の駐車などでバッテリーの \ominus 端子をはずす場合は、必ず両方のバッテリーの \ominus 端子をはずしてください。

けん引について

このけん引フックはけん引されることを目的としており、他車をけん引するものではありません。

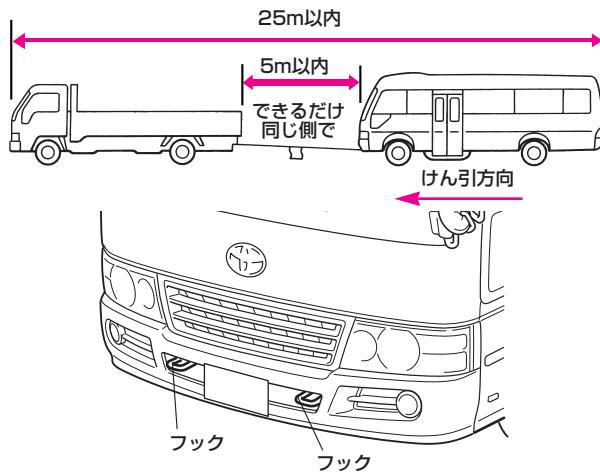
けん引はできるだけトヨタ販売店またはJ A Fなどに依頼してください。

とくに次の場合は駆動系の故障が考えられますので、けん引される前にまずトヨタ販売店へご連絡ください。

- エンジンがまわっているのに車が動かない。
- 異常な音がする。

他車にけん引してもらうときは

ボディに傷をつけないようにしてロープをけん引フックにかけます。必ずけん引フックにロープをかけて前進方向でけん引してください。けん引ロープには、0.3メートル平方（0.3m×0.3m）以上の白い布をロープ中央に必ずつけてください。



エンジンをできるだけかけておいてください。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”的位置にします。

シフトレバーをdの位置にします。

パーキングブレーキを解除します。

けん引ロープをたるませないようにし前の車の制動灯に注意してください。

⚠ 警告

けん引する車は、急発進などけん引フックやロープに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。けん引フックやロープが破損するおそれがあります。

また、万一の場合、その破片が周囲の人などに当たり重大な傷害を生じるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- エンジンキーを抜いたり、エンジンスイッチを“LOCK”の位置にしないでください。キーが抜けているとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。また、エンジンスイッチが“LOCK”の位置だとキーが抜けるおそれがあります。
- 4輪エアサスペンション装着車は、レッカーカー車などで車両を持ち上げてけん引されるとき、必ずエンジンを止めてください。エンジンスイッチを“ON”的位置のままにしておくと、車高がかわり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 長坂路を下るときは、レッカーカー車でけん引してください。レッカーカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。
- けん引される車は慎重に運転してください。エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるため、通常と同じ感覚で運転すると事故につながるおそれがあります。



アドバイス

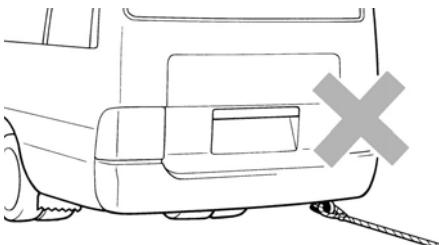
- オートマチック車の場合、けん引速度30km/h以下、けん引距離80km以内で、前進方向でけん引してください。この速度、距離をこえてのけん引、または後進方向でのけん引をするとトランクミッシュョンに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがありますので、これらの場合は車両積載車などにより、4輪とも持ち上げて運搬してください。
- ワイヤーロープは使用しないでください。バンパーに傷がつくおそれがあります。

トランSPORTフックについて

このフックはトランSPORTフックです。

このフックは船舶固縛で車両を輸送するときに固定するためのものです。けん引には絶対に使用しないでください。けん引用として使用すると車両を損傷するおそれがあります。

この車で他車をけん引することはできません。



事故が起きたときは

あわてずに次の処置を行ってください。

続発事故を防止します。

ほかの交通のさまたげにならないような安全な場所に車を移動し、エンジンを止めます。

負傷者の救護をします。

警察への届け出をします。

相手方の確認とメモ（氏名、住所、電話番号）を取ります。

ご購入された販売店と保険会社へ連絡します。

車両を緊急停止するには

■緊急停止のしかた

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、以下の手順で車両を停止させてください。

ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続けます。

- ブレーキペダルを繰り返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

シフトレバーを **d**にいれます。

〈シフトレバーが **d**にはいった場合〉

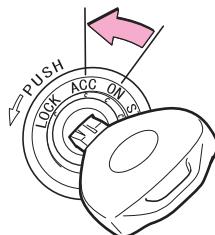
減速後、車を安全な道路脇に停めます。

エンジンを停止します。

〈シフトレバーが **d**にはいらない場合〉

ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させます。

エンジンスイッチを “ACC” にして、エンジンを停止します。



車を安全な道路脇に停めます。

⚠ 警告

- 走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは、十分に減速するようにしてください。エンジンを停止すると、ブレーキの効きが悪くなると共にハンドルが重くなるため、車のコントロールがしにくくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは、キーは絶対に抜かないでください。キーを抜くとハンドルがロックされるため、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■さくいん

文字さくいん	270
警告灯、警告音さくいん	280
警告灯さくいん	280
警告音さくいん	281
症状別さくいん	282
症状別さくいん	282

さくいん

文字さくいん

■50音順

ア

アームレスト	47
アウターミラー	88
赤旗（レッドフラッグ）	239
アクセルインターロック	71、73、76
安全装備	
A B S（アンチロックブレーキシステム）	
シートベルト	60
シート	46
シートベルト	54
アンテナ	146

イ

E L R付き2点式シートベルト	56
E L R付き3点式シートベルト	54
イグニッション（エンジン）	
キー	64
スイッチ	108
1速固定スイッチ	120
イラスト目次	
インストルメントパネル	12
エンジンルーム	22、23
室内	14
室内全体	16~21
車両外観	10
インナーミラー	87

ウ

ワインカー（方向指示灯）	
位置	10
電球の交換	222~225
レバー	102
W（ワット）数	228
ウインドウウォッシャー	
タンクの位置	206
冬の前の準備、点検	190
容量	229

ウインドウウォッシャー

（曇り取り）スイッチ	106
ウォーニングランプ（警告灯）	92
運転席ガード	50
運転席シートベルト非着用警告灯	99

エ

エアコンの手入れ	202
エアサスペンション	
（4輪エアサスペンション）	124
エアサス作動警告灯	98
A B S	60
S A E粘度（エンジンオイル）	232
L L C（冷却水）	
オーバーヒートしたときは	260
濃度	229
冬の前の準備、点検	190
容量	229
ラジエーターキャップの位置	22、23
リザーバータンクの位置	22、23
L P G車の燃料	194
エンジン	
エンジン警告灯	96
かけ方	109、110
キー	64
油圧警告灯	95
エンジンオイル	
オイル量	231
注入口の位置	22、23
点検・補給のしかた（ディーゼル車）	204
冬の前の準備、点検	190
油圧警告灯	95
油量警告灯	96
レベルゲージの位置	22、23
エンジン回転計（タコメーター）	90
エンジン点検口	86
エンストで始動できなくなったときは	238

才

オーディオ	
CDプレーヤー	
一体AM/FMラジオ	148
オートエアコン	132
オートドア	
折戸式	75
グライド式	68
オートマチックトランスマッisionフルード	
オイル量	230
レベルゲージの位置	22
オートマチックトランスマッision	
1速固定スイッチ	120
運転のしかた	121
各位置の働き	117
チェンジレバーの動かし方	118
取り扱いチェックポイント	34
オーバードライブ(O/D)	
O F F表示灯	94
スイッチ	120
オーバーヒートしたときは	260
お客様表示板	176
オドメーター(積算距離計)	91
折戸式ドア	73
オルタネーターベルト点検基準値	227

力

外装の手入れ	200
快適装備	
オーディオ	142
空調	126
室内装備	176
夏期の取り扱い・エアコンガスの処理	195
カップホルダー	179
カーテン	187
カードケース	180
換気扇	141
間欠ワイパー	104
観音扉ドア	79

ヰ

キー	64
キー抜き忘れ防止ウォーニング	66
キックダウン	121
鏡面調整	
アウターミラー	88
インナーミラー	87
緊急時のエンジン始動方法	
(バッテリーがあがったときは)	262
緊急時のエンジン停止方法	
(車両を緊急停止するには)	268

ヰ

空気圧(タイヤ)	27
空調	126
区間距離計(トリップメーター)	91
グライド式ドア	67
クラクション(ホーン)	115
クラッチ点検基準値	227
クラッチフルード	
メンテナンスデータ	230
リザーバータンクの位置	22、23
クリープ現象	121
グレード名称	233

ケ

警音器（ホーン）	115
計器（メーター）	90
警告灯	92
けん引	265

コ

交換要領	
電球（バルブ）	220
ヒューズ	213～219
工具	242
後退灯	
位置	10
電球の交換	225
W（ワット）数	228

サ

サイドブレーキ（パーキングブレーキ）	
点検基準値	227
ブレーキ警告灯	96
レバー	114
3点式シートベルト	54
サンバイザー	176

シ

シート	
手入れ	201
フロントシート	47
保護者用シート	50
補助シート	49
リヤシート	48
シートアンダートレイ	180
シートベルト	52
長さ調整式2点式シートベルト	58
E L R付き2点式シートベルト	56
E L R付き3点式シートベルト	54
シートベルト非着用警告灯	99
シガレットライター	178
室内灯	
スイッチ	176
W（ワット）数	228
シフトレバー	
オートマチック	
トランスマッision	117
マニュアルトランスマッision	116
シフトロックシステム	119
ジャッキ	242
車幅灯	
位置	10
スイッチ	100
電球の交換	222
W（ワット）数	228
車両型式	233
車両を緊急停止するには	268
充電警告灯	95
消火器	241

ス

水温計	91
ステアリングホイール	
チルト&テレスコピックステアリング	87
ホーン	115
ストップランプ（制動灯）	
位置	10
電球の交換	225
W（ワット）数	228
スノータイヤ（冬用タイヤ）	190
スピードメーター	90
スペアタイヤ	250
スポットランプ	
スイッチ	177
W（ワット）数	228
スマートランプ（車幅灯）	
位置	10
スイッチ	100
電球の交換	222
W（ワット）数	228

セ

制動灯	
位置	10
電球の交換	225
W（ワット）数	228
積算距離計（オドメーター）	91
セパレータークーラー	183
セパレーターパイプ	51
洗車	200
前照灯（ヘッドライト）	
位置	10
スイッチ	100
ヘッドランプレベリング	
調整ダイヤル	101
電球の交換	222
W（ワット）数	228
センタードア	
折戸式	73
グライド式	67
開放警告灯	99
センタードアステップランプ	68、74
W（ワット）数	228

ソ

速度計（スピードメーター）	90
---------------	----

タ

ターンシグナル（方向指示灯）	
位置	10
電球の交換	222~225
方向指示レバー	102
W（ワット）数	228
タイヤ	
空気圧	27
スペアタイヤ	250
タイヤチェーン	193
タイヤを交換するときは	254
冬用タイヤ	190
ローテーション（タイヤ位置交換）	211
タコメーター	90

チ

チルト&テレスコピックステアリング	87
-------------------	----

ツ

ツール（工具）	244
---------	-----

テ

ディーゼル車の燃料	194
ディファレンシャルオイル	
オイル量	230
手入れ	
エアコンの手入れ	202
外装の手入れ	200
内装の手入れ	201
日頃の手入れ	200
テールランプ（尾灯）	
位置	10
スイッチ	100
電球の交換	225
W（ワット）数	228
電球（バルブ）	
交換方法	220
W（ワット）数	228
電動格納式補助ステップ	71
電動リモコンミラー	88、89

ト

ドアカーテシランプ	66
W（ワット）数	228
時計	177
トランク	77
トリップメーター（区間距離計）	91

ナ

- 内装の手入れ 201
二
2点式シートベルト 56、58

ネ

- 燃料（使用燃料／タンク容量） 229
燃料計 85、91
燃料残量警告灯 98
燃料取り出しバルブ／
燃料充てんバルブ 85
燃料補給口（フューエルリッド）
位置 10
オープナー 83
燃料・水分離器
水位警告灯 98
排水方法 207

八

パーキングブレーキ	
点検基準値	227
ブレーキ警告灯	96
レバー	114
排気ブレーキ	
作動表示灯	94
スイッチ	114
灰皿	178
排出ガス浄化装置	
スイッチ	112
表示灯	95
ハイバック補助シート	49
ハイビーム（ヘッドライト上向き）	
ヘッドライト上向き表示灯	94
ライトスイッチ	100
パキューム警告灯・ブザー	96
ハザード（非常点滅灯）	
位置	10
電球の交換	222~225
非常点滅灯スイッチ	105
W（ワット）数	228
発炎筒	240
バックアップランプ（後退灯）	
位置	10
電球の交換	225
W（ワット）数	228
バックドア	
観音扉ドア	79
非常ドア	81
バッテリー	
位置	16~21
バッテリーがあがったときは	262
冬の前の準備、点検	190
パッドウェアインジケーター	37
バルブ（電球）	
交換方法	220
W（ワット）数	228
パワーステアリングフルード	
タンクの位置	22, 23
点検基準値	230

番号灯

位置	10
スイッチ	100
電球の交換	226
W（ワット）数	228
ハンドル（チルト&テレスコピック ステアリング）	87

ヒ

ヒートゲージ（水温計）	91
非常点滅灯	
位置	10
電球の交換	222~225
スイッチ	105
W（ワット）数	228
ヒューズ	213~219
非常に車内から脱出するときは	239
非常ドア	81
表示灯	92



Vベルト	
位置	22、23
点検基準値	227
フォグラント	
位置	10
スイッチ	103
断線確認灯	99
断線検知スイッチ	103
W（ワット）数	228
フック（けん引）	265
ブザー	
センタードア作動警告ブザー	69、76
電動格納式補助ステップ	
作動警告ブザー	72
バキューム警告ブザー	96
リバース（後退）ブザー	117
フューエルメーター（燃料計）	85、91
フューエルリッド（燃料補給口）	
位置	10
オープナー	83
冬の前の準備、点検	190
冬用タイヤ	190
ブレーキ警告灯	96
ブレーキパッドウェインジケーター	37
ブレーキフルード	
メンテナンスデータ	230
リザーバータンクの位置	22、23
ブレーキペダル点検基準値	227
ブレーキランプ（制動灯）	
位置	10
電球の交換	225
W（ワット）数	228
フロアマット	188
フロントシート	47
シートの調整	47
ヘッドレストの調整	48
フロントドア	66
フロントワイパー	104



ペダル（ブレーキペダル、クラッチペダル）	
点検基準値	227
ヘッドライト	
位置	10
スイッチ	100
ヘッドライト上向き表示灯	94
ヘッドライトプレベリング	
調整ダイヤル	101
電球の交換	222
W（ワット）数	228
ホイール（タイヤ）	
交換するときは	254
方向指示灯	
位置	10
電球の交換	222～225
方向指示レバー	102
W（ワット）数	228
保護者用シート	50
補助シート	49
ホーン	115

マ

マイク	169
マイクアンプ	170
マニュアルエアコン	136
マニュアルトランスマッisionオイル オイル量	230
マニュアルトランスマッision	116
万一のときは オーバーヒートしたときは	260
けん引について	265
事故が起きたときは	267
タイヤを交換するときは	254
発炎筒、消火器、工具、スペアタイヤ の取り扱い	240
バッテリーがあがったときは	262
非常に車内から脱出するときは	239
路上で故障したときは	238

ミ

ミラー	
アウターミラー	88
インナーミラー	87
ミラーヒーター	88, 106

メ

メーター	90
メンテナンスデータ	227

ユ

油圧警告灯	95
床洗い用水抜き穴	181
油量警告灯	96

四

予熱表示灯	94
4輪エアサスペンション	124

ラ

ライトスイッチ	100
ラゲージルームセパレーター	182
ラジエーター オーバーヒートしたときは	260
キャップの位置	22, 23
冬の前の準備、点検	190
冷却水濃度・容量	229
冷却水リザーバータンクの位置	22, 23
ラジオ	149
ランプオートカットシステム	100

リ

リバース（後退）ブザー	117
リヤウインドウデフオッガー（曇り取り） スイッチ	106
リヤシート	48
シートの調整	48
リヤモニター	171
リヤワイパー	104

ル

ルーフベンチレーター	141
ルームランプ（室内灯） スイッチ	176
W（ワット）数	228

レ

冷却水	
オーバーヒートしたときは	260
濃度・容量	229
冬の前の準備、点検	190
ラジエーターキャップの位置	22、23
リザーバータンクの位置	22、23
冷蔵庫	184

ロ

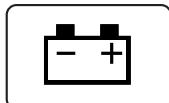
路上で故障したときは	238
ロープフック	181

ワ

ワイパー＆ウォッシャー	
タンクの位置	206
タンクの容量	229
寒冷地用ワイパーブレードについて	193
冬の前の準備、点検	190
ワイパー＆ウォッシャースイッチ	104

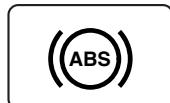
警告灯、警告音さくいん

警告灯さくいん



充電警告灯

P.95



A B S 警告灯

P.97



油圧警告灯

P.95



運転席シートベルト

非着用警告灯

P.99



油量警告灯

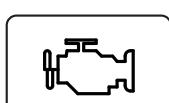
P.96



センタードア開放

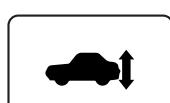
警告灯

P.99



エンジン警告灯

P.96

エアサス
作動警告灯

P.98

ブレーキ警告灯／
バキューム
警告灯

P.96



燃料残量警告灯

P.98

燃料・水分離器水位
警告灯

P.98

警告音さくいん

- キー抜き忘れ防止ウォーニング（「ピーピーピー」 短い音の繰り返し） P.66
- 車内向けリバース（後退）ブザー
（「ピーピーピー」 長い音の繰り返し） P.117
- 車外向けリバース（後退）ブザー
（「ブーブーブー」 長い音の繰り返し） P.117
- センタードア作動警告ブザー（「ピー」 という音） P.69、76
- 非常ドア開警告ブザー（「ピー」 長い音が鳴り続ける） P.81
- 電動格納式補助ステップ作動警告ブザー（「ピンポーン」 という音） P.71
- バキューム警告ブザー（「ピー」 長い音が鳴り続ける） P.96
- ブレーキパッドウェアインジケーター
（「キーキー」 金属音がタイヤから聞こえる） P.37
- 運転席シートベルト非着用警告ブザー
（「ピーピーピー」 短い音の繰り返し） P.55、99
- パーキングブレーキ未解除警告ブザー
（「ピーピーピー」 長い音の繰り返し） P.97

症状別さくいん

症状別さくいん

- 車体下側から蒸気が立ちのぼった P.260
- エンストして始動ができなくなった P.238
- オーバーヒートした P.260
- キーがまわせない P.108
- 警告灯が点灯・点滅している P.92
- 事故が起きた P.267
- 水温計の針が赤いマークにはいった P.260
- 走行できなくなった（けん引について） P.265
- シフトレバーが ∞ の位置から動かせない P.118
- ドアを開けるとブザーが鳴る P.66
- バッテリーがあがった P.262
- パンクしてしまった（タイヤを交換するときは） P.254
- 路上で故障してしまった P.238







お問い合わせ、ご相談は
下記へお願ひいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

0800-700-7700
フリーコール

オーブン時間 365日 9:00~18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷 NAB-2015年10月26日 ●発行-2015年11月2日 初版

M 36708
01999-36708